滿洲日報
三月十五日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 木村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

日支經濟提携に 支那財界巨頭が贊意
富田財務官と會見結果

【上海特電十五日發】宋子文氏始め支那財界の巨頭は富田財務官と會見の結果、何れも排日貨の非を悟り日支經濟提携に贊意を表した

對日政策を續ける 確執を調停解決
南昌で臨時緊急會議

【上海特電十五日發】蔣介石氏は近く南昌に汪精衛、孫科、戴天仇、孔祥熙等の諸要人を招集して臨時緊急會議を開く事となつた、その議題は近く開始される第二期共産軍討伐計畫及び對西南政策を議する外、對日方針を繞つて確執の增大しつゝある汪精衛、宋子文兩派間の調停解決を期するにある

【上海特電十四日發】蔣介石氏は滿洲國帝制實施を機會に孫科氏一派が立法院その他において汪精衛氏を攻撃論難し、殊に對日強硬を唱へてをりこのまゝ放置すれば國民政府の結束に重大な影響を及ぼすことを恐れ南昌會議において孫科氏等を説得して日支關係[illegible]憂慮すべき事態に陷らしめぬやうするとゝもに、北支那には外交次長唐有壬氏を派遣して黄郛、何應欽氏等とゝもに滿支國境整備につき政府の意向を傳へ滿洲國との紛糾を避けしむることゝなつた、かくて國民政府內部の對日論爭は蔣介石氏の抑壓により一時汪派の勝利に歸して鎭靜する模樣である

懸案の解決捗らず 黄郛氏辭意を表明
北支政權破局に瀕す

【天津十五日發國通】屢々辭任説を傳へられた黄郛氏は通車、通郵問題をはじめ山積する日滿支諸懸案の不進捗から今次遂に中央に對し辭意を表明するに至つた、本日天津通過赴平する外交次長唐有壬氏の北上により華北情勢の調査報告の結果、中央が之が解決を斷行する決意を持てば兎に角、なほ右顧左眄從來の如き態度を執るにあつては黄郛氏も今度こそといふ今度は斷然辭任するより仕方ない立場に置かれてゐる、黄郛氏が日支關係打開のため一々南京政府の指示を仰ぐことなく一身に責を負つて問題を一氣に解決するとせば問題はないが(汪精衛の如き寧ろこれを望んでゐるのであるが)黄氏にそれだけの勇氣があるかどうか疑はしく、中央では勿論この厄介な問題の矢面に立つて日支關係の好轉を圖らうとする者ある筈もなく、結局問題は蔣介石氏の裁決如何にかゝつてゐるわけであるが、停戰協定締結されてより既に一ヶ年を迎へんとしつゝあり、隱忍に隱忍を重ね來つた日滿當局も最早誠意なき延引策に滿足する筈なく近時強硬態度を見せてをり、その日暮しであつた黄郛政權も愈々當然來るべき最後の破局に近づいたわけ

貴族院の滿洲問題論戰 (7)
滿鐵社員の功績
武官と同樣行賞を考慮

三月三日貴族院豫算委員會第六分科會における滿洲問題に關する質疑

兒玉秀雄伯 最終に一寸質問を許して戴きたい、これは今年の豫算に計上されて居りますが、論功行賞に關聯した問題でありますが、御承知の通り一般會計でありますが、五千萬圓の論功行賞の費用が計上されてありますので、今回の滿洲事件に對してわが陸海軍將士の忠勇なる御奮闘に對しては國民として感謝の言葉も無いやうな程であります、從つてこの論功行賞は公正に行はれ、且つ速かにこれを實行されることを希望して止まないのでありますと同時に、これをやる場合においては細く厚き聖旨を普く徹底するやうなことに致したいものだと私は深く考へて居るのであります、而してこの滿洲事件に於けるわが軍部の忠勇なる活動にも劣らない活動をなしたものが茲に私は見逃すべからざるものがあると思ふのであります

それは滿洲に居ります、駐在して居ります所の關東廳並に外務省所屬の警察官、私は曾て彼の地に居りました關係上是等の警察官と勞苦を共にした一人であるのでありますけれども、今回の事件に對して、突發事件におきまして、滿洲に駐在する所の警察官の働きといふものは實に私は涙ぐましく考へる事情を澤山拜承するので、其度に私は心から感謝を捧げて居る一人であるのであります、然るに從來の例に依りますといふと兎角此文官方面、警察官方面に對する論功行賞が軍人に比して輕んぜられる嫌がありますので、私は願はくば此機會におきまして滿洲におきまする警察官の勳勞を永く永久に確保してやりたいといふ熱心なる希望を持つて居るのであります、論功行賞の公正を期する上におきまして政府に於ては其點に於ては十分御注意あることと思ひますけれども、殊に今回の事件につきまして其點に御留意を願ひたいと思ふのであります

而して此警察官は素より國家の官吏でありますからそうなくてはならないのでございますけれども、此滿鐵の職員、殊に下級職員、此下級職員が今度の事件に對しまして國家的に又會社の爲に非常に努力したといふ事柄は、これは誰しも否むことは出來ない事柄と思ひます、單に滿鐵社員それ自身が犧牲的な精神を以て今回の事件に努力したるのみならず、その家族に至るまで、實にどうも何といつて宜いか、言葉にいひ現すことが出來ないやうな行動を續けて居つたといふ事柄は、私共が絶えず耳にする所でありますので、この滿鐵社員に對しましても、國家は何かこれに報いなければならぬと思ひます、警察官は國家の官吏でありますからまだしも、政府で親切に考へられることは存じますけれども、兎角會社の從業員といふことになりますと云ふと時々殊にこれを無視せらるゝといふ事柄が從來の例であります、そこで私は拓務大臣に御願をし御所見を承つて見たいと思ふのでありますが、希はくば此滿鐵社員に、殊に下級社員に對しましての功績に對して十分に國家が之を認めてやつて戴きたい、又其ことに關して拓務大臣は恐らく之を御諒解であらうと思ひますが、之には一つ涙を以て此問題を一つ進捗させて已まないので私は心から念願して居るのであります、なほ又此軍人が戰場に於て亡くなりましたる時分には、誠に畏れ多いことゝ思ひますが、之を招魂社に祀られるといふやうな榮誉を荷ふことも出來るのでありますけれども、私は此警察官に於きましても、又滿鐵の社員に於きましても、今回の事件に於ては之を同樣に見るべき所の事件が澤山にあると思ふのであります、從ひまして其論功行賞の點に於きましても、又之が爲に於ても、警察官、滿鐵社員、之に對して希はくば軍人同樣に一つ御取計らひを願ふことに拓務大臣に特に御願をして置きたい、又其ことについての拓務大臣の御所見をも此際に於て私は伺つて置きたいものだと、斯う思ふのであります

永井拓相 只今兒玉伯爵から滿洲事變の犧牲者となつたもの又滿洲事變の後に滿洲建設に對して勳功のあつたものに對して文武を問はず、官民を問はず、其論功行賞を過たないやうにといふ誠に御眞情を籠められた御言葉がありまして、私も全く同感に堪へない所でございます

此度の事變の重大性に鑑みまして滿洲に駐屯して居りまする軍隊に對して、皇室から御勞の思召で御下賜金がありまする場合には、いつでも又同樣に匪賊の掃討、秩序の恢復に當つて居ります警官をも御忘れなく、其恩澤に均霑せしめられるやうに御取計らひになつて居るのでありまして、此皇室の思召を體しましても、只今兒玉伯が御話になりましたやうに今回の論功行賞は文武を問はず、公平に行はれなければならぬといふやうに考へます、殊に滿鐵從業員の上にまで色々御配慮になりましたことは、實に私が感激に堪へない所でありますのみならず、滿鐵從業員が今日の御質疑を承りまして、どれだけか感激し又奮起することであらうと存じます、大體政府におきましても今兒玉伯爵が御話になりましたやうな趣旨で、今回の論功行賞をなして行かなければならぬと考へて居るのであります、滿鐵の從業員の特に勳功ある者に對する論功行賞は、これは單に於て調査をして推薦することになつて居ります、尚ほ滿鐵の社員のみならず東拓などの社員の中にも同樣に勳功あつた者もありますので、是等は拓務省に於て調査をして推薦を致したいと考へて居るのであります

兒玉伯の御話になりました通りに、關東廳の警察官などの苦心は實に想像に餘りあるものがありましたので、警察官の夫人で殉死いたしました者なども特別なる御取計で靖國神社に合祀して戴くといふやうなことにもなつたのでありまして、今回の事變に關聯し、滿洲國の建設に關聯いたしまして犧牲となつた者又殊勳のあつた者、功勞のあつた者に對して、それぞれ政府としては十分遺憾のない手配を致したいと考へて居る次第であります、此ことは此場合に十分明かに致して置きたいと存じます

反政府運動俄然熾烈
豫算案成立を契機として

【東京特電十五日發】總豫算案成立を契機として議會の內外に於ける反政府運動は俄然熾烈を加へた情勢にある、即ち豫算成立までは現內閣そのものゝ運命は兎に角として非常時對策を含む重要豫算の不成立は努めてこれを廻避する意向が多かつたため、反政府運動もこれにつれて鋒先が鈍つた感があるが、既に豫算成立の上はこの點に心置きなく政府糾彈をなし得るので貴衆兩院は從來より一層猛烈に政府の無力無誠意を論難すべく、又院外の倒閣運動も右翼團體によりこの數日間各所に行はれて倒閣の氣勢を揚げ以て次の局面に處する各樣の畫策がこれに伴つて目まぐるしく政局の上に渦卷かうとする狀態である

日滿"經濟議定書" 締結の用意あり
廣田外相仄めかす

【東京十五日發國通】日滿親善關係增進と共に兩國間の經濟關係につき投資上、關税政策上、その他諸般の施設につき政府の外交工作が及ぼさるゝに至つてゐるが、廣田外相は十四日衆議院通商擁護法案委員會で、日滿議定書以外にも兩國間の經濟關係につき近く何等か經濟上の議定書ともいふべきものゝ締結すべき用意ある事を仄めかす所あつた

會期兩三日延長か

【東京十五日發國通】豫算案は原案通り無修正で議會通過、政府は今後は審議中の諸法案四十餘件の進捗に努めるが、最近會期延長に關し民政黨及び貴族院の一部に延長の聲あるに對し、政府は目下提出案の審議を進める牽制策として表面延長を否定してゐるが實際情況に應じ兩、三日の延長を考慮するものと觀られる、次いで齋藤首相は議會後に行ふべき文相詮衡に取かゝるが之は議會後の政局に處すべき政府の態度を前提とするものなるため、先づ議會終了後早々西園寺公訪問、所信を披瀝する筈である

委任新線 建設費
一億四千萬圓

【東京十五日發國通】滿鐵が滿洲國より請負の鐵道建設は第一期計畫八年度の六百五十キロは既に大半完成し滿洲國への借款となつて滿鐵の委任經營に移され九年度第二計畫として豫定の新線建設費は約一億四千萬圓に上り九年度は滿鐵請負滿洲國線建設の最盛期である、鐵道擔當の村上理事は前日上京以來右新線計畫及び鐵道運賃內鮮滿交通連絡その他重要案件につき政府と打合せ中である

滿鐵監事會

【東京十五日發國通】滿鐵では正副總裁上京を機會に十五日正午より麻布狸穴の社宅で監事會開催、大橋、森、小倉、原の全監事會社側より正副總裁、村上、竹中、大淵等各理事出席、八年度決算見込九年度豫算概要並に近況等につき報告なす筈

蛇角

停戰協定後滿一年、通車通郵問題、未だ開通せず。

◇

北支政權のスロー振り、何處やらの内閣にサモ似たり。

◇

サア豫算が通つた、齋藤内閣モウ御用濟み、引込ンだり々々。

◇

ミカンで見ても相手は不感症、當分素イ愉ですますつもり。

◇

隣の座敷に石を投げ込ンだ奴が「その石返して貰ひ度い」

◇

鐵壞ソ聯機の引渡交渉、斯麼のを日本では馬々しいといふ。

◇

中國死雅、同樂、勝美懲役二年

ハテナ?

生活の虹 (73)
菊池寛作
志村立美畫

邪魔な助手 (四)

「死んだ!」

子爵は、駭いて叫んだ。

しかし、玉香が、死んでゐるといふことは、意外だつた。しかしそれは問題ではなかつた。探して求めてゐる者は、その娘であつた。

「えゝ。死んだんですつて」

「しかし、その玉香に子供がある筈なんだが、その子供の事を何とも、云つてゐなかつた?」

「そんなこと訊かないわ。だつて貴君はそんな事、何にもおつしやらないんですもの」

と、目の前にゐる若い美しい玉香は云つた。

「ぢや、改めてもう一度、そのおさきさんと云ふ婆あやさんに訊いてくれないか。その玉香の子供はどうしてゐるかつて、またその玉香の親類は、何處にゐるだらうかつて」

「えゝ訊いてあげるわ。その代り一週間に一度ぢや足りないわ」

「おい、君よしてくれ。冗談ぢやないんだよ」

と、子爵が云ふと、玉香は笑ひながら

「私だつて、本氣よ」

「本氣はありがたいが、僕は非常に必要な事があつて、その子供を探してゐるんだ。だから、そんなに僕を困らせないで、盡力してくれ。ほんとに、その子供が見つかつたらそんな約束なんかして置かなくつたつて、僕は君に何んな好意だつて見せるよ」

子爵が、心から眞面目に云つたので、玉香も、にわかにしんみりとして

「さう。それなら、私條件なんかヌキにして一生懸命で調べるわ」

「そのおさきさんに、よく訊いてから、出來るだけ、手段をつくして見たいんだ。しかし、なるべく內證にだよ。何う云ふ人にきけば分るか、おさきさんに、よく訊いてくれないか」

「えゝ。分つたわ。ぢや、私一寸家へ歸つて來るわ。貴君、お急ぎなんでせう」

「うん。昨日云つたやうに、一日も早い方がいゝんだ」

「ぢや、大急ぎで歸つて訊いて來るわ」

玉香は、打つてかはつたやうに眞面目になると、すぐ席を立つて出て行つた。

今迄、自分本位にうごいてゐた玉香が、子爵の眞意を知ると、急に眞面目になつてくれたのが、子爵にはうれしかつた。

二十分位たつて、玉香は大急ぎで歸つて來た。息をはずませながら坐ると

「分つたわ。玉香さんの子供は、女の子ですつて、その子が七つ位のとき迄、時々家へ連れて來てゐた事があるんですつて。とても、顏立のいゝ、可愛い子なんですつて。その頃は、玉香さんはまだ藝妓をしてゐたんですつて。三十位のときに、身體をこはして、よしたんですつて。親類が、どこに在るか、子供が何うしてゐるか知らないけれども、玉香さんの親友だつた人にきけば分るでせうつて」

「その親友は、どこにゐるんだらう?」

「その方は、この土地で[illegible]と云ふ名前で、出てゐた人で、今は柳橋で花田中と云ふ待合を出してゐるんですつて」

「さうか。ぢや、これからすぐ行かう」

と、子爵が云ふと

「いやだわ。そんな所へいらつしやると、また私のやうな者が、飛び出して來て、お兄さんにお約束なさゝせると、いやだから、私が行つて訊いて來てあげるわ。あした午前中、きつと行つて來るわ」

支那側の立場を理解して欲しい
唐有壬次長の時局談

【天津十四日發國通】黄郛氏慰留並びに北支日滿諸懸案の實狀調査のための北上として注目されてゐた外交次長唐有壬氏は十四日午後五時半天津東停車場通過北平に向つたが、車中語る

滿洲國の帝政實施は南京方面に非常な刺戟を與へた、これが日滿支各懸案解決にも大きな影響を與へた事は爭へぬ目下の情勢では通車、通郵問題解決も不可能であらう、元來通車、通郵問題は大したことではなく中央としてはそれが滿洲國承認のやうな形になるのを案じてゐるのだと思ふ、何れにせよ現在の情勢では通車、通郵問題等の解決は至難で出來る事ならやつて行かなくてはなるまいと考へてゐる

自分個人の考へとしては北支の諸問題も地方的問題として解決するよりも全體的に日支の交渉問題の中に包含されて行くのが可いのではないかと思ふ

最後に記者が停戰協定成立後一年に垂んとしてゐるのに好轉の聲だけで何等具體的解決もなく日滿間にもその鈍い步調に相當不滿の向きもあり、黄郛氏も板挾みの形で、この儘ではどうにもならぬところ迄行つてゐるのだが、右に對する具體的對策は?と突込めば

黄郛氏は來月始め南下の豫定で辭任するやうなことはない、日本側でも少し支那側の立場を理解して、この鈍い步調を見逃してゐて與れなければ

と後は言葉を濁した

唐有壬氏北上 黄氏を慰留

【天津十四日發國通】唐有壬氏の北上は北支諸懸案の解決に行詰つて辭意を漏らして居る黄郛氏を慰留すると共に、北支諸懸案解決延引に依る日滿支のピッタリしない關係を打開するにある模樣であるが、その打開策としては通車、通郵問題外の日支間懸案を持出し、これに日滿視野を轉換せしめ以て黄郛氏の立場を緩和しその慰留を計らんとするものと觀らる

舊東北兩軍 南下移駐決定

【天津十五日發國通】東北軍の南下問題は結局第百五師劉多荃に八個團を加へて湖北へ、何柱國軍を河南へ移駐するに決定した模樣、なほ劉軍は近日南下の模樣

日滿一體となつて 時局に善處を切望
西尾新參謀長の挨拶

【新京特電十五日發】新任關東軍西尾參謀長は十四日午後七時半着列車で着任、直にヤマトホテルにおいて菱刈軍司令官に着任申告をなしたが、十五日午前十一時半軍司令部弘報室において在京記者團と會見挨拶をなした

今般私は關東軍參謀長を仰せつけられ昨夜着任しました、明敏練達なる小磯閣下の後を受けたことは身にとり光榮とする所で洵に感激の至りであります、私は至つて菲才及ばざることを恐れてゐる、御承知の如く滿洲國はその治安確立し皇軍の武威亦日に揚がつてゐる、特に最近は帝制實施されその國礎日に鞏固を加へつゝあることは洵に同慶に堪へません、私は滿洲事變發生以來內地で滿洲關係の業務に從事してゐたもので、今回滿洲に參つて眼に觸れ耳に入ることは舊知の感がする、さりながら滿洲國內情勢は日に日に進展してゐるから私の如き菲才の者がこの間に善處し得るや否や甚だ懸念してゐる、この上は一に至誠奉公の誠を致すより外ないと思ふ、私は至つて武骨者であるが皆樣方が今日の事態を正しく見正しく社會に報道することは國家社會に偉大なる貢獻をなすことゝ思ふ、將來日滿人何れを問はず日滿一體となつて時局に善處せねばならぬと思ふ、何分の御厚志と御援助を願ふ

中西地方部長上京

奉天において開催された地方委員聯合會に出席中の滿鐵中西地方部長は十五日朝七時四十分列車にて歸社したが內地各都市における施設視察のため十六日出帆ばいかる丸にて上京する

小川○團長着任

【奉天特電十五日發】小川○兵○○團長は十四日午後四時安奉線にて着奉したが、驛頭は軍部各關係者の出迎へあり直に瀋陽館に入り午後十一時四十分發にて新京へ向つた(寫眞は小川少將)

田代司令官榮轉

【東京特電十五日發】陸軍の異動は來る四月及び八月の二期において引續き行はれることに內定、その際東京憲兵司令官秦中將は第○○師團長となり、その後任には關東軍より田代皖一郎少將が榮轉することに內定したと

秋山中佐來連

【新京特電十五日發】關東軍第四課長秋山中佐は十五日午前九時發はとで赴連したが兩三日滯連の上歸京の豫定

砲艦建造費

【新京特電十五日發】軍政部では參議府の諮詢を經て江防艦隊整備費に關する河用砲艦建造費一百六十八萬一千四百十二圓を限り康德元年度に於て國庫の負擔となるべき契約を大同二年度に於て結ぶことを得ることとなり十四日公布した

あめりか丸船客

【門司特電十五日發】十七日大連入港豫定のあめりか丸船客の主なる諸氏

旅順工大豫科教授伊東法俊、理化學研究所員鈴木庸生、滿洲化學工業社員堀省一郎、東裕段莊主首藤定、華工會社相生常三郎、海軍々人自神君太郎、舞踊家花柳須磨子、佐藤中尉

扶桑丸 十六日午前八時二十分大連港外着の豫定

人事

▲中西敏憲氏(滿鐵地方部長)十五日午前七時四十分着列車で歸連
▲伊澤道雄氏(鐵路總局次長)同上來連
▲梶井貞吉氏(關東軍々醫部長)十五日午前九時發列車で北行
▲栗田慶之助氏(同副官)同上
▲嘉悦三毅夫氏(陸軍二等軍醫正)同上

勝美に懲役二年 中園に死刑求刑

兒玉事件第三回公判

血に呪はれた邪戀劇のラスト・シーン中園、勝美の斷罪の日はけふだ、獵奇に光く天下の視聽を浴びて裁きの庭に立つこと前後五回、一介のマドロスボーイが美貌の博士夫人を邪戀に陥れるまでの戀のトリックも多角的な不倫の灼池に身を躍らせた醜惡な男女の正體も、總ての赤裸々な姿となつて嚴正な法のメスにえぐり出された、そして戀は如何に人間を無批判な弱いものにするものかを、歪める戀愛が如何に恐ろしき結果を齎すものであるかを、種々な形において社會に教へた――かくて邪戀の二人の罪劫に對する總決算が行はれ樣とする寸前だ、中園勝美兩名はいつもと同じ服裝で出廷、斷罪を前にして心もち亢奮の色を漂はせてゐる、傍聽席は例によつて超滿員、定刻午前十時四十分高井檢察官は打ちしれた邪戀の男女を前にして左の如く秋霜烈日の論告をなした

【寫眞は論告する高井檢察官】

國家非常時の今日 人心への警告

峻烈な檢察官の論告

公判劈頭、川畑裁判長は大内辯護人の補充訊問の後、事實審理を終つた旨を宣し高井檢察官へ論告を促す、落ちつき拂つた檢察官は法官席に起立し邪戀の二人を前に壯重な語調で論告に入れば、中園、勝美は斷罪の寸前を控へて神妙に耳を傾け、傍聽席また水を打つた如く靜かだ

本件に就き當職の意見を陳述する範圍は被告に對する公訴事實これに對する法律適用の二點である、犯罪事實は被告兩名共に大體に於て認めてゐるから多くを云ふべきことはないので省略する、しかしながら檢事及び裁判官は常に本件を以て法律秩序の維持を保つといふ事實にのみ止まらず國家非常時の際、やゝもすれば社會の風潮輕薄に流れ、人心は身の上下を問はず、男女の別なく堅實の風漸く地を拂ひ頽廢的氣分滔々としてみなぎりつゝある今日、世の戒め、人心への警告のため論ずべき案件であると信ずるが故に事實についての被告人等の當公判廷における陳述で足らざる點を補正し、相違せる點を立證し以て事案の内容を鮮明にして法律の適用及び結論に入らんとするものであると前提し先づ公訴事實の內容たる中園が勝美の女學生時代の初戀の男に化けて誘惑し、博士夫人たりし勝美を多角的な邪戀の灼池に躍らしめ遂に青柳貢殺害に至るまでの愛慾世界に描かれた慘劇經過を詳論しこの間被告兩名の佐藤三輪子、青柳貢の謀殺計畫、嫉妬に燃ゆる中園の勝美虐待の場合、その揚句勝美が死產兒を流產したさいの中園傷害の件等に、理論的説明を加へて傍聽者に新らたなる戰慄を覺えさせた

かくて檢察官は更に語をついで「幾多の明白な證據により辯護の餘地ない、即ち檢察局では自己單獨の爲に述べた事を當法廷では言を左右に託し或ひは疑ひを抱かしめるが如き供述をした、溺れるものは藁をも摑むの例に洩れぬ被告の心理としては或ひは無理からぬ事かも知れぬが、むしろ情狀の爲に悲しむべき事である」と切り情狀論に移る――

以上のことによつて本件起訴事實はその罪證極めて明白である論じてこゝに至る本件事實を法律に適用すれば被告人中園秀雄が佐藤三輪子、青柳貢兩名を殺害せんとして野球用のバットを用意しかれて所持の匕首と共に兒玉博士方に持參し被告人勝美をして保管せしめ同人をして佐藤等を呼び出さしめたこと、及び被告人勝美が中園の計畫に參じ同人が右の如く持參した右二種の兇器を預りこれを自宅炊事場に隱匿し更に三輪子を呼び出し電話を掛けたことは刑法二百一條の殺人豫備罪に該當、中園はその後青柳を殺害してゐるが故に佐藤三輪子に對してのみ殺人豫備罪、青柳の殺人豫備罪が成立し、中園が妊娠中の被告人勝美を毆打外傷をさせ死產せしめたるは刑法二百四條の傷害罪秀雄が青柳を殺害したのは刑法百九十九條の殺人罪、更に死體をトランクにつめて横山キミ子方床下に埋めた事及び勝美が死體處分方に秀雄と共謀し、女中を連れ出した點は夫々刑法百九十條の死體遺棄罪を構成、勝美が青柳の財布名刺入れ並に中園の血潮のワイシャツを始末したるはいづれも刑法百四條の證憑湮滅罪に該當するものである、

こゝに一言附加したいのは勝美の行爲がいづれも共同正犯にして從犯でない事である、論旨は或は殺人豫備の點について被告勝美が直接手を下し佐藤等を殺害せんとしたものに非ざるを以て從犯ならずやと云ふ向もあらんもそれは誤謬も甚しい、卽ち共同正犯は必ずしも犯罪の實行行爲全部に加はらなくてもその一部を擔當するも共同正犯たる事申すまでもない

證據をあげ勝美が自白した

と僞造株券行使に關し適切なる例私も中園や兒玉と相談して女中がをれば發見される恐れがあるので一役を買つて出て女中に見

勝美は共同正犯 且つ婦道の反逆破壞者

三、佐藤三輪子及び青柳貢兩名を殺害する目的でバット、短刀を博士邸に用意したこと

四、勝美の死產且流產は中園の暴行虐待の結果であること

五、兇行直前兒玉博士に勝美と青柳の醜關係を暴露したのは勝美を離婚させる目的であつたこと

六、兇行當夜青柳と滿電バスで偶然會つたといつてゐるが計畫的に尾行してゐたこと

七、兇行當夜博士を殺人共犯に捲き込まんと出鱈目な陳述をしてゐること

右七點につきいちいち證據を舉げ法廷に於ける中園の陳述を完膚なきまでに反駁を加へて流石の中園を顏色なからしめた

せない樣に連れ出したんだとの點を述べて勝美を共同正犯とした理由を明かにする、そして被告人勝美の敢行した犯罪事實そのものについて形式的な皮相の感を抱くものは勝美に比し博士のそれ

守るべきである これこそ卽ち世の常の妻で夫をその道に精進せしむるそれ自體自ら幸福を感ずべきである、しかるに被告勝美の態度はどうであつたか、卽ち前述の如く己れの不始末について家庭内において殺人事件を惹起せしめこれが一朝公になる

に於いては直ちに家庭內の不始末を暴露し延びてはその地位さへ名譽を空しくするのみならず全精神を傾倒して目下研究の途上にある仕事にまで一頓挫來さんこと火を睹るより明かである、博士が安東博士の證言の如くお人好しである所から中園の犯行を隱蔽せんとするに至つたのであらうが同人にして見れば勝美中園の罪の爲におのれの生涯を水泡に歸せしめる事の殘念さは實に同人にとり憐愍に値すべきである、卽ち被告勝美は右の夫をその夫とせずおのれの不始末よりその夫を本件に卷き込んだのである、しかも勝美にして日本婦人としての恥と夫に對する貞操を多少でも辨へてゐるならば本件發生前に夫に謝すべきであるを罪を直に夫に謝してゐたら被告

中園秀雄としては一言も辯解する餘地が無かつたであらうと假借なく論旨を進め最後に事件後中園と手を携へ內地へ逃避行をなして世間を騷がせ、夫に對しては精神的にさゞめさしたは滿洲女性否日本女性の品位と貞操を冒瀆するものである自己の不貞亂倫の結果夫をしのぶべからざる不利益な深淵に突き落した責任は當然勝美が負ふべきである、卽ち勝美に對する科刑にして愼重ならずんば世上人心に及ぼす影響は計り知れぬものがある

最後に兒玉博士を刑事政策上檢察局にて起訴猶豫の恩典に浴せしめた理由について述べ、つゞいて中園の情狀論に移る

社會より葬るべき 極惡罪人中園

勝美にも意外の重刑

中園の兇惡な性格が生んだ犯行に對して高井檢察官は峻烈な批評を加へつゝ漸次情狀論を進め最後に兇行當夜もし兒玉誠が制止しなかつたならば被告は必ずや罪なき女中馬場ウメ及び滿鮮お絢こと横山キミをも殺害してゐたに相違ない、一件記錄を通じて見るも兒玉の人格は何んと人間愛のひらめきであるではないか、被告中園は青柳、佐藤、横山、馬場と自己の周圍で不利な人物は全部殺害せんと企てた恐るべき殺人魔である、更に勝美を流產させた點を法律的に見る時胎兒は獨立した人格を備へた人間でなく母體たる勝美の身體の一部であるが故に死に至るとも殺人の責任はないがこれを生理的に又道德的に觀察する場合、許すべからざる罪惡である、殊に當時勝美の妊娠は夫誠の胤であつたと想像される、百歩を讓つて青柳の胤であつたとしても被告の行爲は斷じて許容さるべきではない、被告は自身に不利な存在を一切否定しようとした、青柳殺害のみで滿足せず總ての存在を否定したその意圖たるや兇惡恐るべきものがある、被告の行爲を詳細に檢討するなれば吾人の常識を以つて肯定し得ざるもの、みである、如何なる犯罪、如何なる犯人といへどこれを巨細に觀察する時、幾分の同情の餘地を發見し得るものである、然るに被告中園の行爲は不幸にして一點同情すべき餘地を見出し難いのみならず人間性のなしあたはざる兇惡な犯行を平

然と敢行した、斯の如き鬼畜に等しき惡性を有するものは吾人人類と共同生活を許すべきにあらず社會よりその存在を無からしめ以て人類の平和、社會の秩序を維持すべき必要がある

懲役二年 藤森勝美 (二九)

原籍 長野縣南安曇郡豐科村
當時住所 大連市聖德街卅五番地
起訴罪名 殺人豫備、證憑湮滅、死體遺棄

死刑 中園秀雄 (三六)

原籍 鹿兒島縣薩摩郡下甑村
當時住所 大連市連鎖街吉野アパート
起訴罪名 殺人、殺人豫備、傷害死體遺棄

と火の如き峻烈な論告の下に右の如く中園に對して極刑、勝美に對し意外の重刑を求刑した、この瞬間中園の顏色蒼白となり、今日まで死刑だけを脫れん爲めあらゆる重點で犯意を否認し續けて來た彼に取つては正に靑天の霹靂だとも いへるであらう、勝美も意外の感に打たれて涙ぐみ、一時三十分休憩が宣ぜられると同時に法院地下留置場に引かれて行つた、午後二時三十分から長崎辯護人の辯論に入り、田村、大内辯護人の辯論は十六日午前十時からである

大典映畫を 紐育倫敦で上映

パラマウントが成功

【新京十五日發國通】滿洲國曠古の大典の盛儀を全世界に報道公開するため米國より特派されたパラマウント撮影班主任ラッカー氏はニューヨーク本社より十三日ニューヨーク並にロンドンにおいて同時に大典フイルムを公開した旨通知を受けこの慶びを滿洲國政府に寄した

右フイルムは三月二日午後三時二十分横濱に送りエンプレス・オブ・エシア號が同日三時横濱を出發したゝめスピードボードで追ひかけ聯絡をとりシヤトルからニユーヨーク迄空輸十三日ニユーヨークを中心として米國で公開されたものである

に於べて來すに… あるだらうとその點に對して勝美の立場と本件との關係を述べる、世人羨望の的たる博士夫人の身でありながらその身を持することが能はず愛慾の虜となり一面識の中園、一介の書生の青柳に更に學生時代に處女を失つたなぞは以つての外で勝美こそ夫婦生活への挑戰であり家庭生活への反逆であり更に家族制度と婦人貞節道德の破壞者である、道義上斷じて許すべからざるものである、女性弱しといふも女は貞操には強きといひたすは我日本婦人の誇りとするところである、供述によつても知れる如く或ひは勝美の當法廷で述べたらぬ點があつたにせよ滿洲チフス病原體の發見につゞいて豫防法の研究にある夫に對しあゝした全く被告の一存より起きた事件の渦中に陷し入れた罪は大きい、學究者として研究以外何ものもなく一路研究に邁進して俗事に關して口は利きたくない見たくない溺れたくないの主義を力めて實行しつゝあつた事はこれは一人兒玉誠のみならず他の學究者にもしばしば見る事例であるがかくの如き夫を持ちたる妻はその境遇になじみ夫を理解し夫に同化し夫を助け家庭を

主人は行方不明 燒跡に男女死體

北安鎭齒科醫院怪火

【北安鎭十四日發國通】十三日午前六時二十分當地東二道街齒科醫者多田方より出火同家一戸を全燒七時半鎭火したが燒跡に何者とも判別のつかぬ男女の燒死體あり又多田氏の行方全く不明の點よりみて何等かの事情が伏在するに非ずやと觀られてをり目下死體の身元出火の原因等につき取調中である

滿洲國陸上選手

大連で合宿して練習

滿洲國體育協會では既報の如く國際運動競技界へ進出する目的を以て陸上競技、排球、籠球、蹴球の諸選手を大連に合宿せしめ合同練習を行はしめんとする計畫を立てゝ居たがその第一陣として十五日午前七時着列車で十希渭主將以下十五名の陸上選手が先着の酒井監督以下滿洲國側運動關係者多數の出迎へを受けて着連直に寺內通り三一の紹長棧に投じたが一行は二十日間の豫定で大連運動場に於て午後三時頃より連日練習を行ふ由(寫眞は一行)

情狀酌量の 餘地がない中園

檢察官の論告は熱を帯び凄味を加へて來ると中園はいつもの如く縮く慄へつゝ頭を低く垂れてゆく―中園の當法廷における陳述は大體において犯罪構成事實はこれを自白してゐるがその情狀に關する點、犯罪の道程における被告の行動に對しては遺憾ながら寸毫の同情も寄せることは出來ない、卽ち被告の陳述中、犯意を否認し若しくは矛盾撞着も甚だしき點に就き以下順を追うて證據說明をしたい

と中園の心臟にチクリと針を刺し

一、中園は勝美の初戀の男川崎秀雄を裝ひその魔手を伸したこと

二、被害者青柳貢に再三再四無名で電話又は手紙で脅迫してゐた

死體を切り刻んで 全市にバラ撒く

哈市にバラ〳〵事件

【ハルビン特電十五日發】玉の井のバラ〳〵事件に輪をかけた樣な慘忍な死體が發見されてハルビン市民を戰慄させてゐる、松花江の氷上で洗禮教徒がいとも莊嚴な洗禮祭を行つた氷の十字架附近で去る十日手足のない露人とも滿人ともつかぬ裸の死體が發見され十一日にその片足が一里も離れた新市街放送局附近で發見され奇怪な事件とされてゐたが十二日に氷の十字架から程遠からぬ汲井戸(氷を割つて河の水を取る井戸)附近に殺人現場らしい生々しい血汐と血染の靑天白日旗が捨てゝあつた、愈々謎の樣な事件として流言が亂れ飛んだが十三日正午頃一ロシア人が又々新市街チウリン商會前で股丈の足を拾つて屆けて來たところが同日松花江の稍上流の氷上に今度は內臟丈取出して捨てゝあるのを發見した、バラ〳〵氏の身元も犯人の手掛かりも皆目解らないが警察の檢案に依ると死後鋸で切り刻んだもので殆ど全市にバラ撒かれた譯である

突發的事故か 遭難の原因

生存者は全部非番

【佐世保十五日發國通】友鶴遭難救出作業に關し各方面からの情報を綜合するに艦橋當時ハッチを締める暇もなかつたらしく開放されたハッチから浸水してゐた、ドックに入れる際マストや煙突を切斷して入渠したが、艦長室窓は押つぶされてゐた入渠してから浸水排出に約二時間を要し、艦體の安全を保たしめるに非常な骨を折り十四日午前二時に至り漸く入渠作業に移る事が出來た、元來水雷艇は四分の三が部署につき殘餘の四分の一が非番にあるのだが今回の如き荒天の際は多少部署についたものが多かつたとも思はれる兵員室は前部と後部にあり前部の兵員室は浸水甚だしく今迄に救助された十三名も後部兵員室にあつた非番のものであつた、艦內には機械類が散亂して重油が夥しく流れ出て死體の搬出には最も困難を極めた原因ははつきりしないが姉妹艦千鳥が無事であつた點から見て何か突發的事故が發生したのではないかと思はれる

行方不明は 卅一名

艇內死體二個

【佐世保十五日發國通】十四日午後八時半迄の死體收容は六十七に達し何二名の死體が艇內に認められるが、機關室と兵員室との間の狹い區間にあり救出作業困難にて收容に至らず、この外には死體はないものと推定され六十九名死亡十三名生存と合せ八十二名の生死が確められ行方不明三十一名となつて居る遭難者階級別左の如し

▲死亡 士官二名、准士官二名、下士官十四名、兵四十九名、計六十七名
▲生存 下士官一名、兵十二名、計十三名
▲行方不明 士官一名、准士官一名、下士官十一名、兵二十名、計三十三名

なほ艦內にある死體二個は行方不明と加算されてゐる

營盤附近で列車爆破

乘客、警乘員十二名卽死

【ハルビン十五日發國通】當地に達した情報によれば十四日午前十一時四十分頃濱海線營盤驛附近に於て共產黨員のため列車爆破され乘客十名、ロシア人警乘員二名卽死した

中等校出の 採用試驗

社員俱樂部で

滿鐵の中等學校卒業生採用試驗は十五日午前八時より大連滿鐵社員俱樂部に於いて行はれたが、受驗者は左記のごとく百九十七名で、同日は適性および作文「滿洲の將來」の試驗あり、十六日は引續き口答試問がある(寫眞は試驗場)

▲中學(一一七名)大連一中一九、大連二中一七、旅順中學五、鞍山中學六、奉天中學三、安東中學七、撫順中學五、新義州中學四、朝鮮一、內地中學五〇▲商業(六六名)大連商業二八、新京商業六、內地商業二〇、朝鮮商業一二▲工業(六名)▲農業(八名)

大商見學團

【京都十五日發國通】大連商業旅行團は十三日神戶上陸後直ちに京都に入り卽日嵐山の景色を賞し十四日は市内名所舊蹟を訪れて昔を偲び、十五日は更に桃山陵に參拜して國民精神を作興し次いで御所を拜觀して國體觀念の涵養に資するところ多かつた、なほ一行は十六日京都出發奈良に向ふ豫定である

ばんぎや開店

長年宅の店に在勤せし齋藤麟太郎氏は先般退店し十六日より大山通り三越前に東京風生干菓子、洋菓子專門店を屋號ばんぎやで開店する

天氣予報

北西の風晴時々曇 十六日

各地溫度(十五日)

	午前五時	午前十一時
大連	零下五	零下四
旅順	同五	同四
營口	同七	同三
奉天	同九	同四
新京	同一二	同六
新義州	同四	同二

今日の小洋相場(十一時半)

金百圓につき百十七圓六十錢

新講談

丹下左膳 (46)

林不忘 作
小田富彌 畫

火吹紅竹 (七)

音笑をつゞけた左膳、なほも心中にひとり言を繰りかへして、

「お前が死んで、そのおかげで萩乃を貰ふなんてのは、どう考へてもおらア蟲が好かねえ。なあおい伊賀のあばれん坊ッ！おれの手にかゝつて生きのいゝ血を噴くまで後生だから生きてゐてくれよ。お前の命は、この濡れ燕が掴かつてるんだぜ。それまでア大事な身體だ。粗末にするなよ」

劍につながる、一種の殺伐な友情さもいふべきか、敵味方を超越した不思議な感情が、こんこんさして泉のごさく、左膳の心に……。

「あの源三郎を殺っつけるこさの出來るやつあ、このおいらのほかにやアれえ筈だ」

しばらく考へたのち、やつさ安心した體で、

「あの源三が死んだなど、、茶羅つぼこにきまつてらあナ」

あたまの中で、大聲に啾鳴つた左膳。

さにかく手紙は立派に――あんまり立派でもないが……書けたんですから、明るくなるのを待つて角のポストへ入れに行かうさ――イヤ、ポストぢやない。チョビ安を叩き起して、妻戀坂へ持たしてやらうさ、左膳はありあけ行燈の灯かげに、ニッさほくそ笑んだ。

そして。

天井まで届けさ、ニユッさ兩手を突き上げて、大きな欠伸をしました。オット、ひだり手だけですね。左膳に兩手があつちやア話は滅茶々々だ。

それにしても。

人が兩手を突つ張つてあくびするさころを、片手でやるんですから、何だか信號のやうで、變な欠伸の恰好だ。

そんなこさは何うでもいゝ。

さて――。

これからソロ〳〵こけ猿の茶壺を開けにかゝらう……さ、左膳は舌なめずりをして、横に置いてある壺のはうへ、膝を向け直しました。

いよいよ壺の秘密が明日へ――數百年を經た地圖には、果して何處に財寶が埋めてあるさ書いてあるだらう？

中國か、山陰か、甲州路か。それさも北海道？滿洲ッナニ、そんなさころの筈はないが、江戸でないこさだけは確です。

どこさあつても左膳は、これからすぐ旅ごしらへ、濡れつばめを供に、可愛いチョビ安の手を引いて、發足する氣でゐるんだ。

左手が、一番上の風呂敷にかゝつた。ぱらり、結び目がほどけた。

何時の世、いづくの世界でも、人をして眞劍ならしむる我利物慾……その途方もない莫大な財産が人に知られず何處かの地中に眠つてゐる。おまけに、今それには、柳生一藩の生死浮沈がかゝり、この江戸だけでも、何十人さいふ人間が、眼の色變へてこの壺を、いや、壺の中の秘圖を必死に狙つてゐるのだ。

古今を貫ぬく黄金の力――劍魔左膳の一眼に、異様な光が點じられた。

柳生の先祖の封じ込めた埋寶個處は、いまその左膳の左眼に讀み取られようさ、壺の中で早く〳〵さ、聲なく焦つてゐるやうに感じられる。

夜の引き明け前には。

一度、深夜よりも森沈さ、暗く物凄く、夜氣の凝る一刻があるさいふ。

今がそれだ。

氣を詰め、呼吸を彈ませて、縮から壺を取り出す左膳の横顔に、魔のごさき鬼氣が澱んで、黒く歪んで見えるのは、眉から口へかけての刻んだやうな一本の刀創。

壺には、チヤンさ紅い縮緬のすいかりが掛かつてゐます。その、縮緬の目をさほして覗いてゐる、壺の肌の床しさ！美しさ！

さすがに傳來の名器だけのこさはあるさ、左膳がその品格に打たれた時です。

曉の風に乘つて、遠く近く、おれ！半鐘の音が……。

エノケン映畫 愈よPCLで

人氣者エノケン榎本健一がP・C・Lで撮る第一回主演映畫は「エノケンの醉虎傳」さ決定、日活からP・C・Lへ入社した山本嘉次郎監督が唐澤弘光技師のキャメラで撮影を開始した

脚本はP・C・L、エノケン兩文藝部合作で音樂(紙恭輔)錄音(市川綱二)助演者は二村定一、柳田貞一、如月寛、武智豐子、千川輝美、彌生ひばり、永井智子、花島喜代子、高清子、中村是好等ピエル・ブリアント一座及びP・C・L專屬スタア藤原釜足、堤眞佐子、丸山定夫等である

笑友會淨瑠璃會

笑友會の春期淨瑠璃會十六、十七の兩日午後六時より沙河口倶樂部において開催、大連より鶴子、時勢等も出演するさ

うわさ話

帝國館では默案の發聲再生機を裝置することになり愈々ニブトン再生機を据つけ中であるが▲十七日から「タイガーシヤーク」さ「只野凡兒」の混合プロで發聲興行の蓋をあけ▲二十一日からは第二回さして「海の生命線」さ「ほろよひ人生」の日本物全プロを組み▲今後は隣下二十錢で特作品の再映發聲興行に主力を注ぎ寶館さの正面衝突から方向轉換する▲十四日歸連した南中央映畫館主が「各社さくら音頭競演集」さいふのを東京で手に入れて來たが、之は各社の「さくら音頭」のスナップを集めたもの▲日活の「ニッポンさくら音頭」に特別出演するポリドールの喜代三は松竹の「薩摩心中」にも出演し流行歌「鹿兒島小原節」を獨唱する▲松竹の「さくら音頭」は音樂監督に堀田敬三氏を引き誰田音樂部コロムビアが合同して音樂的内容に力點を置いたトーキーを製作するこさになつた

◇◇武道大鑑◇◇ 山手樹一郎の原作「一年餘日」の改題映畫で久振りに千惠藏映畫らしい風貌を備へた作品さして好評を博してゐる伊丹萬作監督片岡千惠藏主演の時代劇で相手女優は山田五十鈴、スチールは千惠藏の小楯弓之助(次週日活館上映)

日英會商決裂經緯

會商決裂後の英國 どんな態度に出る？

戒心の要はあるが我方は惧れない わが朝野關係者の觀測

【東京特電十五日發】日英會商決裂の結果今後の日英通商關係如何といふに英國は必ずやあらゆる手段を弄し、全英帝國は勿論その勢力範圍にある諸國をも動員して日本品總排斥の擧に出て來ることは豫め覺悟せねばならない、差當り棉業に及ぼす影響はたとひ日英通商條約を廢棄しても棉業の根本は動搖しない

何故 なら、印度は既に日印協定が成立してをり、對印輸出には、影響なく印度を除く英國屬領自治領を除いた第三國市場における日英綿布競爭は斷然日本が優勢である、即ち昨年における第三國への輸出は英國八億七千萬平方ヤード、日本十四億三千萬平方ヤードで英國が日本に及ばざること實に五億六千萬平方ヤード、しかも英國の減退傾向あるに對し日本は增加傾向にある、かく日英通商條約が廢棄されて最惡の場合に陷つても第三國への輸出が全く停止することはない次に全英帝國貿易についてみるに、一部悲觀論者は日英通商條約廢棄をひたすら恐れ

通商 關係はわが國が先方に對して賣るよりも多くわが國が買つてゐる、日本は全英帝國の顧客で昭和八年には八千九百三十二萬六千圓の輸入超過を示してゐる日本がカナダの小麥を買はなくなつたらどうする、濠洲羊毛の輸入を減らしたら如何、算盤高い英國人がかくの如き明らかなことを見透し得ぬ筈はない、依つて英國としても損を見越してまで日英通商條約を廢棄せぬであらうが、何等かの報復手段を講ずることは免れぬものと豫期しなければならぬ

到着以來我綿業の正當なる努力發展に對する認識を廣めるために努めた、然るに正式會商を開始するや、英國代表は日本綿布及人絹布の輸出增加は通商の安定に害ありとし世界各市場に對する日本の輸出を一方的に制限し英國の輸出には何等の制限を附せず自由となすべきことを提議した、我々は斯る要求に對してその不當なる所以を力說し日本は數ケ國と直接交涉を開始せる事實を擧げて第三國市場及關稅自主權を有する自治領はこれを協議外とすべく、從つて實施可能なる英國及各屬領に就いて協定に應ずべきを主張した、以上の如く日英双方の主張に懸隔あり、一致を見ること不可能なる事實を見て日英兩國政府當局が斡旋を爲し、その結果英國代表は再考の上新提案を爲して日本の同意を求めた、併し右提案は單に說明の樣式を改めただけで、その實質に變更なく依然として日本の輸出を一方的に制限

兩者主張對立

妥協の餘地がなかつた かくて日英會商は決裂した

【ロンドン十四日發國通】日英通商協議會第六次會商は午前十時半より商務省會議室で開會、日英兩代表部殆ど全員出席の下に審議を開始し、劈頭岡田首席代表からランカシヤ綿業團の新覺書に對し日本代表部の回答を手交した、それより應酬三十分の後日英代表部は各々別室に退き更に協議を遂げたが、午後零時二十分會議續行の結果市場範圍その他につき日英兩代表部の見解は完全に對立し、到底妥協の餘地がないと云ふに意見一致し今後審議を續行せず懸案一切をあげて日英兩國政府に移管することゝなつた、斯くて日英通商協議會は何等の成果を得ることなく開會以來前後僅かに一ケ月正式會商六回の後遂に決裂するに至つた

全問題は政府へ 英當業者の意向

【ロンドン十五日發國通】昨日午前十時三十五分より開會の日英會商は一旦休憩後午後零時二十分再開約四十分協議したが、結局双方一歩も主張を枉げず遂に協議は決裂し、午後一時暫定的休會の形式にて散會となつた、散會直後ランカシア側は全問題を政府に附託することを聲明した、なほ暫定的休會の語を用ひてゐるが永久的決裂を意味するものと觀られる

日本代表部 重要聲明發表

【ロンドン十四日發國通】第六次日英會商後日本代表部は日英通商協議會決裂の經過につき大要左の如き重要聲明を發表した

日英會商は遂に決裂を見た、我々日本代表は昨年九月ロンドンに及び、

大連市場の特殊性と現在市場の缺陷（三）

大野 勇

各方面の不滿

一、「設備の不完全」についてはどの方面でも最大の缺陷とされてゐる

二、「荷主側の不滿」は市場相場の乱高下で奧地に比して取引上利便多く利用したいは山々だが現狀では迚も安心して送荷出來ぬ

三、「運送その他中間取扱者側」では荷主の意思により奧地送りを取扱ふのに對し違反行爲者を以て臨まれ堪へ難き苦痛だとする

四、「仲買人の側」では荷受販賣の權利を市に提供したが、本來問屋業（日本人を主とす）で來た以上、仲買専業では奧地轉送にも甘味なく商取引は漸次不況を加へ行き困つたものだと意氣昂らず

五、「開設者並に多くの市民側」には市場の目の前を素通りする貨物に未練が多く市場繁榮の爲にも市場取引の集中化を圖るべしとする者と通過貨物に眼を閉ぢて消費市場として堅實に守ればよいとするものとの兩說がある

以上に對し短評を試むれば

一、誰にも問題はない

二、荷主側にして見れば尤もながら、之には矯正の方法も充分ある

三、新制度に伴ふ一時的の現象でどこの市場にもあることである

四、要するに愚痴だが、この愚痴は實に市場の癌である、大死一番の奮發を要する、去る頃設定された仲買奬勵金制度も要はこの必要から出發してゐる

五、については今少しく所說を明にして批判に移る

イ、消費市場に限局する說

自由港の本質と奧地の關門たる

消費市場か中繼市場か

右に對する私の意見は左の

一、實際上どこまでが消費

內地の檢査權を海務協會にも

海運聯合會から請願

從來關東州置籍船の內地における船舶檢査は民間事業助成の趣旨から大連海務協會の檢査員をして行はしめ、次いで帝國海事協會が創立されるや遞信省當局においても同協會を擁護してこれが檢査權を認めたので船主の受くる利便は甚大であつた、然るに本年二月一日船舶安全法が實施されてから該檢査は前記帝國海事協會のみに認められんとする形勢にあるが、

三取引所の廢止は既定方針の斷行

回顧さる、當年の殷盛

新京、奉天の存續は特殊理由

開原、四平街、公主嶺の三は遂に今月二十日かぎり廢止

南洋華僑衰退

土着人の發展と資金の缺乏とから

南京政府委員派遣調査

北鐵の輸送成績 前年の二割五分

依然出廻不振の北滿特產

二月末現在の大連銀帳尻

軍需品工場の高率配當嚴重取締

市場電報

市況

大豆軟調

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
定價 一部賣 金五錢 一ヶ月 金一圓 郵税 金十錢
廣告料 普通一行 金一圓 特別一行 金二圓 場所指定 二割以上
發行人 鈴木 編輯人 橋本 印刷人 本村
發行所 大連市東公園町 株式會社滿洲日報社

委託の國線と雖も日本政府が監督する
衆議院の關係委員會にて永井拓相の答辯要旨

滿鐵監督權

【東京特電十五日發】滿鐵に對する監督權の問題について數日來衆議院の委員會において問答行はれたが、永井拓相の答辯要旨を綜合すれば左の如し

一、滿洲國政府と滿鐵關係
滿鐵が委託を受けて經營する鐵道に對して滿洲國政府は多大の關心をもつのは當然であるが、これを監督する權限は日本政府が有するのであつて滿洲國政府にはない、日本政府は滿鐵が滿洲國との契約を忠實に履行するやう指導監督するのである

一、委託經營線
委託經營線に對してわが外務省が出先官憲を通じて直接監督するといふことはない、たゞ滿鐵が滿洲國との間に何等かの外交交渉を生ずる場合國交の圓滿を保持するため外務省が出先官憲に通じて指示を與ふるのである、これは監督權ではなく明文に現はれざる事實上の連絡關係である

一、一般的の滿鐵監督權
これは拓務省に屬する、從つてわが政府がその根本方針を定めるのである、所謂一元化はこの意味において實現されてゐるのであるが若し一元化なる意味が現地において行ひ政府が與らぬといふのであればそれは同意出來ない、對滿國策は日本政府として全責任をもつて行ふべきもので滿鐵監督もその一部門である、故に政府が大本を決すべきものだ、たゞ大小すべて政府が訓令するわけにゆかない、滿鐵をして充分に機能を發揮せしめるためには活動の自由を與へる必要がある、そこで大本の方針を體して現地の監督官廳が監督の任に當るべきである、現地に於て關東廳が一般の監督の任に當るのであるが今日の事態では軍部も軍事に對する立場から色々指示しなければならぬ、その他の方面でも色々の意見はあらう、これらの指示や意見は充分に尊重するのは當然であるが、これらを如何なる程度に採用するかはすべて政府が決定すべきものと信ずる【寫眞は永井拓相】

政府否定に拘らず會期延長已むなし
重要法律案の山積

【東京特電十五日發】總豫算案成立を見て政府は一安心の態であるが、重要法律案の殆ど全部はなほ兩院の審議中に屬し、殘る十日足らずの會期中にその總てを通過せしめる事は到底至難であると見られる、殊に米穀政策に關する各案、産金買上法案、通商擁護法案及び選擧法改正案、治安維持法改正案等は是非とも通過することを期してゐるが、選擧法案のみが十六日頃修正されて貴族院に送附される外その他の案はなほ衆議院の審議が終らない、即ちこの儘で進めば會期を延長しなければ大半は握り潰しの外ない狀態で、政府は目下のところ會期延長せずと稱してゐるに拘らずいよ〳〵會期末に至り多少の延長を餘儀なくされるであらうと見られる

追加豫算案可決
選擧法改正案上程
きのふの衆議院本會議

【東京十五日發國通】九年度追加豫算案、選擧法改正案等重要法案上程の十五日衆議院本會議は一時十五分開會、首相以下各閣僚の顏も揃ひ秀島秋田議長より補缺選擧に當選初出席の末松偕一郎君（民政）を紹介、日程に入り

一、昭和九年歳入歳出總豫算追加案
一、昭和九年各特別會計歳入歳出豫算追加案
一、豫算外國庫負擔となるべき契約をなすを要する件

を一括議題とし前田豫算委員長から委員會の經過、結果を報告し討論に入り

由谷義治君（國同）我々は絶對反對である

と冒頭し本豫算案は農林豫算であるが而も尚農村は救はれない、只政府の農村に對する認識不足と熱意なきを證するに過ぎない、かゝる僅少なものでは贊成したくも贊成出來ないとて内政會議と本追加豫算案との甚だしき懸隔を列擧し農林關係各問題に論難を加へ

農相は今辭職するのが農民に對し誠意を披瀝する最後手段である

と詰め寄り更に各閣僚を初め政民兩黨にまで八ツ當りに當り散らして反對論を終る、次いで

青木精一君（政友）本案には多大の不滿を持つが大局より見て已むを得ず贊成を表すると御座なりの冒頭をなし内務、農林關係事業の不振を論じ現内閣の不統一無統力を詰つた後要するにこの追加豫算には已むを得ず贊成するが豫算の不徹底により案ずべき諸種の結果は擧げて現内閣の責任なりと申上げて置く

と拾壷詞附贊成演説を終り、次に

小池四郎君（第一）登壇、本案に反對の旨前提し、現内閣の無定見を詰り、目下の經濟機構では絶對農村救濟は不可能であると反對論を強調、代つて

勝正憲君（民政）この追加豫算は農村救濟中小商工業救濟に就き何等根本對策が樹てられてゐない、農村非常時に際しては財政上幾分の犠牲も已むを得ぬと述べた後希望條件附でこの豫算に贊成したいと結び直に採決に入り多數を以て可決

次いで
一、朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案（政府提出）
一、臺灣私設鐵道補助法中改正法律案（同上）

を上程永井拓相提案理由を説明、

小磯中將凱旋
けふ午前新京發

【新京特電十五日發】昭和七年八月關東軍參謀長として赴任以來一年有半滿洲國の治安維持に經濟建設に偉大なる功績を殘して十六日午前九時發はとで新京發第五師團長として榮轉内地に凱旋することゝなつた小磯前參謀長は十五日午後四時關東軍司令部弘報室に於て在京記者團と會見左の如き送別の辭を述べた

◇…思へば滿洲に參つて參謀長に就任以來なさねばならぬ業務の多かつたにも拘らず顧みて御國の爲に貢献した所餘りに少なかつたことを自覺し申譯がないが在勤一年八ケ月、この間新聞に健筆を揮はれる諸君は勿論日滿各方面から今日まで受けた御厚誼御鞭撻就中御忠言御鞭撻によつて大いに英氣を與へられたことが少くない

◇…私の在任期間は短かつたとはいへ滿洲の皆樣とは永年つき合つた知己のやうな感じがする、今回内地に凱旋することになつたがまるで數十年間住みなれた故里からでも旅立つやうな氣持で洵に感慨無量のものがある

◇…實は滿洲事變勃發以後最も重要性を帯ぶるものと考へられてゐた關東軍參謀長に就任したが自分のやうな素養蘊蓄の淺いものが軍司令官補佐の重責は全くその任に非ずと考へ只及ばんことのみを案じて居たが幸ひにも軍司令官は全幅の信頼を寄せられ參謀副長以下將兵は隊長になぞらへ忠勤を勵んでいたので及ばずながら自分も責を全うすることが出來る次第である、又在任中の諸氏と屢々會合する機會はなかつたことは甚だ遺憾であるが、第四課を通じて我へある所を承知して頂きよく働いて下さつたこと…

齋藤首相 司法警察官問題は目下考究中である、政民の修正如何、又政民兩黨の修正案に對して政府は如何考へるか

林總裁文相説
推薦者はある
併しまだ實現性なし

…林伯の文相説の出所は政黨出身の文相排斥の空氣が濃厚なところから研究會の大臣候補た…はないものと見られる

居据りは困難
政界裏面の策動は漸く熾烈
貴院の空氣も險惡

白衣勇士凱旋
十六日午前十一時照國丸

經濟官設置案
政府にて考慮

けふの兩院

【東京十五日發國通】十六日の貴族院は午前十時から本會議を開き衆議院議員法中改正法律案其他法律案を附議、それぞれ委員に附託しこれと併行して豫算總會を開き衆議院送附の追加豫算案を審議し同時に各特別委員會を開く
衆議院 衆議院は午後一時より本會議を開き多數法律案を上程又各委員會を開く

兒玉事件公判で逆襲頗る辛辣
ゆうべ菱刈長官來連

菱刈關東長官は約五十日振りに秋山參謀、今岡副官、鹽原秘書官、峰憲兵隊長、河本兵站部長等を隨へ十五日午後七時三十分着はとで

來連 直に關東廳差廻しの自動車で一路旅順に向つた、驛頭には山西滿鐵理事、御影池民政署長、大場關東廳警務局長、高柳中將、白濱瓦斯專務、村田本社長並びに金州迄出張の寺田大連署長等官民多數の出迎へがあつた

金州まで出迎への記者に對して將…

…今度の陸軍異動は大分大きくやつたが何度人を變へて見たとて同じことだ、却つてこんな事をして手間を取るだけ損ぢやないか、内閣もつぶれさうで中々つぶれないがその中俺の方にお鉢が廻つて來るやうな氣がしてならないので待つてゐるがなんとも云つて來ないで腐つちよるさと破顏一笑ところで大連は賑やかな事だらうと記者に皮肉な鋒先を向けるので

一緒 に仕事をやるといふやうな氣持なんて全然しないさ、何ッ、ソ聯飛機が蜜山縣に侵入したとに就いて大分問題になつてゐるつて？どうせ國境を越えて來たのだから國境問題には觸れるが、たかが一臺の飛行機だ打つちやらかしておけばよいさと言葉を濁らす

旅順官邸へ

…關東長官菱刈大將は大連迄出迎への大場警務局長を隨へ十五日午後八時四十分自動車で大連より旅順に到着、直に關東長官々邸に入つた、水谷文書課長、其他各課長、杉浦高等法院長、下田檢察官長、青木旅順警察署長、其他要港部要塞司令部重砲兵隊の諸軍人多數の出迎へがあつた

軍事委員會
陳濟棠案實現

【南京十五日發國通】陳濟棠の提唱する西南軍事委員會設置案は俄然實現の見込み濃厚となり目下當局において引續き協議中であるが…

代表の經濟顧問として活躍す

木村正義君（政）委員長報告に贊成し國同の修正案に反對す

手代木隆吉君（民政）修正案は必ずしも滿足とも思はぬが

一、工業法中改正法律案（政府提出）
委員長報告案を多數で可決…

本會議を開き多數法律案を上程又各委員會を開く

滿洲國承認
方式研究
聯盟の法律家

【東京十五日發國通】時事新報ジュネーヴ特派員ジョンソン氏發電によれば、滿洲國皇帝即位通告に回答した十數ケ國の内ノールウェイ最も滿洲との友好關係發達増進を希望してゐるが、ノールウェイは聯盟の有力な加盟員として現に代表ウイリアム・ランゲ氏が理事會員及總會非承認諮問委員會長になつてゐるので、聯盟は理窟は兎も角實際的に對滿態度を變更の必要を認め來つたものゝ如く聯盟の法律專門家は決定した法律上の非承認原則を傷つけず滿洲を事實上承認すべき方式を發見すべく眞劍に研究中である

滿洲國承認
先驅する"事實"
壽府には皮肉な空氣

【東京特電十五日發】ジュネーヴ…

…の通告に對してノールウェー、エスアニア、トルコその他各國が滿洲國政府に對し皇帝即位承認の通告を送つたことを知つて聯盟當局は眞に決定せる滿洲國不承認原則の審判であるとして狼狽し殊にノールウェーが滿洲國に對して友好的關係増進を希望したとは同國が聯盟の有力な加盟國であるのみならずその代表が理事會員及び滿洲國不承認諮問委員會長である事實から見て特に衝動を感じてゐる…

日滿亞麻紡織會社設立

【東京十五日發國通】北滿の麻を目標に今回資本六百萬圓の日滿亞麻紡績株式會社設立に決し該社は滿洲國の制度に依り日滿亞麻紡織股份有限公司に投資し又は麻類の纖維採集紡織原料及び製粉販賣を行ふもので總株數十二萬の内三萬は公募する創立總會は四月二十五日開催に決し製品工場は奉天に設置の豫定である

小松原機關長を訪問

【ハルビン特電十五日發】スラウツキ總領事は十五日特務機關に小松原機關長を訪問し
我が國の飛行機が滿洲國領内に不時着したのは遺憾にたへない操縦士は一旦匪賊に拉致され生命の危險に瀕したのを滿洲國官憲が救出し保護を加へた事は深く感謝する、兩國親善のため速やかに兩人が歸國出來るやう取計らはれたし
と依頼した、これに對し小松原機關長は
苟くも軍用機が滿洲國領内に深く着陸した事實がある以上一應取調べなければ確答出來ない、場所が邊陬の地であり且つ積雪のため連絡不良にて事情が判明しないが調査の結果善處する
と答へた

早速

…持參の…"日滿經濟協定書"云々の記事等は素通りして早速二面の兒玉事件、第三回公判の記事に目を通し
中國の死刑は人を殺してゐるのだから當然だが勝美の懲役二年は一寸短いぞ、まだ二十九だ、二年だつたとして三十一ぢやまだなんでも出來る歳だから困つたものさ、君達の御感想は如何ですかね

…再び新京へ歸任の筈【寫眞はゆうべ着連の菱刈長官】

社説　非常時豫算の成立

九年度總豫算案が十四日貴族院で可決確定された。各特別會計豫算案も同日通過したので、別に追加豫算はあるが、此處に大體において九年度豫算が成立したわけである。一般豫算の總額は二十一億一千一百五十三萬七千餘圓である。その中陸軍は四億四千九百萬圓、海軍が四億八千九百萬圓で、合計九億三千八百萬圓、全豫算の四割四分に當る。其他公債費、恩給費の大部分は陸海軍に屬するを思へば、軍事費が十五億に垂んとする。即ち此の軍事費の多大なる事を第一とし、第二には、非常時なるが故に、外務省の外交工作を必要とし、並に農村小中商工業救濟助成の國力根本養成政策を必要と爲すに拘らず、その方面には案外に豫算の多からざる事、第三には、赤字公債なるもの七億八千五百三十三萬五千圓ある事等によりて、非常時の面影を見得るのである。

◇

此の如き非常時豫算なるが故に、その案の編制には多大の困難を伴ひ、既に豫算案編制の閣議は難關に遭遇し、内閣の命脈を斷たんとしたのであつた。漸く此案を纏め上げたのは、一に高橋藏相の手腕と信念とによるものであつて、更に陸海軍、外務、農林、商工各大臣の努力協力隱忍によるものであつた。而してその外には、非常時の此際に於て、内閣の崩壞を好まぬといふ各方面の空氣が濃厚であつたことが、此豫算案を成立せしめた原因であつた。されば此の豫算案が議會に提出さるゝに當つても、兩院に於ける議論は甚だ少なかつた。偶々議論を捲き起しても豫算案には直接關係のない事項で、豫算その物には格別の議論はなく、一點の修正意見も出ずして兩院を通過し、此處に九年度豫算の成立を見たのである。

◇

豫算案に不滿を感じてその意見を陳ぶるものはあつたが、さりとて之れを如何に變更すべきかは手の着けやうもない。それら不滿の意は既に閣議の際に於て、閣内にも閣外一般民間にも現はれた所であつて、藏相その他の閣僚はそれらの不滿を十分に斟酌考量した上に、練り上げたものであるから、議會にても之れを如何とも爲すを得ないのである。強いて修正に手を着ければ、案編制當時と同樣に内閣の崩壞となり、豫算不成立となり、非常時局の運轉に障碍を及ぼすからである。

◇

故に今度の豫算程、議會に於ける、當局の説明が容易で簡單であつたことは、戰時以外には前例のない所であつた。それは議員各自に於いて充分に豫算案編制の事情を知悉し時局のデリケートなことも充分に承知してゐるから、出來ない注文もせず、説明に苦しむやうな質問も差控へられたからである。斯樣にして比較的無事に討議が進んだのであるが、その間には各種の事項に渉りて種々の注文もなされ、將來の施設に關して注意も與へられ、質問應答の間に、國策の要點に就いて議員も閣員も双方共に深く考へ得る所があつた。一般國民もこれによりて、向ふべき所のヒントを得たり、自ら省みたりするを得る所もあつた。

◇

此豫算は、外見上軍事費偏重と見られるのは已むを得ない。併しながら軍事當局から見れば尚國防に不滿を感ずるのである。誠に已むを得ざる緊急費のみを計上されたのであつて、内容から論ずれば決して軍事費に偏重するものでない。元來非常時の財政に於て、緊急已むを得ざるものが軍事費だといふ點に重きを置き、軍事費の中で緊急已むを得ざる費用が計上されたのである。此故を以て、此豫算案の討議に際して説明に困難な討論も起らず一般社會でも議論を起さなかつたが、國民のふところ工合から見れば決して安易な支出ではない。豫算膨脹の爲めに民間の收入も增加し、一部に景氣のよくなることもあらうが、それは主として公債に依るものであつて、將來の經濟と財政とには決して樂觀を許すべきでない。要は此豫算の運用によりて國力の堅實な發達を期するにある。今日豫算通過に當りて吾人の感ずる所は只此一點にある。陸海軍を主として各方面に於て、此豫算は決して易々と出來上つたものにあらず、國民が齒を喰ひしばつて、血肉を削り取つたものであることを、充分に心の底から體認すべきである。而して、この豫算の效果によつて國民にその血肉を返還するやうに努力されなければならぬ。

歸順匪の反撃に　嗚呼飯塚大佐の死
公報出で、一しほに涙新た
關東軍司令部發表

【新京特電十五日發】關東軍司令部發表＝佳木斯附近に於て匪賊の冬期討伐と治安工作に活動してゐた廣瀨○團麾下の飯塚大佐指揮の討伐隊は九日依蘭附近に匪賊出現の報を得て直に討伐に向ひ激戰の結果これを擊退したがこの戰鬪に於て協同動作をとるべき宋雷（元匪賊出身）の依蘭地區警備隊が匪賊に通じて我が軍に反擊したため飯塚部隊は意外の苦戰に陷つたもので急報により直に佳木斯附近に駐屯せる吉川、曾木兩部隊が增援に向ひ十一日右匪賊を土龍山（依蘭東方十里）の山地に擊退し更に增援に赴いた横山部隊は依蘭から土龍山に前進したが途中飯塚大佐の遺骸を收容すると共に殘匪掃蕩中である、右戰鬪に於ける彼我の損害左の如し

◇敵の損害◇
▲死者百數十▲重輕傷者二百餘

我が軍の損害
▲飯塚部隊　戰死　飯塚大佐　同上　鈴木中尉　外兵士十六名軍屬一名（但し軍屬は行方不明で搜査中）
▲吉川、曾木兩部隊　重傷者　岡田特務曹長以下二十五名　戰死　兵士三名

【新京特電十五日發】關東軍司令部發表＝土龍山附近に於ける亂鬪に關し十三日廣瀨○團長は現地に臨み詳細調査の結果左の如く判明した
飯塚大佐は吉林省東北地區の討伐を終り軍旗と共に佳木斯に歸還し依蘭に於ける會議に出席のため鈴木少尉以下十五名を伴ひ聯隊に先行中、元土匪出身なる土龍山地區自衛團長が先に飯塚部隊のために山地に擊退され蟄伏しありし匪賊を糾合し蠢動中なるを知りこれが討伐に向ひ交戰したもので、その後右匪賊は我が救援隊の出動により多大の損傷を受け土龍山東方山地に四散したるを以て必要の兵力を殘置し、救援部隊はそれぞれ原駐屯地に歸還せしめることとした

農村、司法關係の官制一部を改廢
十五日附にて公布

【新京特電十五日發】滿洲國政府では林業事務の合理的開發經營をなし國有林、國有原野の警備充實を行ふため林務司を新設した、之と同時に司法部にても民事刑事に關する事務を區別分擔し司法事務の整理を敏速に圖るため官制の改廢を行ひ部内に總務司、民事司、刑事司、行刑司の四司を置くことゝなり十五日附を以て左の如く公布した

大同元年教令第六號國務院各部官制中左の通改正す
（一）第四十條を左の通改む
實業部に左の五司を置く
總務司　農務司　林務司　鑛務司　工商司
（二）第四十二條を左の通改む
農務司は左の事項を掌る
一、農事及耕地に關する事項
二、開墾に關する事項
三、畜産に關する事項
四、水産に關する事項
（三）第四十二條の二を左の通改む
林務司は左の事項を掌る
一、森林及原野に關する事項
二、狩獵に關する事項
（四）第四十二條の二の次に左の一條を加ふ
第四十二條の三　鑛務司は左の事項を掌る
一、鑛山及鑛物の精錬に關する事項
二、地質に關する事項
（五）第五十五條を左の通改む
司法部に左の四司を置く
總務司　民事司　刑事司　行刑司
（六）第五十六條を左の通改む
總務司は左の事項を掌る
一、機密に屬する事項
二、官印の管守及び文書に關する事項
三、人事に關する事項
四、會計及び庶務に關する事項
五、所屬機關の設置廢止及び管轄區域に關する事項
六、調査及統計に關する事項
（七）第五十七條を左の通改む
民事司は左の事項を掌る
一、民事及び非訟事件に關する事項
二、民事及非訟事件の裁判事務に關する事項
三、戶籍及登記に關する事項
四、提存調解及び公證に關する事項
（八）第五十七條の次に左の一條を加ふ
第五十七條の二　刑事司は左の事項を掌る
一、刑事に關する事項
二、刑事の裁判事務及檢察事務に關する事項
三、恩赦に關する事項
四、犯罪人の引渡に關する事項
（九）第五十八條を左の通定む
行刑司は左の事項を掌る
一、刑の執行に關する事項
二、監獄及看守所に關する事項
三、少年矯正及免囚保護に關する事項
附則
本令は公布の日より之を施行す

三宅法制局長官辭任に決定
近く廣範圍の異動

【新京特電十五日發】滿洲國政府の法制制度確立に寢食を忘れ鋭意その完成に努力した三宅法制局長官は君主制實施により制度の完璧も一段落を見たので、御大典終了後辭任の手續を執つてゐたが、氏の偉大なる功績に政府當局でも誠意を以て慰留に努めつゝありしも三宅氏の辭意は固く已むを得ず近く正式に依願免官の發令を見ることになつた、政府ではこれを切つかけにいよ〳〵廣範圍に亘る異動を行ふべくその發表の機運を促進しつゝあるやうである

人事

▲菱刈隆氏（關東軍司令官）十五日午後七時半着はとにて來連旅順へ
▲秋山義隆氏（關東軍參謀陸軍中佐）同上
▲鹽原時三郎氏（關東長官秘書官）同上
▲エッチ・イ・アールアール氏（英國機械技師）十五日午後七時半はとにて來連ヤマトホテル投宿
▲福本順三郎氏（大連稅關長）十五日午後四時二十分發列車にて北行
▲御厨信市氏（關東廳外事課長）同上
▲長竹信次氏（滿鐵中央試驗所技師）同上
▲三浦三郎氏（奉天憲兵隊長）挨拶のため十六日來社

君等は不承認とか何とかいふが、此事實を如何せんと映畫は語る、ロンドン、ニューヨークの大衆相手に▲滿洲國皇帝御大典映畫、十三日兩都同時に公開、まだ半月とたゝないのに早くも英米進出の快報▲南支の排日に對する南京政府の優柔態度北支に響き、黃郛氏の立場をぐらつかす▲日本に察してくれといはれても、そちらの腹がシッカリせぬ以上致し方もなし▲ソウエート飛行機の滿洲不時着は、勿論輕しからぬこと、日本の國境線内の飛行機を射擊したりした不法行爲と共に、自分の方では滿洲國上空を飛んでゐた不正行爲を自證す▲天候の爲めに方向を誤つたなどは、いかにも暗い辯解だ▲滿洲國からの抗議も當然、日滿議定書の義務によりて日本からの抗議も當然▲ソ政府は滿洲國境方面の軍備充實に汲々、兵員を集め、防備工事を盛んにやつてゐる▲最も苦痛と爲す所は交通機關にあるので目下各鐵道線路の複線工事に大車輪▲恐怖病のせいか、脅かす積りか一向こちらにはこたへぬが。

大連市會　豫算審議開始
まづ議員の質問から

昭和九年度大連市豫算を審議する第八十二回大連市會は十五日午後三時二十分小川市長、岡野助役以下參與員大内議長、若月副議長以下三十議員出席して開會
劈頭「常設委員失職の件」並に「事務報告書及財產明細表提出の件」につき報告あり「特別會計廢止の件」を可決したるのち昭和九年度豫算に關係ある左の諸議案を一括して上程、小川市長より詳細説明あり
▲大連市小學校及び公學堂授業料規則制定の件
▲昭和九年度大連市歲入歲出豫算案
▲昭和九年度大連市特別會計基本財產歲入歲出豫算案
▲昭和九年度大連市恩賜基本財產歲入歲出豫算案
▲昭和九年度大連市市營住宅經營歲入歲出豫算案
▲昭和九年度大連市質舖經營歲入歲出豫算案
▲昭和九年度大連市吏員退職死亡給與金歲入歲出豫算案
▲昭和九年度大連市中央卸賣市場經營歲入歲出豫算案
▲基本財產積戾方法變更の件
▲自昭和九年度至昭和十年度大連市立中學校營繕費繼續年期及支出方法設定の件
▲中學校建築資金起債の件
▲豫算外市費負擔契約締結の件
▲實業學校建築資金起債の件
▲有給吏員定數規程中改正の件
▲市吏員給料額規程中改正の件

大内議長通告順に質問を許せば先づ芦刈議員質問し小川市長左の如く答ふ
一、昭和八年度豫算市會における市會の希望條項は成るだけ尊重したつもりである
二、目新しき新規事業なしとの御批難は尤もなことで調査研究や豫算關係などの爲本豫算に計上するに至らなかつたが可及的に市營住宅建設、火葬場改善、小賣市場增設、卸賣市場移轉、貿易公所新設などの豫算を追加豫算として提出するつもりである
三、市債の飽和限度や償還の財源に就ては市債の性質により異り市營住宅、市場の如きは利益で償却し得べく學校經費等は戶別割によるほかない、而して大連市は現在のところ殆ど無債務に近く租稅も極めて輕く幾多の起債能力と擔稅能力に富んでゐるので毫も憂ふるに足らぬ
四、本年度豫算は學校と衞生豫算に偏してゐるとのお叱りを受けたが既述の如く追加豫算に計上して新規事業を行ひたい
これに對し芦刈議員は嫌味を並べ各課長にも一々當り散らす、次いで上原議員は豫算案を通覽するに内容空疎貧弱、學替や壁塗りの類に過ぎずと冒頭して
一、片鱗も甚だしき大連市の初等教育行政につき根本方針を樹立する意旨ありや
一、運動場極めて狹隘なる實業學校において毎年增築をなすが寧ろ移轉すべきではないか
一、今日の非衞生不體裁なる衞生作業は何時まで續くや
一、警察において許可する雇婦女に對し課稅する意思なきや
と質問すれば小川市長答へ、當分實業學校を移轉する意思なきこと雇婦女稅設定を研究したることなき旨明にする、これよりさき定足數を屢々危まれるのでこの時恩田議員
最も重大なる豫算市會において斯くの如く流會線上を出入するは市議職責に鑑み遺憾に堪へぬ休憩して狩集めよ
と怒號憤慨すれど議長取合はず、上原議員押問答を續けたが芦刈議員の動議により結局散會し十六日午後二時より質問戰を續行することになつた時に五時半

鴨綠江採木公司死活の問題
東洋人絹會社の出現

【安東特電十五日發】大川平三郎氏一派の財閥が發起人となり目下株式募集中である資本金一千五百萬圓の東滿洲人絹パルプ株式會社の原料採伐地が嚮て日滿兩國政府の豫備交涉に依つて略諒解成立してゐる鴨綠江採木公司の擴張伐採地區である鴨綠江上流安圖、撫松、濛江各縣の林區と同一なることが最近安東の木材關係者の知るところとなり異常なセンセーションを起してゐる
若しこれ等各縣の材木が同會社の手に入る時は近く正式條約成立を期待されてゐる採木公司の伐採區域擴張が不可能となり將來安東に對する木材供給が絕望となるので安東木材商組合は安東の死活問題なりとなし十四日關係各方面に反對陳情を打電したが八木採木公司理事長も數日中に新京に赴き日滿關係當局と折衝する筈である、尚右各縣の材木は落葉松が多くパルプ製造には不適當と云はれてゐる

土屋前水上署長

土屋前大連水上署長は十六日午前九時發はとで鐵嶺に赴任すると

本日廳報を添ふ

滿鐵の使命と將來……（1）
八日貴院豫算總會にて　江口定條氏の質疑
滿鐵に情弊無し

江口定條氏　私は先の豫算總會に滿鐵問題について國務大臣に質疑の通告をして置きましたが質疑者の非常に多數ありますのと時間の切迫した爲に一旦之を取消しまして分科會において適當と思ふ質疑をしまして、大臣からの答辯を得ましたが滿鐵の根本問題につきまして將來の爲に是非共此席上で、拓務大臣に政府の意思のある所を確めて置きたい、又各位にも十分之を聞いて戴きたいといふ心持から玆に發言の許可を得た次第であります
此滿鐵の問題につきましては私共彼是れいふのは甚だ快しとしませぬ、當事者も居られることでありまするし又非常にデリケートな問題でございまするから成るべくは自分にはかういふことに餘り喙を容れて彼是いふことをしたくないと思うて居りましたが、如何にも滿鐵に對する世間の疑惑が多うございますし又滿鐵に對する世間の認識が非常に足らないで、而も今日では滿鐵の職務の責任といふものは益々重大になつて來る際に、どういふもので斯ういふ具合に世間が滿鐵を本當に了解して居ないのだらうか、これにつきましては非常に殘念なことであると思ひましたので、自分が已むを得ず玆で自分の考へを申上げまして政府の御意思のある所を伺つて置きたいと思ひます

◇……◇

私の御尋ねしたいことは滿鐵の使命と性質、滿鐵の將來、この二つでございますが、申す迄もなく今日迄も又今後共滿洲開發の事は何としても滿鐵が根幹であるといふことは、是は問題にならない明かなことでございます、滿鐵なくして今後滿洲の開發といふことは、到底不可能といふことは、是は明かなことであります、滿鐵が創立されてから既に三十年、創立當座は兒玉大將が設立委員長となり、澁澤、大倉其他財界の巨頭若くは朝野の有識者が八十人寄つて總掛りであの仕事を始めて、そこに後藤總裁の如き方が居られて非常なる人物を集めて非常なる熱心を以て掛つたが爲に、滿鐵に對して是迄色々な非難はあつたでありませうけれども滿鐵の此業績があつたが爲に今日の滿洲國を後援する今日の日本の經營、日本の國策遂行といふことが出來たことだらうと思ひます
從來滿鐵及び滿鐵の社員に對して兎角色々な批評があるのは非常に遺憾なことと思うて居りますが、多くは臆測に止まることであります、先達ても拓務大臣が此席に於かれまして滿鐵が過去に於て情弊があつたといふやうなことも御話がありましたが私共見ました所では滿鐵に若し情弊があつたとすればそれは滿鐵の罪ではなくして、それは政府の罪、政黨の罪であります、根本からして始終滿鐵を擾亂さすやうなことをするが故に、滿鐵の情弊といふものが起つたことはあつたでせうが、今後はさういふことは起るべき筈のものでないと思ひますが、若し情弊があつたといふならば、滿鐵にあらずして中央にあつたと言つて確かなことゝ思ひます、是は實に滿鐵の爲には誠に惜しいことでございますし、畢竟國家の爲に非常に殘念なことでございます

◇……◇

又滿鐵の社員に對して彼是れいふ方がありますが、私共實に此事件の勃發しました時に、滿鐵社員の働き振りに對しましては實に涙を以て之を見て居りました、殆ど軍隊や若くは警察官以上の仕事をした場合もあります、生命を賭つて前線に於て幾多の犧牲を出して居ります、又家族を犧牲にしたものもあります、或は兵站の事、後方任務の事と總ての事について滿鐵社員が力を盡したことは、先達て分科會に於きまして兒玉伯から懇々と御話がありましたが、是は實に私共が日本人の國民性に依ると思ひますが、滿鐵の社員の實に國家に對しての功勞あることは非常に大きなものであらうと思ひます、唯何となく滿鐵の者が遠方にあるが爲に而も滿鐵の當事者は默々として仕事をするが爲に、何だか内地の方から始終色眼鏡を以て滿鐵を視、滿鐵の社員を視るといふことは是は誠に私は宜しくないこと、之が爲に滿鐵が仕事をする上にどれだけの邪魔になつて居るか知らぬといふことを感じますのであります
今日滿鐵は今後の開發の爲には其力に於きましても其知識、經驗、技術及人物に於て何等同然する所がなく、又新に此滿鐵で人を募る場合には非常な優秀な者が集まつて來る、斯ういふやうな形である、此滿鐵の内容に對しては決して彼是遠方から餘計な喙を添へるべきものでなくどうにかして此滿鐵の使命を、及滿鐵社員をして安んじて本當の國家の爲に力を盡させやうとする爲には内外協力してやらなければならぬ、何の爲か滿鐵に對して兎角の喙を加へることがあるのは非常に遺憾なことであると思ひます
で此重大の時期に滿洲に於ける此事態の進運に順應するには、滿鐵をして自由に活躍さすことが非常に必要なことであると思ひます、拓務大臣は現地に居る者がもつと自由に活動が出來るやうにしたい國策の大體の諒解さへして居れば間違なく自由に活動が出來るやうに致したいものだ、斯ういふやうに言つて居られます、此通りだらうと思ひます、創立當時のやうに總かゝりで何等疑惑なく、大いに拓務大臣も援けて其首腦者をしてその經綸を行はせるやうにしなければならぬことゝ思ひます、滿鐵のこの目的に活躍することを阻害するやうなことは總てこれは避けなくてはならず滿鐵に對する從來の誤解を一掃することが非常に必要なことであります、これを前提と致しまして私は御尋ねしたいと思ひます

◇……◇

先月の十四日の本會議に於きまして大藏男が滿洲問題に對して非常に廣い範圍に於て質問せられました、それに對して拓務大臣及外務大臣から二三非常に明瞭なる御答辯がありまして、從來の疑惑を一掃しましたといふことは非常に

美しい情景
大連山縣通　K・Y生

◇十一日附の本欄に「亂暴ならずや」と題し警官の滿人に對する不當措置が出て居ましたが、これはその反對の事實です、滿洲國大典の日、即ち三月一日折柄內地から見えた御客樣を御案內して大連から旅順に向ふ途中の事です。
◇龍王塘を過ぎて二、三キロも來ましたが南行する滿人小學生の行列に追ひついた時、其列の後尾に從つて居た一警官が手を擧げて我々の自動車に停車を命じたものです。
◇我々――三人――は何か調査だらう位に思ふ間も無く運轉手は如才無く其警官の前に車を停めました。彼氏は物靜かな寧ろ宗教家らしい態度で我々に向ひ、「今日總統から學生を連れて龍王塘の祝賀式に參列した歸途ですが幼い子供が足を痛めて困つて居りますから出來るだけ乘せて戴けないでせうか」との事です。
◇勿論我々は快よく引受け助手臺に二人乘客席の床に五人つまり乘せるだけ乘せる事にしましたら警官はびつこを引いた子供を列から選び出し、いたはり乘せました。美しい情景です。善いお父さんが自分の子供達を心から氣づかふ樣な眞情が流露して居るのです。
◇而も警官は我々の提供したわづかの好意に感謝して双眼から涙を流してゐるのです。我々も何か知らず胸の奧からこみ上げるものを感じて三人共あらぬ方に眼をそらしてだまり込んでしまひました。
◇一些事といはないで下さい。滿人に接する總ての牧民官に此心懸けがあれば兩國の親善は萬代でせう。荒木前陸相に似た鬚の持主たる老警官の上に幸多かれとはだまり込んだ我々の心に一樣に湧き上つた祈心です。東京からの御客樣も此の上の無い立派なお土產が出來たと衷心からの喜悦です。

市況（十五日）

株式
地株保合
日產株續落

新東、日產軟弱を入れたが地場株保合、日產一圓安、新東保合に引けた

後場
◇定期（單位十錢）

銘柄		當限	先限
新豆	寄	—	二六六
	引	—	二六五
五品	寄	二八二	二八六
	中	—	二八六
	引	二八二	二八六

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	二八三	二八三	二八一	二八三
新豆	—	二六三	二六三	—
錢鈔	—	三五六	三五六	三五六
朝取新	—	[illegible]	[illegible]	—
氷新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
電々	一六五	一六六	一六五	一六六
大新	—	[illegible]	[illegible]	—
東新	[illegible]	一七四	一七四	一七四
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵二新	一六六	一六六	一六五	—

◇驥取引
土木企業八八

特產
大豆續落
賣物旺盛に

後場大豆は邦商及び南支筋賣に續落を辿り豆粕も相伴つて軟調を辿り豆油、高粱は人氣なく出來不申であつた

◇現物後場（銀建）

品目	寄付	大引
混保大豆（袋込）	三二四〇	三二三〇
大豆（裸物）出來高	百二十車	
普通大豆（袋込）	三〇八〇	三〇七〇
大豆（裸物）出來高	十車	
豆粕	一〇四五	一〇四五
出來高	七萬五千枚	
豆油	八〇〇	八〇〇
出來高	六千三百車	
高粱	（出來不申）	
包米	（出來不申）	

家庭

『石も肥料になる』面白い"石垣造り"

晝間の熱を夜になつて放散 輻射熱の作用

昔から「石は肥料にならぬ」と申します、ところがこの石が作物に對して

肥料 以上の作用をするのですから面白いではありませんか石ころの多い畑に棉の栽培が非常によい成績を擧げてゐるのを私たちは滿洲で眼の前に見てゐます、即ち棉は特に熱を要する植物ですが、石の多い畑では石が晝間太陽から受けた熱を貯へて夜これを放散する所謂輻射熱のために棉の發育が促進されるのです、この著しい例は今日有名な靜岡縣久能の苺の石垣造りです、石垣造りといひますが別に石垣に植ゑるのではありません

平地 に土を積みあげ南向に高さ約五尺の四十五度位の斜面を造り、三寸乃至五寸大の丸石を斜面上にギッシリ並べ、その隙間に肥料土を入れて苺を植付けるのです、かうしますと晝間太陽熱を吸收した石が夜間氣溫が低くなつた時輻射熱を發散し殆ど夜中苺に熱を與へるために苺の發育は非常に促進されて早く實を結び又熟することも早いのです、しかも普通の栽培よりもずつと色づきもよく下が石であるために少しもよごれることがありません、今當地の市場へ出てゐる苺も大抵この石垣造りによつたものですが

滿洲 でもこの方法を利用したら例年よりずつと早く地もの新鮮な苺が得られませう、但しこの方法は植付けるのに大分手數がかゝり相當技術を要しますし、植ゑた後も灌水などなかなか面倒ですから素人の家庭園藝としては一寸困難かも知れません、しかし皆さんが普通平地で苺を栽培される時にもこの石の副射熱を利用して苺の株と株との間に石ころを並べて置かれたらよほど發育を促進することゝ思ひます、久能地方では苺だけでなくトマト其他種々のものにこの石垣造りを應用して好成績を收めてゐるさうです(大連農事株式會社鈴木譲氏談)

家庭手帖

靴墨で艶出し

赤い靴墨は家具類を磨くのに理想的なものです、但し上等のものが宜しい。上物か下物かを見分ける法は靴墨を人さしゆびと親ゆびとで擦り合せて見るのです。よい物はすべつこくてこすつてゐるうちに消えてしまひます。この靴墨を布につけて、机なり本箱なりの家具類を磨くと見事な艶を出すことが出來るのです。これはどんな家具屋でも必ず使用してゐます。但し桐、桑等の材で造つたものには不適です。

美しい黒髪の洗髪方法

拔け毛や若禿防ぎ

艶々と美しい黒髪は女性だけでなくあらゆる日本の男性方にも欲しいものです、ところが男性はおろか、お化粧にはずゐ分お凝りになる婦人方も髪のお手入れに就ては案外無關心な方が多いのです、恐ろしい拔け毛や若禿の第一の原因は

洗髪 の不充分なことと、若くは洗髪の方法の悪いことです。美しい黒髪を保ちたい御婦人や殿方のために御家庭で簡單に出來てしかも美髪を保つに一番有效なオイルシャンプーの仕方を御傳へしませう、先づオリーヴ油大匙三杯に對しヒマシ油同一杯の割合で混ぜ、これを薄鍋に入れてトロ火にかけ、指をつけて見て少し熱い目にあたゝめ別に洗面器に熱い湯を用意します、最初に熱い絞りタオルで頭を包んでよく蒸します。次に前の油を脱脂綿に少しふくませ髪を五分置き位に分けて頭の地によく擦り込むのです

順序 は額の生え際のところから頭のてつぺんへ、兩耳のところから上の方へ、頸筋のところから上の方へといふやうに腦天へ向つて強く擦り込むのです。全部すみましたら、もう一度熱いしぼりタオルで頭を充分蒸します。この方法は洗髪をする前夜か若くとも五、六時間前になすつて頭の地にすつかり油をしみこませて置くことが大切です。次に洗髪です、良質のシャムプーパウダーをコーヒー茶碗一杯位の微溫湯に濃目にとかしてよく泡立てゝ置きます。先づお髪を

微溫 湯でザッとしめしてからシャムプー液を少しづゝ振かけながら頭の地を指先でマッサーヂします。毛先の方は毛と毛をひどく擦り合せますと毛質を傷めますから、兩手の指を前後左右から櫛のやうに使つて毛を何度も梳くのです。斯うしますとよごれや脂肪がすつかりシャムプー液に溶解しますから、その後を何回も微溫湯で濯いでシャムプー液をすつかり洗ひ落します、洗髪が終つたら熱い湯でタオルを固く絞つたので水氣を拭きとります。皆さんのなさるやうに乾いたタオルで拭くより

熱い 絞りタオルで五、六回拭いた方が早く水氣がとれるのです。よく乾いたらベーラムかレモンの化粧水を頭の地に振りかけ兩手の指で頭の地を充分マッサーヂします。生え際は上の方へつみ上げるやうに輕く叩けばよいのです。次にオリーヴブリアンか良質の椿油の少量を頭の地に擦り込みます。水油のきらひな方は良質のコールドクリームでもよいのです。この洗髪法を十日に一度か、せめて二週間に一度づゝ繼續なさいますと毛根が強くなりふけもとれ、見違へるやうにつやつやと美しいしなやかなおぐしになります(山本鈴子氏談)

家庭顧問

離乳をしたが食物をたべぬ

【問】生後一年と一ケ月の男兒です、一年目から離乳の準備としてオヂヤやら野菜の煮付などを與へてゐますが、小皿に一杯位しか頂かうとしません、その間に牛乳を二回一合宛與へてゐますが、はかばかしくふとらないのです、どんな風にしたら喜んで御飯を頂くやうになるでせうか、又夜中にお乳を欲しがりますが與へてよいでせうか、其他何か榮養になる藥餌でもありましたらどうぞ御教へ下さい(奉天いち子)

母乳を全く與へない様になさい

【答】離乳をして他の食物にしたが食べ方が少くて肥えないといふ訴へは再々きくことです。その原因を調べて見ますと多くの場合小兒に病的な原因があるのでなくてお母さんが完全に離乳しないで夜間或ひは晝間食餌と食餌との間に母乳を與へるために胃の休まる間がなくて消化機能が不充分となり食慾不振に陷つてゐるのを屢々見受けるのです、貴女のお子樣もそんな事情にあるのではありませんか、若し以上の樣な事情があれば母乳を全く與へないやうになさい食物はオジヤ、卵黄、野菜の煮付牛乳などで結構です。榮養劑として肝油、肉汁(ヒボサルシロイ)等もありますが一年一ケ月位では胃腸を害する恐れがあります、消化を助けるために酵素[illegible]ヂアスターゼ、ビオフェルミン、ワカモト等を與へるのは差支へありません(池田嘉一郎)

わが夫を語る (十)

俗拔けせぬ俳人

大連汽船旅客係 高山謹一さん

大連汽船旅客係主任といふより俳人岐峰でよりよく知られてゐる高山謹一氏です。臥龍臺のお宅は須麻子夫人と、神明高女の一年に在學中の一粒種の愛嬢久子さんと、それに女中さんを加へて一家四人の靜けさです。

◇

俳句をなさるやうな方は大抵は一寸人間ばなれのしたものですが、高山なんか大違ひ――隨分バタ臭いところもあれば私以上に細いことにまで氣のつく性なんですよ、さう申しますと「小さい事でも俗事でも何でも知りつくしてゐなくてはいゝ俳句は出來ないんだ」なんて本人濟ましてゐますけれど隨分俗拔けのしない俳人だと思ひますわ、最もそれだけに家の事や久子のことなどにもよく氣をつけてくれますので、おかげで袴を脱いだばかりの全くネンネの花嫁さんもどうやら無事に今日までやつて來られたのだらうと思つてをります、その代り先には隨分ゴチャゴチャとつまらないことで言爭つたりも致しました。

◇

御酒は永年海外生活をしてゐたせゐで以前はよく洋酒を頂いてゐましたが何時からか日本酒に變りました。それも最初はコップ酒でしたが、この頃は全く本格的にチビリチビリやるのです晩酌がなくては濟まぬといふのではありませんが、一本位頂くと沖も陽氣になりますので私から勸めるやうにしてゐるわけです、晩酌をしないと直ぐ書齋へ入つて何か書きものをはじめちまひますから、子供一人の家の中ぢあ晩くらゐやつぱり一緒に陽氣に遊んで貰ひたいですわ、遊びつて?ダイヤモンドゲームだの、トランプだの、時にはレコードをかけて東京音頭なんか踊ることもあります。この間から將棋をはじめました、高山が先生で私と久子が生徒なんですけれど、なかなか親切によく教へてくれますけれど、二人を上手にして自分で娯しまうつて肚なんですからずるいんです。だつて先年上海でも一生懸命に私にテニスを教へるものですから隨分親切な旦那樣だと內心感謝してましたら「相手が無いから壁よりは増しだらう!」つて隨分馬鹿にしてますわ。

◇

趣味は俳句は別として寫眞、旅行音樂、スポーツ、映畫、何でも好きですが社交ダンスだけはどうも性に合はないらしいんです。海外生活は隨分永いんですけれど踊りでも歌でも、いゝのからお料理までも日本趣味なんです。十八番はハンカチーフ一枚でお人形を拵へて義太夫を語りながら指先で踊らせるんです。最初は「五十年後の太平洋」を書いた三好さんの隱し藝だつたんですが何時か高山がお株を奪つちまつて、中でも「彦九郎」は隨分自慢なんです。指先だけで泣かせたり、笑はせたり、素人藝には先づ相當なものですわ

◇

「以前は隨分やかましやの旦那樣でよく雷が落ちたりしましたけれど年のせゐか近年は大分扱ひよくなりました。御せるかつて?さあ御したり、御されたり……まあ縁あつて夫婦になつたんですから多少は趣味や性格が違つてもお互に歩みよつて行かなくちやあれ」何と物わかりのよい奥樣。で夫君の近作として左の二句を下さいました。

雛祭

病める子の友なく祭る雛かな

滿洲國皇帝の登極を祝し奉る

天地の輝かに春の雪晴れし

(寫眞は高山氏)

日本棋院秋季大手合戰譜(第十四局)

先 三段 染谷一雄
初段 藤澤庫之助

—【11】—

●二〇一チ十二 ○二〇二カ十二
●二〇三ワ十一 ○二〇四ヌ十三
●二〇五ヌ十一 ○二〇六ワ十五
●二〇七テ十六 ○二〇八チ十五
●二〇九ホ十三 ○二一〇ホ七
●二一一ヘ八 ○二一二ル十九
●二一三テ十八 ○二一四チ五
●二一五チ四 ○二一六イ十二
●二一七イ十七 ○二一八イ十八
●二一九イ十六 ○二二〇ツ九
○二二〇ツグ ●二二一劫トル ○二二四同 ●二二七同 ○二三〇同 ●二三三同 ○二三六同 ●二三九同 ○二四二同 ●二四五同 [illegible]

所要時間累計(白 六時間五十九分 黒 六時間二十八分)(制限時間各七時間)

戰の跡

◇白二百六、二百八を想定するとき白二百二に對し黒が二百三とツイでおいた意味も明らかであらう

◇黒二百九とトツてこゝに四目の地(ホ十二)と(ホ十四)をも加へて)が出來た、二百九とトラずに白から(ホ十二)にトルことになると次いで黒二百九白百五十三にツギ、で黒地一目、しかもこれは白が一目トツてゐる譜の二百九自身の大きさは斯くして自然に計算される譯である

大連 JQAK 三月十六日

▲午後五時三十分 簡易速記術講座(七)大連速記研究會生稲寅松
▲午後六時 ニュース、職業紹介事項
▲午後六時三十分 講演(名古屋より)幕末に於ける對外思想の發達と渡邊華山、海軍大佐有馬成甫
▲午後七時 物眞似はなし家のこわいろ鈴々舎馬風
▲午後七時十五分 小唄一、いろけないとて二、こひをしようより三、こゝへ黄菊四、ござれやござれ六、青すだれ、唄鶴田はな、三味線吉村ゆう
▲午後七時三十分 ラヂオレヴュー、シャボー・ブランタン作並演出青山杉作(配役)解説者(熱海芳枝)シュザンヌ(西條エリ子)アンリイ(青葉照子)ボパティ「叔父さん」(富士峰子)ボール(水の江瀧子)エミール(オリエ津阪)ジョゼフィーヌ「お嬢さん」(石山都)ベラ(江戸川蘭子)コルソン(春野八重子)クララ「およめさん」(吉川秀子)ミルモン伯爵夫人(小倉みれ子)ジャン(草香田鶴子)デュワル侯爵(三田絹代)其他出演松竹少女歌劇團、作曲紙恭輔、作詞安東英男、合唱指揮安井義三、K合唱團、合唱S・S・伴奏松竹少女歌劇管絃樂團
▲午後八時三十分 時報(東京)ニュース、氣象通報
▲滿洲歌舞劇 (一)胡蝶姑娘(二)空中音樂(三)小鸚哥(四)新年之樂(大同女子技藝學校生徒)荷芙蓉、于惠芝、徐蘭芳、李桂英、盧振英、方玉英(解說)中溝新一

本社特選 新棋戰(其五)

香落 六段△山北孫三郎
四段▲志澤春吉

【圖は五一銀迄の局面】 山北氏持駒歩 志澤氏持駒歩四

△九三角成 ▲七八と
△同 龍 ▲九八歩成
△七七桂 ▲八六飛
△七五馬 ▲八八と
△八六馬 ▲七八と
△七二飛 ▲六二歩

累計七十二手

土居八段講評 志澤君の七八と、は手順にその成歩を活用しようとする意味であらうが、敵に同龍と、勝つて兜の緒を締める如き手段に出られては愈々指し切り模樣となる故拙策、些か無筋の嫌ひはあるが九八と、と指して飛車の侵入を圖る處である、續いて八六飛は、姑息な手段、ここ茲に至つては勝敗は兎に角八八と、と指して飛車を交換する方が優る、譜の如く指し敵馬を手順に要所へ移させたのは失策である。

萩原七段解説 志澤氏の七八と、は次に八九飛成を圖つたものであるが、敵に同龍と自重されて仕舞つては、以下の攻撃力に不足を生じて面白くなかつた、尤も九八と、の手もあるが、これでは八六歩、同飛、七五馬、八九飛成、七四馬で反つて苦戰になるから此の方が優れてゐるのである、山北氏の七七桂は、廢物利用の樣であり、而もこれでゐて敵の八九飛成の先を避けた妙手なのである、志澤氏の八六飛は、八八と、では八五桂、七八と、七二飛で折角の七八と、を取られると見て斯くは敵に七五馬と引かして非常な損になつた、此の處は、八八飛成と指すのが順である、山北氏の七五馬は、當然の指手で、攻防によく働いて充分なる形勢を作つた、此處に至つて志澤氏の八六飛の決着の大きかつた事が肯けるのである

凡てに新機軸の 二道河子工事

貯水池も非常時の分散配置

旅順支局 中井新太郎記

築造以前の全景

新設の旅大自動車幹線道路

給水

水量

景勝地

更に此新道に依つて僅かに双臺溝附近の海岸より眺望が出來なかつた旅大北道は此地點に來ると有名なる「鶯城富士」を遙かに望見し得られる「北海」海岸が眼に入る――これは確に海岸線にもない絶景である

土堰堤と聚水暗渠

…し得られるといふ全く劃期的式の施工方法である、本工事を實施せらるに當つては總帥水の神様清水土木課長を始め主任中村技手、牧島本廳庶務その他の協力一致により工事豫定より早く總てが進捗しつゝあることは誠に慶賀に堪へないと共に着々その貴重なる記錄が殘されつゝあることも祝福に堪へ…日内地の某專門家が現場を見て「本工事は尠くとも五ケ年の日子を要する事業だ」と述べられたるに徴しても如何に本工事の意義深きことが伺はれようこれ「天の時」「地の利」「人の和」を如實に物語るものである

餘暇 過般一日の餘暇を利用し清水土木課長、島本廳庶務主任は在旅記者團一行と共に餘暇の一日を利用し親しく現場の視察を遂げたのであるが、現場監督の中村技手の説明に依ると本工事着手に先ち眞の降水量を調査研究した結果、川床の施工期を約半ケ年…

チチハルの電話 交換機切替

近代都市の鼓動開始

【チチハル】カーキ色の歡樂曲に更けた陸軍記念日の深更からチチハル市「緊」の大動脈は近代都市としての鼓動を開始した――チチハル電報電話局にては既報の通り自働電話の竣工を見るに至つたので十一日午前零時を期して新聞通信記者、工事關係者等立會の下にスイッチの切替を行つたが、定刻に先立ち電燈まばゆき新局舎三階交換室に中田技術部長、八島規畫課長をはじめ同社首腦部が緊張の色を面に浮べて待機し從業員が配置につくや箭を合圖に電光石火、神技の如き早業にスイッチは切替へられて茲に記念すべき瞬間は過ぎ舊式電話交換機は躍進途上のチチハル市の歴史と秘密を胸に秘めて悲しくも永遠の眠りについた、午前零時スイッチの切替と同時に記者は初通話としてこの輝かしき自働電話架設の殊勳者たるチチハル電報電話局庶務主任大塚憲一氏社宅に通じ滿日支局として祝意を表すればドットあがる歡聲は一千の加入者と十萬市民の歡喜そのものゝ如くであつた、なほ同局にては山内總裁の名により十一日正午より龍江飯店に日滿官民有志並に新聞通信關係者を招じ開通式を擧行すると共に式後祝賀宴を開催し盛宴裡に同一時半終了したが、席上發表された工事概要は次の如くである

▲工事費 金三十三萬圓
▲交換機 自働交換機十二臺、市外大交換機二臺
▲電力裝置 發動機直結一二KW充電用發電機一臺、一二KW充電用電動發電機一臺、七二五AH蓄電池五〇V二組
▲外線 地下管路新設、一一二八米地下ケーブル布設、八百對七二〇米、四百對五四五米

幸田部隊凱旋

掃匪行へ十七日に

…し海城經由十七日鞍山に凱旋の豫定である

春見隊長招宴

【鞍山】春見大隊長は十四日午後…時より在鞍記者團員一同を一樂に招宴したが、春見隊長より事變來における新聞社員の活動と軍への後援を謝し野尻鞍日社長…の勳功を深謝してこれに答へ、客大いにメートルを上げ歡を盡して九時頃散會した

戰歿勇士の墓標

鞍山の建設計畫具體化

…本溪湖、蘇家屯地方では…されてこれ等故○○隊戰歿勇士の勳を永久に記念するため各勇士戰歿の現地に適當なる墓標を建立すべく計畫中であつたが、十四日鞍山では地方事務所において昭和製鋼所以下各法人、團體代表者よりなる墓標建設委員會を開催協議し…愈々實行することに決定、法人並に一般官民より淨財約四千圓を醵出して墓標一基當り約八十圓見當を以つて守備隊と連絡夫々戰歿現地に故勇士の小碑を建つることゝした

葫蘆島に檢潮塔

伊賀組の手で漸く完成

【錦州】熱河産業の開發と共に將來を約束されてゐる葫蘆島に、陸軍參謀本部陸地測量班では工費一萬二千圓を投じ潮の干滿を調査する檢潮塔を建設すべく島大尉監督、伊賀組請負で鋭意工事中であつたがこの十日漸く工事を完了し直に試驗を開始した右檢潮塔は自記式で滿人一名を事務員として監視および檢潮事務に當り、自記用紙は十日毎に取纏め參謀本部および同陸地測量部に送附することになつてゐるが、同港は干滿の差今のところ最大四米三十であると、右につき伊賀組では語る

同地は海底が悉く岩石であり、ソレに工事期間が冬の最中であつた爲め海も荒れ波浪も高く非常に苦心した、工事中激浪のため折角積み上げた石を滅茶苦茶に浚はれた事もあつた、だが愁うして竣工して見れば今後この港を完成さす上に於てもまた船舶の出入に際しても非常に役立つ事でせう

小凌河に 築堤工事

【錦州】春暖いよ〳〵加はつて土建シーズンに入るも遠からずと思はせる昨今、錦縣公署では工費十五萬圓を投じて城西小凌河に一大築堤を施すべく計畫を樹て目下諸般の準備を急いでゐる

小凌河は遠く熱河省に源を發し錦州城の西南に流れ渤海に注ぐ巨流で毎年八、九月の雨期に入れば著しく水嵩を増し濁水滔々と汎濫して附近の家屋に押し寄せ甚大な損害を與へるのみか時には城内に流入し浸水家屋を出すなど珍らしくなかつたので此の水禍の慘を防止すべく大掛りな堤防を築かうと云ふのである併し貧弱な縣財政として十五萬と云ふ金は相當巨額な經費なので或程度まで政府の補助を仰ぐ模様であるが完成の曉は錦州の發展に多大の貢献を齎すであらう

神社御造營委員會

【金州】金州神社造營委員會では十四日午後一時より民政署にて總委員會を開き神社御紋章を制定し諸祭式日を左の如く決定した

四月十日 新始式、立椎祭、上棟祭
五月二十三日 淨祓式、新殿祭、遷座祭
五月廿四日 奉祝祭、大祭前夜祭
五月二十五日 春季大祭
五月二十六日 南山招魂祭

永松警部補

【奉天】奉天署警務係警部補永松増朗氏は今回奉天署から只一人選ばれて東京警察官講習所に入所することゝなつたが近く離奉東上する由でその後任には永田警部補が任命された

西尾參謀長

【鐵嶺】新任關東軍參謀長西尾壽造氏は十四日午後四時當地通過特急列車で赴京したるが氏は嘗て鐵嶺に聯隊長として二ケ年在任したることあり、馴染の地とて面識者も相當にあり驛頭には日滿官民多數出迎へ氏の榮進を心から祝福迎送した

實業協會館身賣

【鞍山】市街發展の犠牲として賣物に出された市内北三條町鞍山實業協會館はこの程公入札に附された結果、入札者八名中最高三千十五圓を以て鞍山乘馬倶樂部がこれを購入した、而して該敷地は北三條敷島町の十字路に當る商店街の中心地であるところから、右協會館の建物も可及的速かに取崩して店舗の新築を誘致せねばならぬ關係上、同倶樂部では解氷期を待つて直に解體、倶樂部事務所其他として利用すべく新設の鐵西柳町西方競馬場に移轉建築することゝし着々準備中である

なほ敷地の借地權は本年九月まで實業協會の手にあるも協會館賣却に際し借地權は九月の期限滿了と同時に地方事務所に返還することに約束されたので果して何人が會堂移轉跡の敷地を入手して如何なる建物を設くるか地所も地所だし會堂立退きの主旨が主旨だけ早くも地方事務所の宅地貸付に非常な注目が向けられてゐる

各地片々

◇鐵嶺 今十五日から發賣される滿洲國細民彩票は當地に於ても松花ホテルが代賣店として一手に市中へ發賣すると

◇鐵嶺 原隊に凱旋の鐵道第一聯隊長成澤大佐は十三日發特急で日滿官民多數の見送りを受けて離鐵赴任した

◇鐵嶺 鞍山署長に榮轉の長山警視は離鐵に際し在鐵中の記念として鐵嶺神社、小學校兒童保護者會、龍首山景勝維持會に金一封宛を、小學校に砂金見本一瓶を寄附した

◇錦州 錦州大馬路三丁目西村英策氏(四二)の内縁の妻フジ子(三七)さん=何れも假名=は二月二十三日所用のため撫順三條通り山本伊六方に赴いたが、その儘今日に至るも歸らぬので、夫君が不審を抱き山本方に問ひ合した處フジ子さんは山本方に到らず逃走したこと判明、十三日警察へ捜査方を願ひ出た

◇奉天 原籍東京生れ幸山秀春(三〇)は民會無料宿泊所に於いて宿泊所事務員李某と喧嘩を始め李某の妻女李淑子(二六)に熱湯をぶつかけ全治三週間を要する火傷を負はせたので領警に留置目下取調べ中である

◇鐵嶺 多數の兒童父兄學校職員達が胸躍らせて發表の日を待ちつゝある今年の中等學校入學成績は、昨今連日のやうに發表され其度毎に鐵嶺小學校には明らかな凱歌が揚つてゐるが當小學校今年の成績は殊によく女兒の如きは百パーセントの合格率である、十四日までに入學確定の兒童氏名は

▲奉天高女(六名) 笹尾泰子、三森千枝、吉崎清子、野田宮子、小林晴子、篠原菊枝
▲安東高女(一名) 中山末子
▲旅順高女(四名) 江見博子、久永英子、長山良子、松岡敏子
▲奉天女子商業(四名) 宇野保子、青木光子、末吉和子、田中玲子
▲奉天中學(五名) 田之上敏行、吉田武一、小橋幹一、平田秀敏、酒田隆一
▲安東中學(一名) 富村亨
▲大連中學(一名) 仲野市郎
▲旅順中學(一名) 大澤三郎
▲新京中學(一名) 藥若政治
▲新京商業(五名) 成清保良、尾上嶺喜、中村百合雄、福田弘人、篠崎政義
▲撫順工業實習所(一名) 上田和夫

◇鐵嶺 新任鐵嶺警察署長土屋於菟熊氏は十六日着任豫定のところ都合により明十七日朝八時九分着列車にて來任すると

◇鐵嶺 縣下第八區荘家岡子(當地西方四十支里)孫魁家方に十三日長擧銃を携へたる八人組匪賊襲來し孫奎山外一名に重傷を負はせ一名を射殺し更に隣村石家岡子に移動して雜貨商張某方を襲ひ馬四頭布四十疋國幣二十餘元を强奪法庫方面に逃走したが八區警察署は全力を擧げ法庫縣と聯絡して犯人嚴探中である

◇鞍山 新京大使館警務部監察官に榮轉の前鞍山署長泉文三氏は十四日午後一時三十六分發はとにて春見大隊長、富永昭和製鋼常務、森地方事務所長其他日滿有志並に署員一同三百餘名の盛大なる見送を受け家族同伴赴任の途についた當鐵嶺署長より來任の後任署長長沼猪重氏は同三時五十六分着南行ハトにて着任春見大隊長以下の盛大なる出迎を受け驛貴賓室において出迎人一同の挨拶を受けた

◇鞍山 柳町美都の御雛―原籍熊本縣球磨郡上原町生れ料亭笑福酌婦バス子事川内ウエノ(二三)は昨年九月來鞍、酌婦稼業出願に際し親兄弟に知らるゝのを厭ひ市内南三條町同縣人○住吁虎夫と相談の上、虎夫の妹ムツノと年配容貌が似てゐるを幸ひムツノの戸籍謄本を以つて酌婦許可を得、官を欺罔して稼業中のこと判明兩名とも科料五圓

▲原籍平北道新義州當時市内敷島町二丁目京城洋服店崔某の内縁妻許南又(三五)は一月末頃新義州初音町妻適元女給高上任(一九)の前借金三百七十圓を立替支拂ひ當地柳町富士乃家に三年半の年期仕替へさせ稼高六分の收入の内五分を收得しゐたること發覺同上又昨年十月以來鞍山醫院に命令入院中二月二十二日遼陽に行くと稱して病院を出た儘行方を晦ましてゐた料亭明月樓酌婦廣子事辻イチエ(二五)は樓主及病院當局の捜査を他所に原籍地たる德島市に歸省してゐたること判明、十四日實兄に伴はれ鞍山に舞ひ戻つたが前回も無斷外泊して騒がしたることあり、科料位では藥が効かぬとあつて之は拘留三日間のお灸を据ゑられた

◇錦州 錦西縣高橋附近には約二百天地からの荒蕪地があり從來少しも顧みられなかつたが今回地主郭世聲氏の希望と鮮人鄭座敎氏の斡旋によりこれを開墾して水田とすべく既に鮮内地から十一名の移住を見た、なほ近く五十餘名の鮮農が移住して來る豫定であるが民族協和の現はれとしてその成功を期待されてゐる

◇金州 鄕軍旅順支部副長重砲兵大隊附吉田砲兵少佐は管内各分會の情況視察のため十三日來金、民政署に於て正副分會長並に理事等と種々事務上、事業關係等の意見交換を行ひ當地に一泊の上貔子窩に向つた

◇鳳凰城 城田上警察署長は嚴父病氣の電報に接し十四日朝新義州發飛行機で郷里岡山に向け出發した

◇蘇家屯 滿鐵消費組合では今夏のトマト栽培希望者に對し苗の分配をなすべく目下希望者を募集中であるが苗は一本五錢と二錢の二種類で來る二十五日を以て申込を締切り四月下旬配布すると

◇奉天 社會係後援の下に向坊盛一郎氏、伊藤善吉氏、安藤基平氏の賛助の下に十六日より三日間萩町クラブにて河合篤叙氏の「惡癖吃音矯正健康増進講演會」が行はれるが會費は三日間を通じて一圓五十錢であると

職がよしあつても辛抱をしない
ルンペン増加の裏面

【奉天】内地における不景氣のドン底に喘ぐルンペンは、滿洲熱に浮かれて何の的もなく着のみ着のまゝで郷里を飛び出す無鐵砲極まる邦人が近頃非常に殖えて來たが彼等の中には就職は出來ず結局食ふに困つて警察に泣きつくといふ悲境に陷るものが多く次から次へと押しかけ「何とかして下さい寢る處もありません食ふものもありません」といふ命に代る救濟方を願出てゐるのには當局でも手を燒いてゐるが、一係員は語る

滿洲國の現狀もこれまで色々紹介されてゐるので郷里を引揚げて滿洲に來ようといふ内地人は少くとも滿洲はどんな處であるか位は知つてゐる筈である、これを知りながらやつて來るルンペンもどつちにしても性質は好い方ではない、そして來滿して就職の道がないから行商でもしてこの苦難を突破しようといふ決心で働いてゐるものもあるがこれも最初のカラ決心で二ケ月三ケ月長くつゞいて五ケ月位でやめて仕舞ふ、又商店や會社に折角雇はれるやうになつても最初は一生懸命働いてゐるがこれも一時的で直ぐやめて仕舞ふ、その原因を調べて見ると最初から日給二圓三圓又は月給六十圓八十圓を夢見て若しこれが得られなかつたら「何だ馬鹿々々しいこんなに苦勞して働かなくても何かして行ける」といふ横着な心を生じ仕事も中途で挫折しやめるといふ有樣で又雇主の方にしても高い給料を要求して使ひにくい邦人などは雇入れを拒む傾向があるので鐵のやうな固い決心のない限り結局はどこに行つてもつまらぬと云つた狀態でかうした救濟機關に泣きつくやうになつて來る、かうしたルンペンが近頃餘程殖えた事は實に苦々しい限りである

チチハルの陸軍記念日

【チチハル】軍國の春三月十日、陸軍記念日を迎へて軍都チチハルはカーキ色の三重奏に朝來歡喜のメロデーが高らかに奏せられ、軍馬の嘶き、軍用機の爆音、そして嚠喨たる進軍ラッパの音に佳き日の幕は朗かにあけられた、北滿征戰二春秋、武勳を戰塵に物語る幾多の戎衣が城門より龍江飯店前に到る約二キロの街道に堵列を終るや、午前十時畑中將は飯野參謀長以下幕僚を隨へ、馬上豐に各部隊を順次閱兵し、同十一時憲兵隊前に於ける分列式に移つたが、各部隊長指揮の下に一糸亂れざる步武堂々たる行進は宛然一幅の繪卷物の如く、壯觀といはむか勇壯と稱すべきか、沿道に黑山を築く觀衆は思はず歡聲を發し、軍國に生れたるもの、みが味ふべき光榮を感じ、武運長久を祈るもの、如くであつた、斯くて分列式を終るや、畑中將は在齊日滿官民有志を龍江飯店に招じ、正午より祝賀宴を開催したが、食卓に配された觴に勝栗の菓は一入戰勝の感を深からしめ、乾杯に次ぐに乾杯の美しき軍民和樂風景を描いて同一時閉宴、直に騎兵部隊にては劍道大會が開催されたが、民間よりも參加者ありて竹刀の音勇ましく輸贏を爭ひ記念日にふさはしい催しであつた

總局の警務機構 軍隊式採用
實施される改革内容

【奉天】四月一日の鐵路總局職制改革による鐵路警務機構には相當な改革が行はれる筈で警務員關係は十四の階級に區分し、命令服從關係は全く軍隊式を採り服裝に於ても一のユニフォームに階級を表示する樣にするもので第一級を總局長に以下路警に至るものである が總局警務處と各路局警務處は他の一般事務關係と獨立に警務處の直線的關係に置かれる筈でこの新しい警務機構によつて國線警備と其の愛護村建設育成に守備隊等との連絡も緊密化され職能の迅速な發揮が期さるゝ筈である、尚總局警務處は第一科第二科に分れて居たが第一科を警務科に第二科を防務科に改稱し左の如く各係を置くものと見られ外て居るがこれは各路局の警務處にも敷衍され處の外に鐵路辨事處ハルビンの改稱さるゝ水運局其他主要地點には警務段が置かれ小地區には其の分駐所が各現行のものに從つて設けられる筈である

卽ち警務處各科には警務科内に警務、行政、司法、訓練、規劃防務科内に庶務、計畫、施設、渉外、情報、宣傳、各係が設けられる筈である

自動車路線の沿線住民慰安

【奉天】鐵路總局では自動車路線の沿線住民慰安を行ひ路線愛護精神の喚起を計るべくその第一着手として來る四月四日より約一週間の豫定で安城自動車線に慰安自動車を運轉することゝなつた、之には主として映畫蓄音機等の慰安具を用ふるもので治安の確保もいよ／＼確保された曉には日用品の販賣をも行ふ意向でゆく／＼總局自動車全線に慰安自動車の運轉が行はれる筈である

新しい戀を求め人妻の心中
新興羅津の桃色風景

【羅津】昨秋來新興羅津で醜聞をダンサーと讓へ噂され、某土地成金の如きは一萬圓三ケ年間の條件附で共同生活を申込んだといふ女給文子を繞る戀の三角關係は早春の陽に解ける淡雪のそれの如く遂に羅津三原山で青年豐島と抱合心中を爲し文子の死體は最初の彼氏の手元に還つた、本籍埼玉縣兒玉郡内庄村大字明土前住所東京市荏原區中延町一二九女給中澤文子(二二)は在京中知合となつた福岡縣人大工職矢田正＝假名＝と昨秋九月東京を出發し十月三日羅津に落付いたが矢田正は羅津綠町一丁目同職石崎喜作＝假名＝方に同居し文子は羅津本町某一流カフエーに女給として住み込みその後も二人は人目を忍び二世を契る仲で居たが文子は夜毎に通ふ客の中本籍香川縣高松市現住所羅津滝町某石炭商店員豐島新之(二)と最近身も心も相許す猛烈な仲となり矢田、文子、豐島と戀の三角關係が鼎立した

夜毎に離れ行く文子の心を取り戾さんと焦る矢田は偶々同居人石崎喜作＝假名＝がささやかなおでんやを三月一日開業するを奇貨とし文子を石崎方に呼び戾したが十日午前七時頃矢田の懷を離れこつそり家出した文子は其の足で滝町の愛人豐島新之の閨に飛込んだ

同夜九時頃文子は豐島の同居人朝鮮人某に對し石崎の方から自分を搜しに來たらこれを渡して呉れと遺書樣のものを渡して二人は其の儘平裝の儘で同十一時頃羅津の東町と滝町の中間に當る三原山の中腹を死場所と選び豐島が持つたモーゼル六連發の拳銃で初め文子の心臟部に二發打ち込み其の儘自己の胸部に銃口を向け二發發射した二人とも絕命した

文子の家出を知つた矢田正＝假名＝に石崎＝假名＝の搜査員は十日夜九時頃豐島新之方に到るところ文子から石崎宛の遺書を渡されたので開披すると文子の直筆で「小母樣小父樣長らく御世話になりました、私は死んで行きます、左樣なら」と走書に三行簡單に書いてあるので八方搜査するも二人の行方は杳として判らず翌十一日午後三時頃三原山で心中して居るので通行中の朝鮮人が發見し死體は檢視の結果豐島新之は其の店主に文子は初めの愛人矢田正の下に引渡された

杉原部隊の殿り伊田部隊錦州着
驛頭に盛んな出迎へ

【錦州特電十四日發】杉原第〇〇團の殿りとなつた伊田第〇〇〇團長は神谷副官を從へ十四日午後三時三十六分着列車で新警備地錦州に到着した驛頭には秋山、黑岩、高木各部隊長及來錦中の西第〇〇團幕僚それに後藤副領事、宇井警察署長、濱口民會長、謝縣長その他官民多數の出迎へあり、驛貴賓室に入り挨拶を受けそれより乘馬で驛前廣場に堵列の各部隊を閱兵し〇團司令部に入つた、往訪の記者團に語る

突然命令を受け大急ぎで來たが當地は先輩の服部部隊や平田部隊が血を流した苦戰の場所だけに一層感慨無量である、然し部下各部隊長の多くは永い間の顏馴染であるし兵は質實剛健を誇る御承知の健兒である、安心して警備につくことの出來るのを心秘かに喜んでゐる次第である來たばかりで未だ事情もよく解らないから何分各位の御援助をお願する

杉原部隊長 凌源に入城

【凌源】八日午後三時熱河新警備に當る杉原〇團長は濱本參謀長以川副官等幕僚以下とともに日滿官民多數の出迎へを受けて到着簡單なる乾杯をなし凌源入城、沿道多數の出迎へ人に迎へられ勇ましく凌源ホテル假司令部に入つたなほ九日午前七時出發承德に向つた

日支親善
先づ學生の手で
工醫大生近く北支へ

【奉天】全滿興亞學徒聯盟旅順工大支部では北支事情視察を計畫し、醫大にも參加を希望して來たが今回の視察には駐屯軍隊に宿泊し各要人と面接をなし在滿日本青年の意を語り更に自由なる學生の立場よりして支那學生に呼びかけ日支親善のために努める筈であり、工大鈴木少佐を團長として工大七名、醫大四、五名參加の筈である

奉天商業入學者
十四日合格者を發表

【奉天】奉天商業學校では去る九十の兩日入學考査を行つたが左の如く男子五十五名女子五十五名が合格に決定し十四日發表された（受驗番號順）

▲男子　山田直人、志田圭一、伊藤一利、坂本繁雄、吉松伸、萩森正則、吉田誠一、宮下輝夫、山田正雄、貝島吉隆、平山正盛、友平公一、柴田節雄、荒木欽吾、戸田博、野崎勝憲、新原一夫、木下滿彥、大石忠雄、山田哲三、大植末夫、伊藤雅之、岩崎之雄、外山滿洲雄、宇田織光、武井四郎、田丸四郎、森博、篠原富夫、佐藤利、田村文雄、伊丹一郎、陶山登、村田純輔、石川勝、信江美男、久富大二郎、小賀信雄、兼重正義、阿部完、長崎正二、小島織男、中嶋琢哉、磯元藏男、井上昇、藤岡健二郎、吉留正雄、松尾勝義、長守幸義、下田耕蔵、金顯均、金恩國、朴休房、稻葉憲一、高根秀富

▲女子　白石眞子、大庭惠美子、大木戸やす、牧山ひさ、猪塚文子、青木光子、宇野保子、柏木かずゑ、上原廸子、佐藤愛、前川文代、瀧澤和子、山口淑子、高須賀澤子、久芳文子、田中玲子、武田德子、宮城節子、原園きよ子、寺内智惠子、今門清子、渡邊喜美子、末吉和子、中山繁子、長野喜美子、星野いん、坂本文子、大村愛子、諏訪初枝、增野すみよ、島本節子、田中良子、檜川敷枝、佐藤八重子、野平松枝、森幸、佐藤文子、瀬村登美江、後藤まつ、西村久江、古谷靜子、近藤信子、本田信子、藤井八重子、白川みき、長谷川鐵子、松下壽代、高地壽美、岡田乙女子、宮本綾子、片岡つる子、持永富士子、川井興、五十嵐あや、久保菊枝

奉天の花柳界

【奉天】不景氣知らずの花柳界方面の藝醉婦の揚高は？……二月中の調査によると附屬地料理店三十三軒そこに働いてゐる藝酌婦四百五十名一ケ月の揚高は花代、酒肴料合計で十一萬圓、前月の書入時に比較すると三萬圓減少してゐるがそれでも一軒最高揚高一萬三千圓に達してゐるのを見てもこの方面だけは相當儲うてゐるなほ前月の一人の最高揚高は一ケ月六百圓であつたが二月は柳町松鶴の喜久男の五百圓で僅か二十一で高級會社員も及ばぬ揚高には優給取をアツと云はせてゐる

奉天浪速通の派出所を建築

【奉天】現在浪速通派出所は之に入る石段が步道に出て通行人の邪魔となること夥しく且警備上にも非常に不便があるので既に他に立派な派出所を建設することに決定してゐたが土地の關係で遂に今日まで延期となつてゐた處その問題も愈解決したので今解氷期と共にこの工事に着手することになつた場所は浪速通郵便局西前、ピクトリヤ前三角地で經費四千圓のコンクリート二階建である、今夏までには同所にモダンな派出所として市民にお目見得する譯である

奉天市立醫院 產婆學校設立

【奉天】奉天市立醫院では從來產科設備不完全にして出產の際に種々衞生上缺く所が多いのでその改革第一着手として醫院内に產婆學校を設立する事となり六十名を募集三月十二日より開始したがこの爲に出產、育兒等に益するもの大なりとし大いに期待されてゐる

奉建會委員

【旅順】十二日旅順市役所にて開催された滿洲野宮奉建會評議員會で會長指名の下に委員任命の件は敷地に對しては石川清次郎、磯田信之助、村上信二の三氏が土木課に於て實地踏査の際立會する事となり、又奉建會を法人團體とすべきや否やに就ては中村廣喜、竹中延太郎、宅島猛雄、石井本一、岸田愛文の五氏が推薦され右委員は近く第一回打合會を開催する筈

開原院内在貨

開原各種棧に於ける三月上旬在貨高次の如し（單位石）

▲大豆八八、四〇〇▲高粱五〇、二〇〇▲包米一二、三六〇▲粟一三、六二〇▲稗一〇、七四〇▲精米一、五二〇▲雜穀七、九二〇、合計一八四、九四〇石

奉天地委會

【新京電】來る二十三日午後一時より地方事務所會議室に於いて地方委員會を開き本年度公費査定並に奉天に於ける地方委員聯合會の經過報告其他に關する協議をなす事となつた

旅順放送

▲我が陸海皇軍の滿洲に於ける活躍の狀況を彩管に揮はせ這般各地に展覽會を催し大いに人氣を博した陸軍省新聞班、海軍軍事普及部特派畫家野上大業氏は十四日旅順を出發歸國の途についたが氏は再び營口、新京、ハルピンを經由北鮮等を視察することゝなつた

▲旅順警察署管内の交通施設の改善及交通道德の普及等に資すべく豫て計畫されてゐた旅順交通安全協會は十四日午後一時より旅順警察署にて本廳から本田保安、清水土木兩課長その他市木警察署長始め關係者參集會則案その他協議の結果現案通り成立を見たが會長には伴民政署長、顧問には青木署長、米岡市長評議員には清水土木課長外十四名が擧げられ常任幹事として正岡保安主任が推され今後事務を處理することゝなつた

▲旅順衞戍病院にて療養中の傷病兵四氏は十四日午前九時三十五分發列車で官民多數の見送りを受けて内地還送の途についたが外に二名病狀の關係から自動車で赴連した

女の部屋（115）
林芙美子作　一木弴畫

誹謗　九

――馬鹿れ！

と彼の上衣からチヨッキにかけて金入れを探した。だが目的物はズボンの後の衣囊に入つてゐた。そしてその中にはまだ十圓近い金が入つてゐた。

土方は車の中に擔ぎ込まれるとそのまゝ鼾をかいて眠りこんだ。

麗子は彼のネクタイを取つて襯衣のボタンを外してやつたり、背中を撫でてさすつたりした。

眠つてゐるとばかり思つてゐた土方が、目を瞑つたまゝではあつたが、突然

――麗ちやん、君も飲んでるれ

と云つたので、麗子はびつくりして、默つてゐた。

――僕も飲んでるよ。人間なんて皆馬鹿だ、蛆蟲だ、氣狂ひだ。

彼は崩れた豆腐みたいに目を瞑つてクッションの上に寢こんだまゝ、兩手をのばして麗子を抱いた。

――それからおもむろに目を開いて、朦朧と彼女をみつめてゐたが、

――でもなあ、娘の子が酒を喰ひ醉つてる圖あ、あんまり美事ぢやないぜ。

――……

――麗ちやん、君あ、氣が弱くなつたなあ。そんな、世間が判つて來たんだなあ……

そして又後は物憂さうに首を外方に捻ぢむけて眠りこんだやうであつた。

麗子は彼の胸に面を落して、靜かにむせび泣いた。

彼女は甘えたかつた。甘い感傷がこみあげて來る。甘えても貰ひ度かつた。

さうすれば、誰が何といはうと蜜にされた程も痛痒を感じる事ではない。

何でもいひ度い奴はいふがいゝさ。

――明さん、今夜……泊めてれ

土方は覺束ない足どりながら、それでも精一杯の意志力をこめてゐると見えて、案外速く逃げるやうに步いて行つた。

麗子は漸く追ひついて、息切れの間から苦しさうに

――どうなすつたのよ、明さんどうなすつたの？

と彼の前に廻つて兩手で彼の肩を後へ押し戾すやうにして立ち塞つた。

數寄屋橋際の交番の巡査が不審さうに見てゐるので、麗子は餘計苛立つた。

――しつかりして頂戴よ、一體何だつてお酒なんかのんだのよ？

土方は煩さゝうに女の手を拂ひのけて、又糸の切れた凧のやうにふらふらと有樂町驛の方へ步きはじめた。

自動車が間斷なく飛んで來ては消えて行き、止つては駈け出すので、前後不覺の醉漢には其處の交叉點が危さうにもなかつた。

――危いわ、こんなで獨りで歸れるのか知ら……明さん、あんた獨りで歸れるの？

先刻一時あんなにぴんとしてゐた土方は再ぶ醉ひに戾つたらしく醉蛸のやうにぶらんぶらんし始めてゐた。

――仕樣がないわねえ。

二人の前には既に二三臺の空車が止つて、「行きませう、何方です？」と口々に勸誘してゐた。

麗子は慌てゝ駈け出して來たので勿論財布なんか持つてゐなかつた。

――明さん、あんたまだお錢あるの？

――お錢？　何だい？

――チッ！

と彼女は舌打して

獸醫學から人間を見る　處女はナゼ貴とい？

婦人貞操問題と現代の裏面　―男子の性的資格を完成せよ―

名門に不良少年

が生れたり、或は凡愚な親に俊才の子が生れる樣なことは人間にはよくあるが、馬は絶對に血統をひくもので、駄馬凡馬の子には決して駿馬が生れず、駿馬の子は必ず駿馬である。種馬は殊に牝馬が大切で、如何に優良種の牡馬でも、一度系統不明の牡馬と交配したならば、その牝馬は、將來永久に純粹種を蕃殖せしむることが出來なくなり純血種としての價値が全然なくなるものである、例へば若し純粹種の牝馬に、駄馬の牡を一回でも交配せしめたならば、その牝馬の一生は、後日に至り純良種の牡馬を交配せしめても、生れる子馬は、體格や足や蹄に駄馬に似たところができて駿馬の馬としての資格を失つて居る。是れは牝馬の生殖器の淋巴腺が牡個性の或る物質を吸收して體質が變化するのであつて此の神秘なる性的關係は

人間にも共通し

純粹なる處女が、例へば初め赤毛の男を夫に持つて居て、離別後に黑毛の男と再婚し、生るゝ子が赤毛であつたり、血液型が今の夫に似ず前の夫と同じである樣な實例は醫學界に少なくないので、純潔なる處女性は實に神聖にして、且つ貴といものであるが、ヨリ以上更に一層處女の眞價はその純情にある、一たび結婚した夫と、一生の苦樂浮沈を共にし、一意獻身的の良妻となる情操は、處女性の純情より生ずるのである、しかし複雜な實世間には、處女を妻に迎へても、夫其の新妻が目付かなかつたり、夫婦喧嘩が進行したり、或は長い月日の中に何時しか三角關係などに脱線して夫を裏切ることのあるのは何故であらうか？　元來夫婦なるものは、赤の他人であるのに、緣あつて同棲する樣になると、骨肉よりも濃厚なる相互愛を生じ和合を保つのは何によるかを考へれば、直ぐ分かることで、世間で妻の脱線は、夫の方に妻を持つ性的資格を缺いで居るものが多いことは、蓋し

人生裏面の眞相

である。性思へば此世に男と生れながら、性器發育不全、弱小、機能障害ほど情けないことはない、是れには從來何百圓の藥價を空費して失望悲觀の極、死を思ふ人さへあつたが醫學上劃期的進歩を告げた物理療法界に、日獨佛專賣特許ホリツク眞空水治器が發明せられ、自分で簡單秘密に物理療法を行ひ、僅に六圓位の安價で縮小性器を健全發育せしめ、男子の運命を開拓することが出來る樣になり、實驗界の好評湧くが如くであるから、一日も早く實行しないのは一生の大損である。

發育力を強調する　物理作用の實現

世界的發明品たる日獨佛專賣特許ホリツク眞空水治器は、理學的機構が精巧を極め、形は小さくて輕便であるが効力は意外に大きい、有名なる醫學博士六十餘大家が齊しく實驗證明推奬されて居る、一たび本器を自分で秘密に局部へ直接使用して、一日一回、一回十分間位づゝ安全な物理療法を行ふと目前忽ち驚嘆すべき眞空吸引力により、局部の血行が滿潮的旺盛になり筋肉を十二分に緊張せしめ活力を喚起し、發育效果が本器のメートルへ現はれ、同時に神秘言外のエンツンデユング作用により性神經機能を復活せしめ、手淫過房の害、遺精、夢精、早漏、陰萎、精力減退を恢復し、彎曲を矯正し、弱小も健全に發育せしめ、機能ますます增進して男子の資格を完成することは、實驗者の滿悦溢るゝ感謝告白の數が事實を物語りつゝある。

＝本器は早速求められて、直ぐ申分なく役立つ。

男性の急務

◎外科は、男性の特徴たる進取の勇氣、不屈の腕力、潑剌たる活動元氣の根であるから、發育不全、弱小は、去勢的グズグズの人間になり早老若朽して落伍者となるが健全發育し機能若者になれば、ホルモン學説の示す通り、生殖腺の強健が基礎となつて腦力記憶力を增進し、日常の生活氣分も快活になり奮發心が起り、前途が光明と希望に滿たさるゝから、直ちに進んで神聖なる本發明器を實驗し、人生の幸福を開拓せられよ。

醫學博士六十余氏實驗證明推奬
口、獨、佛專賣特許、名譽金牌受領

登錄商標　ホリツク眞空水治器　金六圓　送料（內地三十錢　植民地六十錢）
ホリツク包莖安全器　金三圓五十錢　（內地三十五錢　植民地四十二錢）

＝包莖は特許ホリツク包莖安全器で、無血無痛切らずに自分で安全容易に成形する＝

◇代金引替希望は器名を明記し御注文次第送る（送料十五錢増）◇説明書添付匿名密送す

無料進呈（非賣品）『圖入説明書』
內容　△性問題の新知識解放的滿載　△本器の詳細説明　△多數實驗者の赤裸々なる感謝告白文集（附）
◎ハガキで御請求あれ（個人名義で密送）

東京市芝區神谷町廿八　電話芝三三三七　振替東京七三三九一
東京　新療法研究所

福印　糸（商標）
縫糸各種　刺繍糸　カタン糸　針・紐　裁縫具　チヤコ
大連市連鎖街　福田糸店　電話二一四〇番　振替大連三三五七一番

質屋の活躍
簡便なる金融機關入質の場合は若狹屋へ・不用品（衣類裥道具）共特別高價に買受けます
●弊店の特色　貸出勉強　保管確實　秘密嚴守
大連二葉町四ノ五六　若狹屋質店　電話六六三四番

耳鼻咽喉科　澤田醫院
大連市西広場三河町角　電話五四一〇番

營業品目
清酒白鶴　樽詰壜詰
サッポロビール　全黒ビール
アサヒビール　全白ビール
亀甲萬醬油　樽詰瓶詰
其他各種清涼飲料、調味料類
大連市監部通　嘉納合名會社大連支店　電話七五五四・五二四五番

新興國機運の家具と装飾は

カーテン・敷物　ブラインド・リノリーム　壁紙・其他　商店陳列設計
大連伊勢町滿銀向　滿蒙工業所
電七九六八番　振替大連一三〇九番

喘息病
京都帝国大学教授醫學博士　辻寛治先生創製
氣管支喘息新治療劑　ツシアスト
糖衣内服用錠劑・薬店ニアリ

大連に一軒しかない
青島牛肉　小間と　すき燒
めいぢランチ
午前十一時より　午後二時まで
牛肉はお電話を頂けば直ぐ配達いたします
青島明治洋行　めいぢ
連鎖街京極通　電二二一九一・二二九二番

アスフェチン
解熱鎮痛新劑
かぜねつ　づつう　ふしぶしの　痛みに　よく効く
効能
本劑は流行性感冒、肺炎、肋膜炎、急性ロイマチス等より生ずる發熱に對し不良の副作用なく速に解熱す。亦關節炎並に筋ロイマチス、神經痛、偏頭痛、齒痛等の消炎鎮痛劑として確實に奏効す。
定價　二十錠入　金四十錢
全滿著名藥店にあり
發賣元　日本賣藥株式會社　大連市浪速町一四七
奉天加茂町一六　日本賣藥會社出張所

安田經營　海上火災保險
滿洲總代理店　國際運輸保險部
大連市山縣通り　電話三一五一番
沿線各地の御用命は最寄店所へ…

美と魅力の近代化粧料
タンゴドーラン
內務省衞生試驗所無鉛御證明

春・三月の美と魅力と潑剌さの化粧圖こそタンゴドーランから輝やく！

タンゴドーランは―
クリームも白粉下も要らず僅か二三十秒間の瞬間化粧で思ひのまゝ貴方の個性美を發揮します

お顔の色に應じ一層美しくなるタンゴドーラン七色
一般の御婦人には……肌色
色白い方には……白色
色蒼い方には……淡紅色
白くない方には……早艶色
色蒼白い方には……爽健色
色の赤い方には……新鮮色
尖端的な美容には……明朗色
正價（各色一個）・五〇

固形タンゴドーラン
純良無鉛、芳香優雅、科學的美成分より合成せられ粉白粉の如き無駄なく、粉が飛散して衣服や鏡台を汚す憂ひもなく、手輕に美しいお化粧が出來ます
正價（各色一個）・六〇

◀有名百貨店・薬店・小間物・化粧品店にあり▶
總發賣元　風島メール本舗・株式會社　宇野達之助商會・東京・大阪

眼科　馬場醫院
ドクトル　馬場庄江
大連常盤橋詰・電話八五七八

質　洋服類書發　筑後屋質店

鰻かば燒　丼
商品券もあります
信濃町　鳥彦　電四四八三

●受驗戰突破　この一戰だ最後の頑張りだ！勉强の疲勞はノーシンで恢復せよ、ウント馬力をかけよ、ラストヘビーだ！合格だ輝やく榮光が待つのだ●

一浴卓百藥
明るい家庭に

六合ハップ
大連市　上野藥局

測量機及製圖用品
大連市連鎖街　内田洋行　電四八五六番

主なる取扱品目　冷凍魚、鮮魚、鹽鮭、罐詰各一般
年中在庫品豐富
は　株式會社　林兼大連出張所
大連乃木町十一番地　電話七五四〇番
本社　下關市竹崎町
資本金　壹千萬圓
支店　內地、朝鮮、臺灣
出張所　三十餘ケ所
哈爾濱販賣部　哈爾濱八區順昌街五

淋病消渇に宇留神湯
日本橋藥局　電八三六二

優良國産
瑞穗電氣ドリル
各寸法在庫
瑞穗機械製作所　滿洲總代理店
機械工具店　大連榮町
杉元商店

兒玉事件公判

嚴たる求刑の前に戰きつ、淚の答

最後の審判に唯一縷の望み 清算近き邪戀の二人

【兒玉事件第三回公判、夕刊續き】生への執着に終始犯意を否認し續けて來た中園秀雄にとり、高井檢察官の死刑の求刑は正に青天の霹靂、失望のドン底に突き落された巨彈であつた、勝美にとつても夫たりし博士が自由を許され青天白日の身となつた以上、當然自分もこれに準じて半歳の獄舍生活に總て過去の罪跡を清算し得るものと信じてゐただけに懲役二年の求刑には淚をもつて答へるより外に術はなかつたであらう――溺る〻ものの藁をも摑む心理、それは辯護人の辯護に望外の期待をかけて、やがて下さるべき最後の審判に一縷の望みを托する哀れ邪戀の二人であつた

荒み切つた半生

社會生活の教養がなかつた 長辯護人の長辯論

十五日午後二時三十分再開檢察官の論告及び求刑の後をうけて長官選辯護人が中園秀雄の辯論に立つた、被告席に着いた當の中園は勿論、勝美も共に頭を垂れて耳を傾け、傍聽席またトップを切る辯論に興味をかけて水を打つたやうに靜かだ、先づ被告二人の邪戀が如何に社會的に多大の

關心 をあらゆる角度から批判されつ〻あるか從つて本件の判決は社會教化の上からその及ぼす影響重大であり何卒社會教訓の一大指針となすに足る判決あらんことを望むと述べ、更に現下の道義觀の頽廢、婦道の陷落を歎じて辯護人の見たる「勝美論」に入る 日本婦人の道德觀から見て勝美は高等教育を受け理性の發達した近代感覺を持つた女性である賢夫人の總ての條件を具備した被告勝美が何故に夫ある身で男から男へと移つたか?些細に討論すれば或ひは

同情 する點があるかも知れないが人妻としての立場から論解すれば一點辯解の餘地なく返す〴〵も遺憾である、よし中園が初戀の男川崎であつたにしても、また中園が誤認に陷れたとしても、不倫の淵に近寄るべきではなかつた、然るに自から中園と會見を求め、未知の異性にネクタイなどを贈つたといふ行爲は實に不可解で、從つて中園は勝美の錯誤を利用して誘惑したものでないことが立證されるではないか

次いで「中園論」に移り彼が學力智力において勝美に劣ることは天地の差であり、貧苦の

家庭 に生れ十七歳から今日までマドロス生活に荒んで來た彼の半生を說明し

中園の行爲自體は罪惡である、しかし人間が健全な社會生活を營んでゆくには、それだけの教育と練習が必要である、生れながらにして一個の社會人としての條件を具備せず社會生活に臨んだところに人倫を誤り呪はれた運命を自から背負はねばならぬ結果を生んだもので、一人の中園のみにその責を負はしむべきではない

青柳殺害の動機に就いて長辯護人は

中園が歐洲から歸つて見ると愛人勝美の口から青柳に暴行を加へられた上に毎日脅迫されてゐると聞かされて憤慨したのが、そも〳〵青柳に私怨を抱く發端である、こんな事實を聞けば一人中園のみでなくおそらく

何人 と雖も憤怒の情にかられるのが人情であらう、そこで中園は青柳に謝罪さすべく兇行當夜青柳と會見した、然るに却つて「僕の方こそ勝美に誘惑されてゐる」と反駁的態度に出られ、こ〻で彼の無教育から來る前後の思慮なく博士邸に伴ひ來つたのだ、おそらく博士邸に來るまで中園には青柳殺害の決意はなかつたであらう、檢察官はバット、匕首を用意してゐた點を以つて謀殺と認定してゐるがこれは青柳が友人數名を連れて來ると聞いて護身用に用意したものであり、青柳、佐藤を殺すのには博士邸の

臺所 から炊事用庖丁を持出せばよいではないか

と極力計畫的犯行でないと中園の立場を辯護し、次ぎに中園が傷害に問はれた點、卽ち嫉妬の虐待から勝美の胎兒を死產させたといふ公訴事實に對しては

當時勝美は青柳と通じた責めに對し中園のどんな虐待をも甘んじて受ける覺悟を持つてゐた、卽ち暴行を承認してゐたものであり、勝美に取つても嫉妬を起させる原因を作つてゐる責任は負ふべきである、殊に流產の原因は中園の暴行によるものでないことは勝美自身も、當時の產婆もこれを立派に

證言 してをり傷害に對する刑事上の責任はないと思はれるから無罪の御判決を願ひたい

また青柳、佐藤等に對する殺人豫備の點に就いても種々立證の下に犯罪の證明不充分であり無罪の判決を希望した、死體遺棄に關しては兇行當夜兒玉博士事件が外部に洩るれば自己の名譽と地位が一瞬に崩壞するを恐れて死體處分を提議したもので、これに對し中園は例の單純から働いたもので、むしろ死體遺棄の點では從犯的立場にあるもので切に情狀の酌量を賜りたいと熱辯を揮ひ、最後に法律適用に關し

檢察官の公訴事實中、殺人豫備と傷害は無罪、殺人及び死體遺棄の罪は檢察官は社會から葬れと死刑を求めてゐるが、汲むべき點は汲んで裁き、前途ある青年の

生命 を一朝にして葬むるは餘りに不びんであり

殊に故鄕には老た父母、兄弟が中園の身を案じ暮してゐると（別項の如く）中園の實父庄太氏からの手紙を朗讀して被告二人は勿論傍聽者を泣かしめて多大の同情を惹いた、斯くて

戀愛を基調として生れた本件に對し檢察官の求刑は餘りに過重である、諸般の事情を綜合し懲役十五年範圍下において處斷されることが最も妥當である

と、約二時間半に亘り滅々たる熱辯を揮ひ午後五時辯論を終つた、第二日目は十六日午前九時半から田村、大内兩辯護人の勝美に對する辯論ある筈（寫眞は長辯論を揮ふ長辯護人）

公判風景

いよ〳〵大詰に向つて追ひ込まれた中園、勝美の公判、十五日、高井檢察官の理攻めの論告は流石の中園にとつては痛いところだらけ◆この日の中園、サッパリ散髮してもして誰が差入れたか朱子足袋を履き「まんざらでもないわれ」なんてはしたない傍聽婦人達の囁きを浴び乍ら登場◆勝美は昨夜來發熱して上氣した双頰が美しい「老母來る」の知らせが留園の身にとつてどれだけ強く響いたか泣いて〳〵泣き明したと看守の打明けた話◆檢察官の嚴肅な論告はその冒頭に「國家非常時、人心とかく安定を缺く今日……」と時代の反映を強く強調すれば法廷内にサッと緊張した空氣が漲る、そして勝美に對して「女の最も大切なものは貞操だ」と女性の道德を諄々と說けば勝美、流石に頭を低く下げて恐縮する◆犯罪に對する罪の刑は、が檢察官から求められる日だけにとかく重苦しい空氣が流れ、裁かれる不死鳥はおの〻き勝ちだ、滿廷を埋める傍聽者も午前二時より詰めかけ、熱心な點では變りなく充滿した傍聽者の中に交つて、青柳實の弟克己君が、ジッと論告に耳を傾ける、論旨が亡き兄の事に觸れる毎に「たまらない」と云ふやうに目を閉ぢて默考してゐる◆高井檢察官の論告が進められて兒玉博士邸、あのゾーッとする殺しの場のところまでくると論告の調子が耳の故か兒玉博士の辯論に聞えて仕方がない、口の惡い傍聽者「高井辯護士」これは少し云ひ過ぎたらしい、しかし微に入り細を穿つて餘すところない論告ぶりは驚くに足るものがあつた

文壇噂話

牧逸馬氏の小說『大いなる朝』（キング四月號發表）は作者へもキング編輯局へも盛んに投書が舞込む、一篇の小說でこれ程の大反響を呼んだのは珍らしいと噂とり〴〵

相寄る骨肉の情

あの頃の秀雄を語る父の文 傍聽席にす〻り泣き

檢察官の求刑により「死刑」といふ極刑を科された被告中園に對してはその意外の重刑に流石の辯護人側も啞然とした形であるが人間中園のために起つて烈々の辯護の役を背負つて出た長古三郎辯護人は檢察官の所謂謀殺論を

一蹴 傷害罪に對し無罪を主張、更に死體遺棄に關してはむしろ兒玉博士を思ふ純情一片の男氣を買つてやるなぞ胸のすくやうな辯論をなし傍聽の滿廷に多大な感動を與へた、長辯護人が法と義理にはさまれながらもお互に慕ひ合ふ肉親の憐をつぶさに述べ「親心とはかうしたものだ」と南國の一隅から寄せた中園の父親の書面を朗讀する、この時裁きの廷の中園は頭を垂れ嗚咽して父親の變らぬ親心を想ひ

傍聽 の婦人のうちにもす〻り泣きの聲が聞えた、卽ち父から長辯護士へ與へた手紙の內容は次ぎの如きものである

拜啓愚息秀雄殺人事件に關し貴廳には官選辯護人として辯護の任に御當り下され感謝に堪へぬ刑務所へ本人をお訪ね下さつた御仁慈は感銘の外はない、親心とは云へ事件發生以來社會の表面に現はる〻面目なく只隱遁致してゐます、左に本人の人となりを親の口から申上げます、小學校時代家貧にして人並に教育出來なかつたが性質は武士的で小學卒業後出鄕、船員となり僅かの給料を

辛抱 して送金をなし親兄弟の困難を救ひ稅金等も滯納せしめない樣になし兩親は無論一家中の心を慰め親孝行者として十年前までは敬愛してゐた、兄弟中今まで不心得者なく柔順に親につかへ又は他所で働き得るは陸に秀雄か無言の指導の然らしむる賜かと思はれる、子供時代から善良な愛兒だけに事件發生の際は千々に心が挫けました、然るに破廉恥の事で社會に出す面目なく只謹愼する外道なく今でも人知れず泣き明しました、引こもつてゐます、私はあれだけの孝行した子が大なる

罪を 犯したことに就いて不審に堪へません……世の同情を得て命でも助かつたら又世に出し一働らきさせたいと思ひます……

殊に母親とは最も親密でしたから母は泣き明してゐるやうです、しかし人樣の前には泣かぬ振りをして我慢してゐますけれど親子ですから知らず〳〵に目に淚が浮ぶやうです【寫眞は中園秀雄の父から來た手紙】

死の一步前にて悲壯なる活躍

躍如たる皇軍の傳統的精神 友鶴犧牲者の手記

【佐世保十五日發國通】友鶴乘組員の救出作業進捗につき艦内各部に乘組員の手になる顚覆當時の感想を記されてあるもの尠からず發見されたが、この貴き記錄は何れも皇軍の傳統的精神の躍如たるを思はしめ、帝國軍人の誇りを示すもので上御一人のため皇國のため從容死に就いた樣がまざ〳〵と偲ばれる、この悲壯なる活躍手記は神人共に悲しむ態のもので筆跡は比較的はつきりしてゐる、苦しみの中に記錄された跡が伺はれ係員を感泣せしめてゐる（以下何れも原文のまゝ）

探信儀室の外壁にあるもの一等水兵田中武雄

午前四時半急に左に傾き顚覆極力防水に努む

天皇陛下萬歳

田中武雄　六時四十分

探信儀室内の壁にあるもの一等水兵萩原巖

日本男子なり、無事毋安んぜよ、重信も國の爲め（以下不明）子を思ふに（不明）日午前五時半　萩原

前部兵員室より米麥室の壁にあるもの三等主計兵曹井上平次

井上三主、艦と共に四時半顚覆せり

一區二區居住兵員を以つて極力防水に努めたるも浸水徐々にして（以下不明）

米麥庫の扉にあるもの二等兵曹渡邊忠

約一時間九輝たり一同皆元氣にて沈着なり未だ救助に來れる模樣なし君に捧し身體一同口を揃へて聲信しゐ（るなし）

渡邊二曹書

米麥室内フレームにあるもの三等主計兵曹井上平次

皇國の繁榮を祈る　井上

又同フレームに井上平治

一死報國の時來る（筆跡明瞭）井上

前部米麥庫内止横木にあるもの二等兵曹渡邊忠

潔く死んでゆきます　渡邊

今朝更に一名の死體を收容した

軍令部長宮殿下御見舞

【佐世保十五日發國通】新鋭水雷艇友鶴の顚覆は帝國海軍の重大なる事件にしてこれが情況調査のため十四日午前馳つけた艦政本部第四部長玉澤造船中將を始め軍令部第二部長古賀少將、戸塚大佐ら中央部から原因調査のため技術官、査問關係者等續々來保しつ〻あり海軍部内は更に緊張の度を加へ最上の進水式に參列された伏見軍令部長宮殿下にも情況視察と御見舞のため本日御來着になることゝなつた

初入港扶桑 入港遲延 午前十一時着

大連航路に始めて就航した扶桑丸は十六日午前八時二十分港外着の豫定であつたが途中猛烈な吹雪に遭ひ入港遲れ午前十一時港外着の旨無電があつた、なほ十七日午後二時から四時までの間續八百名から千名位の一般觀覽者に觀覽せしめ茶菓子の接待をすることゝなつた

血盟團公判 二十七日開廷

【東京十五日發國通】暗礁に乘り上げた血盟團公判は藤井裁判長係で廿七日より開廷するに決定した

自動車備付けの時計を盜む

十四日午後八時頃埠頭不審の支那人が埠頭東門を通過外出せんとするので署員が取調べたところ懷中に眞新らしい自動車備へ付け時計を持つてゐるので水上署に連行したがこの男は滿鐵苦力十五十八號苦力李樹森（二九）といひしあさる丸で積込んで來た東京陸軍兵器支廠から奉天關東軍野戰兵器廠行の自動車ち臺を十二號倉庫に荷揚げした後運轉手臺に立派な時計が「かち〳〵」なつてゐるので惡心を起し四れをはづし午後七時頃監督者不在中時計一個を竊取逃走しようとした事判明したが他の自動車三臺共時計のれちがはづれて居り共犯者ある見込みで嚴探中

審査發表 忠靈塔建設

【新京特電十五日發】豫て關東軍司令部で懸賞募集の忠靈塔建設圖案は應募者八百名を超え締切後に到着せるものを加ふれば一千餘の多數に上り

これが審査は關東軍の委囑によつて元東大教授工學博士伊東忠太氏、大連南滿工業專門學校教授村田治郎博士の兩權威者、關東軍司令部岡村參謀副長、同上野大佐、同原田大佐、植木技師など及び關係者の手で嚴選中であつたが最近漸くその審査を終り十五日左の通り當選者が發表された

一等（賞金二千圓）橫濱市神奈川區代町五九　雪野元吉

二等一席（賞金一千圓）關東軍司令官々邸建築場、高橋芳雄之助

同二席　千葉縣千葉市千葉寺一九七　喜多田權太郎方後藤金三

三等一席　東京市日本橋通三丁目八ノ四　齋藤ビル內　志村太七

同二席　新京常盤町陸軍官舍二三號　谷口榮次

同三席　靜岡市淺間町一ノ四一　福島方　足立博士

選外佳作　東京市深川區三好町三ノ六　喜多村政良

同　東京市品川區大井金子町六三八三　相澤珠璽

なほ右當籤者中高橋、谷口の兩氏は新京關東軍司令部勤務の青年雇員である

各校卒業式

大連常盤青年訓練所では十七日午後七時第七回修了式擧行◆旅順高等公學校では二十日午前十時から卒業證書授與式擧行◆旅順師範附屬公學堂は二十三日午前十時より卒業證書授與式擧行◆普蘭店幼稚園は二十日午前十時から第十二回幼兒保育終了證書授與式擧行◆普蘭店高等小學校は二十四日午前十時より第廿四回卒業證書授與式擧行◆小平島普通學堂二十三日午前十時より第十三回卒業證書授與式擧行

遭難者の靈を弔ふ艇長夫人

【佐世保十五日發國通】岩瀬艇長夫人禮子さんは十四日夕刻自己の悲しみを包み死體收容所の凱旋記念館を訪ひ廊軍に遭難者の靈を弔ひ遺族に弔辭を述べる所あつた、尙遭難者の手記遺書等あるも總て海軍側に預かり整理中である

商埠地の土地貸下

【奉天特電十五日發】商埠地の土地貸付最後的審議も十四日終了いよ〳〵發表するまでになつたが申込者八百餘件の中決定したのは店舖同二十九住宅向百五十六の百八十五件である

西村忠雄氏結婚

滿洲國民政部警務司事務官西村忠雄氏は高橋判官、岩井大連警保安主任兩氏の媒妁により戸次千代子孃との婚約整ひ十八日大連神社で結婚式を擧げ、同日午後五時から吉林街扶桑仙館で披露宴を催す、新郎は關東廳警部より滿洲國に轉じた人、新婦は兵庫縣高女出身の才媛である

貴金屬の盜難

市内眞弓町五番地三島三衞門方では家人の留守中十五日午前八時より同十一時までの間に何者が侵入し現金七十圓貴金屬を併せ四百十三圓の盜難に罹つたが、最近この種貴金屬專門の空巢狙ひが橫行するので大連署では嚴探中

工業化學會講演

工業化學滿洲支部では二十日午前四時三十分から滿鐵社員俱樂部で左記演題の下に各四十分の豫定にて第六回常會講演會を開催する

一、最近の石油分解蒸溜法に就て　田中猶三

二、歐米硝子工業視察　杉森政次

三、石炭液化裝置に就て　阿部良之助

電氣學會講演會

電氣學會滿洲支部では來る廿日午後二時半から旅順工大第一食堂で第十六回學術講演會を左記演題の下に開催する

一、高壓變壓器に關する一考察　能谷三郎氏

一、風壓に依る懸垂碍子の橫振れ　西山靜雄氏

彌生會總會

大連彌生高女の同窓生によつて成る彌生會では來る十八日午前十時から同校講堂で新會員（本年卒業生）の歡迎を兼ね春季總會を開くが出席者は前日までにハガキか電話（七〇三〇番）で申込まれたいと

南滿商科學院

南滿商科學院では新學期より入學すべき第七期生徒七十五名を募集中である入學資格は中等學校卒業又は同等の學力を有する者入學希望者は規則書を敷島町の同學院事務所宛請求されたし

防空獻金

市內西崗街一八九番地資藥業松木キヨさんは十五日小崗子署へ防空獻金として五圓寄附した

田中文書科長

現滿洲國國務院總務廳文書科長もと滿鐵地方部調査係主任田中儀氏は過般來より盲腸炎にて新京滿鐵醫院に入院手術靜養中のところ十五日午後一時二十分病革まり死去した、尙ほ葬儀は追つて新京において施行の筈

日本だけしか友達を持たなかつた滿洲國も帝政實施を機會に世界各國がお友達氣分を出し始め實質的な交渉があちらからもこちらからも……これもその一つ。

◇

英國の大汽船會社キューナードラインは滿洲國が歐洲へ留學生を九名派遣するとかの報を何處から得たものか、留學生の日程やコースを出來るならば同會社の船でと問合せ旁々運動方を當市某代理店へ依賴して來た。

◇

勿論營利會社のこと、歐洲へ日本から親子三人連れで一等なら約四千圓、青島―大連間の苦力が甲板船客なら一人一圓位（規定は四圓だが）つまり四千人と釣合ふ、この際滿洲國の留學生が九名も同ラインを利用したら宣傳にはなるし儲かるしといふ肚ではあらう。

◇

だが何れにしても育ち行く滿洲帝國の側面史を物語る賑かなニュース

南蠻彩船 (72)

鈴木氏亨作
布施長春畫

女郎花（八）

「五月野、五月野」

五月野は、聞き覺のある聲にはつとして、顔を上げた。そして涙を見せまいとして、袖でぐつと拭つた。

懷しい父親であつた。

「お父上！ようこそお歸り遊ばしませ。姉上のゐるところがおわかりになりましたか？」

「いゝや、わからぬ」

父は、想ひ惱んでゐるやうに頭を振つた。

「でも、お待ちして居りました。御無事で歸られて結構でござんした」

五月野は、嬉しさうであつた。

「直ぐ、旅の仕度をお取りなすつて、おくつろぎなさいませ」

老いたる父は、わが娘のいつも變らぬ親身の愛に、いそいそとして旅の仕度を取ると、爐の火に手

「五月野、お前どうかしたのう！」

父の彌陀王は、訝かしげに訊ねた。

五月野は、出來るならば、今宵の出來事を、父に知らしたくはなかつたが、さう訊ねられてみると、緋師屋庄右衛門が訪れて來たことの一切を、話さねばならなかつた。

「庄右衛門の奴、私が零落れてゐると思つて、酷いことをする。奴そのまゝにして置けるか……私の手一つでなりと、楓を探し出して早う、みんなで安心したいと、家を留守にして、大和路や河内路をあつちへうろつき、こつちへうろつき、何處そこに楓に似た女がゐたと、風の音信に聞けば、飛んで行つて、訪れ廻つてゐたのだ。それにもかゝはらず、何と云ふ怪しからぬ所業をしかける奴だ。覺えてゐろ！この恨みは屹度晴らしてやるぞ」

老武士は、齒ぎしりしてくやしがつた。

「それにしても、遠里小野樣とやらは、いゝ、そちの恩人ぢや。して、その方は、助左衛門殿の船の、宰領をして居られると云ふのか？」

「左樣でございます」

「うむ……」

彌陀王は、凝と考へこんだ。

こんどの悲劇の因も、もとはと云へば、助左衛門から起つたことである。自分は、足利家の恩顧を受けた譜代の臣として、御世が變つてからと云ふもの、新しい主人には仕へまいと、石のやうな固い決心をもつて、寄る年波にも、二人の娘を力とも杖とも頼み、その日〳〵を過ごしてゐる、謂へば病葉のやうな身の上である。

楓が、わづかの金のために遊女として、高須の里に賣られて行つてから、助左衛門の眼にかなつて身請されたのが運命の軌道のそれだしたはじめ、それからは老の身の上で、悲劇の中の一人となつたのであつた。

しかも、いままでは、老の盛儀の走るまゝに、敵のやうに思つてゐる助左衛門である。その敵の部下に、五月野が危急を救ひ出されたとは、また、何と云ふ皮肉な運命であらう——

——あゝ、世の中には、どうしてかう恩やら恨みやら、憎しみや愛が、めぐりめぐつてゐるのだらう——

彌陀王は、いま更ながらこの世の神秘に、打たれるのだつた。

——それにしても楓は何處へ行つたらう。どうしても探して、庄右衛門に恨みを晴らしてやらねばならない。明日は一つ濱花の町でも探すとしやうか——

彌陀王は、今宵の不思議な出來事と、いろ〳〵な不可解な想ひを遮つた後ち、かう決心した。

そして、二人は違つた想ひを抱いて、冷たい寢所に入つたのであつた。

麻生路郎氏句會

來三月二十二日午後六時半より山縣通り大連亭にて開催來會歡迎

◇宿題（十九日締切）

「心」　麻生路郎氏選
「萌」　高橋月南氏選
「熱愛」　大島濤明氏選

◇市内西公園町一四九大島宛投句

滿日柳壇

友情　大連　伊東山坊　編輯局選

友情を感じ過ぎたる結果を見
船の友十路までの仲であり

病室へ友の眞心咲いて居り　周水子　田中　一蛙
舊友のルンペン無作法に上り込み
投げられたテープ感謝の笑が持ち　周水子　藤枝　幸子
一着はテープを切つて友の肩　鞍山　上原　時男
戰跡のかばれに友の捧げ銃　大連　星野美名都
失業へ郷里の友からシャツが來る
友達の情で發てた終列車
小爲替の友の返事に泣かされる　普蘭店　河本登志緒
友なれば訊れて哭れる入院費
鐵拳の痛さに友の顔みつめ
友情に初めて醒めたバアの酒　鞍山　西原　橘子
がんばれとレターの端へいつもあり　大連　山口　露眼
制裁を受けろと泣いてなぐる友　遼陽　中沼久萬仁
友情を賣り喰ひに勸誘員
友情で片附けられぬ戀心　大連　江本　羊羹
下宿屋で苦樂をかたる一つ鍋
枯枝を上げて戰地の友の墓　旅順　ただを
失戀の俺れへ友も泣いてくれ　新京　上倉　泥柳
借金のつい友情にいひそびれ
御願ひ端書で返す程の友
都會化してからの友情鼻につき　大連　元　坊
友情は御都合主義で今日の地位　撫順　齋藤十念坊
友なればこそと意見の苦い顔
打明けし友の懺悔に泣かされる　本溪湖　郡司島里柳
友情を裏切るかげに宿む戀
友情にかられて思はず脱線し　昌圖　山口　食土
友情の果ては同性愛て死に
友情の就職へ今日も汗をかき　同　山口　華江
友情を滅茶苦茶にする借と貸　同　浦上　安也
友情の厚さ滿洲國生れ
支那服を着て友情の變りやう　同　浦上　風流
友情へ十圓までは投げてやり

新刊紹介

新青年（四月號）本文劈頭四〇頁に亘る探偵的興味豐かな黒死館殺人事件（小栗虫太郎）と運羅兄弟の秘密（エラリ・クヰーン）の内外二大傑作並びに九篇の創作を掲げ探偵小説ファンに見える外早耳くらべ集、四大學新聞班コンクール縮刷圖書館等がある（六〇錢東京日本橋本町三ノ九博文館）

新小切手法（伊澤孝平著）本年から實施された新小切手法の逐條註釋書で、第一段に於ては新舊兩法を比較對照することによつて新小切手法の内容を闡明するに努め、第二段に於ては小切手法と密接不離の關係にある手形法との關連を說き、第三段では本法と其主義を異にする英米法の解説を試みてゐる、蓋し我國と最も取引關係の深い英米は本法が基く小切手に關する國際條約に加盟してゐないので其紹介並に之との比較研究は啻に本法の理解を助けるに効果あるのみならず又實務上の參考に資するところも多大なりと信ずる（四六判二〇一頁八〇錢、東京神田一橋通岩波書店）

拳鬪（三月號）平澤雪村氏が主宰する專門雜誌で既に同巻三號を重ねてゐるが逐號内容の充實して來るのが目立つ、巻頭のファンの氣焔は畑明大講師、石山ダイヤモンド社長、出井銀座料理店主人大山淺草富士館支配人などの思ひ思ひた顔觸れを揃へ、思ひ思ひの拳鬪禮讃は編輯者が狙ふ拳鬪大衆化の的に中つてゐる、本號から連載の拳鬪圖解講座は寫眞入りの誌上コーチでアマチュア拳鬪講座（柳田亭）と共に讀者の歡迎する所であらう、試合戰評は口繪其他の挿入寫眞と相俟つて每度ながら光つてゐる、拳鬪選手及ファンの見逃してならぬ雜誌（三〇錢、東京芝南佐久間町一ノ二七拳道社）

ソウエート聯邦事情（三月號）露西亞諸民族の遠心運動（島野三郎）ソ聯中央執行委員會第六期第四次會議、本年度のソ聯鐵道運輸建設計畫、一九三三年度ソ聯國民經濟の實績（高橋克己）等、因に本誌は本月を以て月刊を打切り今後は年四回の發行とし本年度第一回半期號は五月初旬に發行の豫定であると（四〇錢、大連滿鐵經濟調査會）

滿洲日報
三月十五日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 村本武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

日支經濟提携に支那財界巨頭が贊意
富田財務官と會見結果

【上海特電十五日發】宋子文氏始め支那財界の巨頭は富田財務官と會見の結果、何れも排日貨の非を悟り日支經濟提携に贊意を表した

對日政策を繞る確執を調停解決
南昌で臨時緊急會議

【上海特電十五日發】蔣介石氏は近く南昌に汪精衛、孫科、戴天仇、孔祥熙等の諸要人を招集して臨時緊急會議を開く事となつた、その議題は近く開始される第二期共産軍討伐計畫及び對西南政策を議する外、對日方針を繞つて確執の増大しつゝある汪精衛宋子文兩派間の調停解決を期するにある

【上海特電十四日發】蔣介石氏は滿洲國帝制實施を機會に孫科氏一派が立法院その他において汪精衛氏を攻撃論難し、頻に對日強硬を唱へてをりこのまゝ放置すれば國民政府の結束に重大な影響を及ぼすことを恐れ南昌會議において孫科氏等を説得して日支關係惡化を憂慮すべき事態に陷らしめぬやうするとともに、北支那には外交次長唐有壬氏を派遣して黄郛、何應欽氏等とゝもに滿支國境整備につき政府の意向を傳へ滿洲國との紛糾を避けしむることゝなつた、かくて國民政府内部の對日論爭は蔣介石氏の抑壓により一時汪派の勝利に歸して鎭靜する模樣である

懸案の解決捗らず
黄郛氏辭意を表明
北支政權破局に瀕す

【天津十五日發國通】屢々辭任説を傳へられた黄郛氏は通車、通郵問題をはじめ山積する日滿支諸懸案の不進捗から今次遂に中央に對し辭意を表明するに至つた、本日天津通過赴平する外交次長唐有壬氏の北上により華北情勢の調査報告の結果、中央が之が解決を斷行する決意を持てば兎に角、左なきだに右顧左眄從來の如き態度を執るにあつては黄郛氏も今度といふ今度は斷然辭任するより仕方ない立場に置かれてゐる、黄郛氏が日支關係打開のため一々南京政府の指示を仰ぐことなく一身に責を負つて問題を一氣に解決するとせば問題はないが（汪精衛の如き寧ろこれを望んでゐるのであるが）黄氏にそれだけの勇氣があるかどうか疑はしく、中央では勿論この厄介な問題の矢面に立つて日支關係の好轉を圖らうとする者ある筈もなく、結局問題は蔣介石氏の裁決如何にかゝつてゐるわけであるが、停戰協定締結されてより既に一ケ年を迎へんとしつゝあり、隱忍に隱忍を重ね來つた日滿當局も最早誠意なき延引策に滿足する筈なく近時強硬態度を見せてをり、その日暮しであつた黄郛政權も愈々當然來るべき最後の破局に近づいたわけである

反政府運動俄然熾烈
豫算案成立を契機として

【東京特電十五日發】總豫算案成立を契機として議會の内外に於ける反政府運動は俄然熾烈を加へた情勢にある、即ち豫算成立までは現内閣そのものゝ運命は兎に角として非常時對策を含む重要豫算の不成立は努めてこれを廻避する意向が多かつたため、反政府運動もこれにつれて鋒先が鈍つた感があるが、既に豫算成立の上はこの點に心置きなく政府糺彈をなし得るので貴衆兩院は從來より一層猛烈に政府の無力無誠意を論難すべく、又院外の倒閣運動も右翼團體によりこの數日間各所に行はれて倒閣の氣勢を揚げ以て次の局面に處する各樣の畫策がこれに伴つて目まぐるしく政局の上に渦卷かうとする狀態である

日滿〝經濟議定書〟締結の用意あり
廣田外相仄めかす

【東京十五日發國通】日滿親善關係増進と共に兩國間の經濟關係につき投資上、關稅政策上、その他諸般の施設につき政府の外交工作が及ばさるゝに至つてゐるが、廣田外相は十四日衆議院通商擁護法案委員會で、日滿議定書以外にも兩國間の經濟關係につき近く何等か經濟上の議定書ともいふべきものゝ締結すべき用意ある事を仄めかす所あつた

會期兩三日延長か

【東京十五日發國通】豫算案は原案通り無修正で議會通過、政府は今後は審議中の諸法案四十餘件の進捗に努めるが、最近會期延長に關し民政黨及び貴族院の一部に延長の聲あるに對し、政府は目下提出案の審議を進める牽制策とし表面延長を否定してゐるが實際情況に應じ兩、三日の延長を考慮するものと觀られる、次いで齋藤首相は議會後に行ふべき文相詮衡に取かゝるが之は議會後の政局に處すべき政府の態度を前提とするものなるため、先づ議會終了後早々西園寺公訪問、所信を披瀝する筈である

委任新線建設費
一億四千萬圓

【東京十五日發國通】滿鐵が滿洲國より請負の鐵道建設は第一期計畫八年度の六百五十キロは既に大半完成し滿洲國への借款となつて滿鐵の委任經營に移され九年度第二計畫として豫定の新線建設費は約一億四千萬圓に上り九年度は滿鐵請負滿洲國線建設の最盛期である、鐵道總局の村上理事は前日上京以來右新線計畫書及び鐵道運賃内鮮滿交通連絡その他重要案件につき政府と打合せ中である

滿鐵監事會

【東京十五日發國通】滿鐵では正副總裁上京を機會に十五日正午より麻布狸穴の社宅で監事會開催、大橋、森、小倉、原の各監事會社側より正副總裁、村上、竹中、大淵等各理事出席、八年度決算見込九年度豫算概要並に會社近況等につき報告なす筈

貴族院の滿洲問題論戰 (7)
滿鐵社員の功績
武官と同樣行賞を考慮

三月三日貴族院豫算委員會第六分科會における滿洲問題に關する質疑

兒玉秀雄伯 最終に一寸質問を許して戴きたい、これは今年の豫算に計上されて居りますが、論功行賞に關聯した問題でありまして、御承知の通り一般會計でありますが、五千萬圓の論功行賞の費用が計上されてありますので、今回の滿洲事件に對してわが陸海軍將士の忠勇なる御奮鬪に對しては國民として感謝の言葉も實はないやうな程であります、從つてこの論功行賞は公正に行はれ、且つ速かにこれを實行されることを希望して止まないのであります。と同時に、これをやる場合においては飽く迄厚き聖旨を普く徹底するやうなことに致したいものだと私は深く考へて居るのであります、而してこの滿洲事件に於けるわが軍部の忠勇なる活動にも劣らない活動をなしたものが茲に私は見逃すべからざるものがあると思ふのであります

それは滿洲に居ります、駐在して居ります所の關東廳並に外務省所屬の警察官、私は曾て彼の地に居りました關係上是等の警察官と勞苦を共にした一人であるのでありますけれども、今回の事件に對して、突發事件におきまして、滿洲に駐在する所の警察官の働きといふものは實に涙ぐましく考へる事情を澤山承知するので、其度に私は心から感謝を捧げて居る一人であるのであります、然るに從來の例に依りますといふと兎角此文官方面、警察官方面に對する論功行賞が軍人に比して輕んぜられる虞がありますので、私は願はくば此機會におきまして滿洲における警察官の勤勞を永く永久に確保してやりたいといふ熱心なる希望を持つて居るのであります、論功行賞の公正を期する上におきまして政府に於ては其點に於ては十分御注意あることゝ思ひますけれども、殊に今回の事件につきまして其點に御留意を願ひたいと思ふのであります

而して此警察官は素より國家の官吏でありますからそうなくてはならないのでございますけれども、此滿鐵の職員、殊に下級職員、此下級職員が今度の事件に對しまして國家的に又會社の爲に非常に努力したといふ事柄は、これは誰しも否むことは出來ない事柄と思ひます、單に滿鐵社員それ自身が犧牲的な精神を以て今回の事件に努力したるのみならず、その家族に至るまで、實にどうも何といつて宜いか、言葉にいひ現すことが出來ないやうな行動を續けて居つたといふ事柄は、私共が絶えず耳にする所でありますので、この滿鐵社員に對しましても、國家は何かこれに報いなければならぬと思ひます、警察官は國家の官吏でありますからまだしも、政府で親切に考へられることは存じますけれども、兎角會社の從業員といふことになりますと云ふと時々殆どこれを無視せられるといふ事柄が從來の例であります、そこで私は拓務大臣に御願をし御所感を承つて見たいと思ふのでありますが、希はくば此滿鐵社員に、殊に下級社員に對しましての功績に對して十分に國家が之を認めてやつて戴きたい、又其ことに關して拓務大臣は恐らく之を御諒解であらうと思ひますが、之には一つ涙を以て此問題を一つ進捗させて戴きたいと私は心から念願して已まないのであります、なほ又此軍人が戰場に於て亡くなりましたる時分には、誠に畏れ多いことゝ思ひますが、之を招魂社に祀られるといふやうな榮譽を荷ふことも出來るのでありますけれども、私は此警察官に於きましても、又滿鐵の社員に於きましても、今回の事件に於ては之を同樣に見るべき所の事件が澤山にあると思ふのであります、從ひまして其論功行賞の點に於きましても、又之が爲に於ても、警察官滿鐵社員、之に對して希はくば軍人同樣に一つ御取計らひを願ふことに拓務大臣に特に御願をして置きたい、又其ことについての拓務大臣の御所感をも此際に於て私は伺つて置きたいものだと、斯う思ふのであります

永井拓相 只今兒玉伯爵から滿洲事變の犧牲者となつたもの又滿洲事變の後に滿洲建設に對して勳功のあつたものに對して文武を問はず、官民を問はず、其論功行賞を過たないやうにといふ誠に御眞情の籠められた御言葉がありまして、私も全く同感に堪へない所でございます此度の事變の重大性に鑑みまして滿洲に駐屯して居りまする軍隊に對して、皇室から御慰勞の思召で御下賜金があります場合には、いつでも又同樣に匪賊の掃討、秩序の恢復に當つて居ります警官なども御忘れなく、其恩澤に均霑せしめられるやうに御取計らひになつて居るのでありまして、此皇室の思召を體しましても、只今兒玉伯が御話になりましたやうに今回の論功行賞は文武を問はず、公平に行はれなければならぬといふやうに考へます、殊に滿鐵從業員の上にまで色々御配慮になりましたことは、實に私が感激に堪へない所でありますのみならず、滿鐵從業員が今日の御賞辭を承りまして、どれだけか感激し又感奮興起することであらうと存じます、大體政府におきましても今兒玉伯爵が御話になりましたやうな趣旨で、今回の論功行賞をして行かなければならぬと考へて居るのであります、滿鐵の從業員の特に勳功ある者に對する論功行賞は、これは軍に於て調査をして推薦することになつて居ります、尚ほ滿鐵の社員のみならず東拓などの社員の中にも同樣に勳功あつた者もありますので是等は拓務省に於て調査をして推薦を致したいと考へて居るのであります

兒玉伯の御話になりました通りに、關東廳の警察官などの苦心は實に想像に餘りあるものがありましたので、警察官の夫人で戰死いたしました者なども特別なる御取計で靖國神社に合祀して戴くといふやうなことにもなつたのでありまして、今回の事變に關聯いたしまして犧牲となつた者又殊勳のあつた者、功勞のあつた者に對して、それ／＼政府としては十分遺憾のない手配を致したいと考へて居る次第であります、此ことは此場合に十分明かに致して置きたいと存じます

蛇角

◇停戰協定後約一年、通車通郵問題、未だ開通せず。
◇北支政權のスロー振り、何處やらの内閣にサモ似たり。
◇サア豫算が通つた、齋藤内閣モウ御用濟み、引込ンだり々々。
◇とカンで見ても相手は不感症、當分晝行燈ですますつもり。
◇隣の座敷に石を投げ込ンだ奴が「その石返して貰ひ度い」
◇北鐵ソ聯機の引渡交渉、斯麼のを日本では圖々しいといふ。
◇中國死刑、同犯・勝美懲役二年ハテナ？

支那側の立場を理解して欲しい
唐有壬次長の時局談

【天津十四日發國通】黄郛氏慰留並びに北支日滿諸懸案の實狀調査のための北上として注目されてゐた外交次長唐有壬氏は十四日午後五時半天津東停車場通過北平に向つたが、車中語る

滿洲國の帝政實施は南京方面に非常な刺戟を與へた、これが日滿支各懸案解決にも大きな影響を與へた事は爭へぬ目下の情勢では通車、通郵問題解決も不可能であらう、元來通車、通郵問題は大したことではなく中央としてはそれが滿洲國承認のやうな形になるのを案じてゐるのだと思ふ、何れにせよ現在の情勢では通車、通郵問題等の解決は至難で出來る事ならやつて行かなくてはなるまいと考へてゐる自分個人の考へとしては北支の諸問題も地方的問題として解決するよりも全體的に日支の交渉問題の中に包含されて行くのが可いのではないかと思ふ

最後に記者が停戰協定成立後一年に垂んとしてゐるのに好轉の聲だけで何等日滿支諸懸案の具體的解決もなく日滿間にもその鈍い歩調に相當不滿の向きもあり、黄郛氏も板挾みの形で、この儘ではどうにもならぬところ迄行つてゐるのだが、右に對する具體的對策は？と突込めば

黄郛氏は來月始め南下の豫定で辭任するやうなことはない、日本側でも少し支那側の立場を理解して、この鈍い歩調を見逃してゐて呉れなければ

と後は言葉を濁した

唐有壬氏北上
黄氏を慰留

【天津十四日發國通】唐有壬氏の北上は北支諸懸案の解決に行詰つて辭意を漏らして居る黄郛氏を慰留すると共に、北支諸懸案解決延引に依る日滿支のピッタリしない關係を打開するにある模樣であるが、その打開策としては通車、通郵問題外の日支間懸案を持出し、これに日滿視野を轉換せしめ以て黄郛氏の立場を緩和しその慰留を計らんとするものと觀らる

舊東北兩軍
南下移駐決定

【天津十五日發國通】東北軍の南下問題は結局第百五師劉多荃に八個團を加へて湖北へ、何柱國軍を河南へ移駐するに決定した模樣、なほ劉軍は近日南下の模樣

小川〇團長着任

【奉天特電十五日發】小川〇兵〇〇團長は十四日午後四時安奉線にて着奉したが、驛頭は軍部各關係者の出迎へあり直に瀋陽館に入り午後十一時四十分發にて新京へ向つた（寫眞は小川少將）

日滿一體となつて時局に善處を切望
西尾新參謀長の挨拶

【新京特電十五日發】新任關東軍西尾參謀長は十四日午後七時半着列車で着任、直にヤマトホテルにおいて菱刈軍司令官に着任申告をなしたが、十五日午前十一時半軍司令部弘報室において在京記者團と會見挨拶をなした

今般私は關東軍參謀長を仰せつけられ昨夜着任しました、明敏練達なる小磯閣下の後を受けたことは身にとり光榮とする所でありますが、私は至つて菲才及ばざることを恐れてゐる、御承知の如く滿洲國はその治安確立し皇軍の武威亦日に揚がつてゐる、特に最近は帝制實施されその國礎日に鞏固を加へつゝあることは洵に同慶に堪へません、私は滿洲事變發生以來内地で滿洲關係の業務に從事してゐたもので、今回滿洲に參つて眼に觸れ耳に入ることに舊知の感がする、さりながら滿洲國内情勢は日に日に進展してゐるから私の如き菲才の者がこの間に善處し得るや否や甚だ懸念してゐる、この上は一に至誠奉公の誠を致すより外ないと思ふ、私は至つて武骨者であるが皆樣方が今日の事態を正しく見正しく社會に報道することは國家社會に偉大なる貢獻をなすことゝ思ふ、將來日滿人何れを問はず日滿一體となつて時局に善處せねばならぬと思ふ、何分の御厚志と御援助を願ふ

なほ午後は新京神社に參拜後、小磯前任參謀長と事務引繼を行つた

田代司令官榮轉

【東京特電十五日發】陸軍の異動は來る四月及び八月の二期において行はれることに内定、その際東京憲兵司令官秦中將は第〇〇師團長となり、その後任には關東軍より田代皖一郎少將が榮轉するとに内定したと

秋山中佐來連

【新京特電十五日發】關東軍第四課長秋山中佐は十五日午前九時發にて赴連したが兩三日滯連の上歸京の豫定

砲艦建造費

【新京特電十五日發】軍政部では參議府の諮詢を經て江防艦隊整備費に要する河用砲艦建造費一百六十八萬二千四百十二圓を限り康德元年度に於て國庫の負擔となるべき契約を大同二年度に於て締ぶことを得るとなり十四日公布した

あめりか丸船客

【門司特電十五日發】十七日大連入港豫定のあめりか丸船客の主なる諸氏
旅順工大教授伊東法俊、理化學研究所員鈴木庸生、滿洲化學工業社員堀省一郎、東拓技師主首藤定、華工會社相生常三郎、海軍々人自神君太郎、舞踊家花柳須磨子、佐藤中尉

扶桑丸

十六日午前八時二十分大連港外着の豫定

中西地方部長上京

奉天において開催された地方委員聯合會に出席中の滿鐵中西地方部長は十五日朝七時四十分列車にて歸社したが内地各都市における施設視察のため十六日出帆ばいかる丸にて上京する

人事

◆中西敏憲氏（滿鐵地方部長）十五日午前七時四十分着列車で歸連
◆伊澤道雄氏（鐵路總局次長）同上來連
◆梶井貞吉氏（關東軍々醫部長）十五日午前九時發列車で北行
◆栗田慶之助氏（同副官）同上
◆嘉悦三穀夫氏（陸軍二等軍醫正）同上

生活の虹 (73)
菊池寛作　志村立美畫

邪魔な助手 (四)

「死んだ！」
子爵は、驚いて叫んだ。
しかし、玉香が、死んでゐるといふことは、意外だつた。しかしそれは問題ではなかつた。探し求めてゐる者は、その娘であつた。
「えゝ。死んだんですつて」
「しかし、その玉香に子供がある筈なんだが、その子供の事を何とも、云つてゐなかつた？」
「そんなこと訊かないわ。だつて貴君はそんな事、何にもおつしやらないんですもの」
と、目の前にゐる若い美しい玉香は云つた。
「ぢや、改めてもう一度、そのおさきさんと云ふ婆あやさんに訊いてくれないか。その玉香の子供はどうしてゐるかつて、またその玉香の親類は、何處にゐるだらうかつて」
「えゝ訊いてあげるわ。その代り一週間に一度ぢや足りないわ」
「おい、君よしてくれ。冗談ぢやないんだよ」
と、子爵が云ふと、玉香は笑ひながら
「私だつて、本氣よ」
「本氣はありがたいが、僕は非常に必要な事があつて、その子供を探してゐるんだ。だから、そんなに僕を困らせないで、盡力してくれ。ほんとに、その子供が見つかつたらそんな約束なんかして置かなくつたつて、僕は君に何んな好意だつて見せるよ」
子爵が、心から眞面目に云つたので、玉香も、にわかにしんみりとして
「さう。それなら、私條件なんかヌキにして一生懸命で調べるわ」
「そのおさきさんに、よく訊いてから、出來るだけ、手段をつくして見たいんだ。しかし、なるべく内證にだよ。何う云ふ人にきけば分るか、おさきさんに、よく訊いてくれないか」
「えゝ。分つたわ。ぢや、私一寸家へ歸つて來るわ。貴君、お急ぎなんでせう」
「うん。昨日云つたやうに、一日も早い方がいゝんだ」
「ぢや、大急ぎで歸つて訊いて來るわ」
玉香は、打つてかはつたやうに眞面目になると、すぐ席を立つて出て行つた。
今迄、自分本位にうごいてゐた玉香が、子爵の眞意を知ると、急に眞面目になつてくれたのが、子爵にはうれしかつた。
二十分位たつて、玉香は大急ぎで歸つて來た。息をはずませながら坐ると
「分つたわ。玉香さんの子供は、女の子ですつて、その子が七つ位のとき迄、時々家へ連れて來てゐた事があるんですつて。とても、綺麗ないゝ、可愛い子なんですつて。その頃は、玉香さんはまだ藝妓をしてゐたんですつて。三十位のときに、身體をこはして、よしたんですつて。親類が、どこに在るか、子供が何うしてゐるか知らないけれども、玉香さんの親友だつた人にきけば分るでせうつて」
「その親友は、どこにゐるんだらう？」
「その方は、この土地で秀葉と云ふ名前で、出てゐた人で、今は櫛橋で花田中と云ふ待合を出してゐるんですつて」
「さうか。ぢや、これからすぐ行かう」
と、子爵が云ふと
「いやだわ。そんな所へいらつしやると、また私のやうな者が、飛び出して來て、お兄さんにお約束なさせると、いやだから、私が行つて訊いて來てあげるわ。あした午前中、きつと行つて來るわ」

勝美に懲役二年 中園に死刑求刑

兒玉事件第三回公判

血に呪はれた邪戀のラスト・シーン中園、勝美の斷罪の日はけふだ、獵奇に光く天下の視聽を浴びて裁きの庭に立つこと前後五回、一介のマドロスボーイが美貌の博士夫人を邪戀に陷れるまでの戀のトリックも多角的な不倫の灼池に身を躍らせた醜惡な男女の正體も、總ての赤裸々な姿となつて嚴正な法のメスにえぐり出された、そして戀は如何に人間を無批判な弱いものにするものか、歪める戀愛が如何に恐ろしき結果を齎すものであるかを、種々な形において社會に教へた——かくて邪戀の二人の罪劫に對する總決算が行はれ樣とする寸前だ、中園勝美兩名はいつもと同じ服裝で出廷、斷罪を前にして心もち亢奮の色を漂はせてゐる、傍聽席は例によつて超滿員、定刻午前九時四十分高井檢察官は打ちしほれた邪戀の男女を前にして左の如く秋霜烈日の論告をなした

【寫眞は論告する高井檢察官】

國家非常時の今日 人心への警告

峻烈な檢察官の論告

公判劈頭、川畑裁判長は大内辯護人の補充訊問の後、事實審理を終つた旨を宣し高井檢察官へ論告を促す、落ちつき拂つた檢察官は法官席に起立し邪戀の二人を前に莊重な語調で論告に入れば、中園、勝美は斷罪の寸前を控へて神妙に耳を傾け、傍聽席また水を打つた如く靜かだ

本件に就き當職の意見を陳述する範圍は被告に對する公訴事實これに對する法律適用の二點である、犯罪事實は被告兩名共に大體に於て認めてゐるから多く云ふべきことはないので省略する、しかしながら檢事及び裁判官は啻に本件を以て法律秩序の維持を保つといふ事實にのみ止まらず國家非常時の際、やゝもすれば社會の風潮輕薄に流れ、人心は身の上下を問はず、男女の別なく堅實の風漸く地を拂ひ、廢頽的氣分滔々としてみなぎりつゝある今日、世の戒め、人心への警告のため論ずべき案件であると信ずるが故に事實について被告人等の當公判廷における陳述で足らざる點を補正し、相違せる點を立證し以て事案の內容を鮮明にして法律の適用及び結論に入らんとするものである

と前提し先づ公訴事實の內容たる中園が勝美の女學生時代の初戀の男に化けて誘惑し、博士夫人たりし勝美を多角的な邪戀の灼池に躍らしめ遂に青柳眞殺害に至るまでの愛欲世界に描かれた慘劇經過を詳論しこの間被告兩名の佐藤三輪子、青柳眞の謀殺計畫、嫉妬に燃ゆる中園の勝美虐待の場合、その揚句勝美が死産兒を流産したといふ中園傷害の筈等に、理論的説明を加へて傍聽者に新らたなる戰慄を覺えさせた

情狀酌量の餘地がない中園

檢察官の論告は熱を帶び凄味を加へて來ると中園はいつもの如く細く慄へつゝ、顔を低く垂れてゆく——中園の當法廷における陳述は大體において犯罪構成事實はこれを自白してゐるがその情狀に關する點、犯罪の道程における被告の行動に對しては遺憾ながら寸毫の同情も寄せることは出來ない、卽ち被告の陳述中、犯意を否認し若しくは矛盾撞着も甚だしき點に就き以下順を追うて證據説明をしたい

一、中園の心臟にチクリと針を刺した中園は勝美の初戀の男川崎秀雄を裝ひその魔手を伸したこと

二、被害者青柳眞に再三再四無名で電話又は手紙で脅迫してゐたこと

三、佐藤三輪子及び青柳眞兩名を殺害する目的でバット、短刀を博士邸に用意したこと

四、勝美の死產且流產は中園の暴行虐待の結果であること

五、兇行直前兒玉博士に勝美と青柳の醜關係を暴露したのは勝美を離婚させる目的であつたこと

六、兇行當夜青柳と滿電バスで偶然會つたといつてゐるが計畫的に尾行してゐたこと

七、兇行當夜博士を殺人共犯に捲き込まんと出鱈目な陳述をしてゐること

右七點につきいちいち證據を擧げ法廷に於ける中園の陳述を完膚なきまでに反駁を加へて流石の中園を顔色なからしめた

かくて檢察官は更に語をついて「幾多の明白な證據により辯護の餘地ない、卽ち檢察局では自己單獨の爲に述べた事を當法廷では言を左右に託し或ひは疑ひを抱かしめるが如き供述をした、溺れるものは藁をも摑むの例に洩れぬ被告の心理としては或ひは無理からぬ事かも知れぬが、むしろ情狀の爲に悲しむべき事である」と切り結論に移る——

以上のことによつて本件起訴事實はその罪證極めて明白であると論じてこゝに至る本件事實を法律に適用すれば被告人中園秀雄が佐藤三輪子、青柳眞兩名を殺害せんとして野球用のバットを用意しかれて所持の匕首と共に兒玉博士方に持參し被告人勝美をして保管せしめ同人をして佐藤等を呼び出さしめたこと、及び被告人勝美が中園の計畫に參じ同人が右の如く持參した右二種の兇器を預りこれを自宅炊事場に隱匿し更に三輪子を呼び出し電話を掛けたことは刑法二百一條の殺人豫備罪に該當、中園はその後青柳を殺害してゐるが故に佐藤三輪子に對してのみ殺人豫備罪、青柳の殺人豫備罪が成立し、中園が妊娠中の被告人勝美を毆打外傷をさせ死產せしめたるは刑法二百四條の傷害罪、秀雄が青柳を殺害したのは刑法百九十九條の殺人罪、更に死體をトランクにつめて橫山キミ子方床下に埋めた事及び勝美が死體處分方に秀雄と共謀し、女中を連れ出した點は夫々刑法百九十條の死體遺棄罪を構成、勝美が青柳の財布名刺入れ並に中園の血潮のワイシヤツを始末したるはいづれも刑法百四條の證憑湮滅罪に該當するものである、

こゝに一言附加したいのは勝美の行爲がいづれも共同正犯にして從犯でない事である、論旨は或は殺人豫備の點について被告勝美が直接手を下し佐藤等を殺害せんとしたものに非ざるを以て從犯ならずやと云ふ向もあらんもそれは誤謬も甚しい、卽ち共同正犯は必ずしも犯罪の實行行爲全部に加はらなくてもその一部を擔當するも共同正犯たる事申すまでもない

と傷遺棄務行使に關し適切なる例證をあげ勝美が自白した私も中園や兒玉と相談して女中がゐれば發見される恐れがあるので一役を買つて出て女中に見せない樣に連れ出したんだ

勝美は共同正犯

且つ婦道の反逆破壞者

その點を述べて勝美を共同正犯とした理由を明かにする、そして被告人勝美の敢行した犯罪事實そのものについて形式的な皮相の感を抱くものは勝美に比し博士のそれに比べて輕きに失すると云ふ向もあるだらうとその點に對して勝美の立場と本件との關係を述べる

世人羨望の的たる博士夫人の身でありながらその身を持すること能はず愛慾の虜となり一面識の中園、一介の書生の青柳に更に學生時代に處女を失つたなぞは以つての外で勝美こそ夫婦生活への挑戰であり更に家庭生活への反逆であり更に家族制度と婦人貞節道德の破壞者である、道義上斷じて許すべからざるものである、女性弱しといふも女は貞操には強きといたすは我日本婦人の誇りとするところである、夫兒玉博士が典型的な學者として或ひは勝美の當法廷で述べた供述によつても知れる如くあきたらぬ點があつたにせよ滿洲チフス病原體の發見につゞいて豫防法の研究にある夫に對しあゝした全く被告の一存より起きた事件の渦中に陷し入れた罪は大きい、學究者として研究以外何ものもなく一路研究に邁進して俗事に關して口は利きたくない見たくない溺れたくないの主義を力めて實行しつゝあつた事はこれは一人兒玉誠のみならず他の學究者にもしばしば見る事例であるがかくの如き夫を持ちたる妻はその境遇になじみ夫を理解し夫に同化し夫を助け家庭を守るべきである　これこそ卽ち世の常の妻で夫をその道に精進せしむるそれ自體自ら幸福を感ずべきである、しかるに被告勝美の態度はどうであつたか、卽ち前述の如く己れの不始末について家庭內において殺人事件を惹起せしめこれが一朝公になるにおいては直ちに家庭內の不始末な暴露し延ひてはその地位と名譽を空しくするのみならず全精神を傾倒して目下研究の途上にある仕事にまで一頓挫來さんことは火を睹るより明かである、人好しである所から中園の犯行を隱蔽せんとするに至つたのであらうが同人にして見れば勝美中園の罪の爲におのれの生涯を水泡に歸せしめる事の殘念さは特に同人にとり憐愍に値すべきである、卽ち被告勝美は右の夫をしてさせずおのれの不始末より之の夫を本件に卷き込んだのである、しかも勝美にして日本婦人としての恥と夫に對する貞操を多少でも辨へてゐるならば本件發生前に夫に謝すべきであるし罪を直に夫に謝してゐたら被告中園秀雄としては一言も發するの餘地が無かつたであらうと假借なく論旨を進め最後に事件後中園と手を携へ內地へ逃避行をなして世間を騷がせ、夫に對しては精神的にとゞめをさしたは滿洲女性否日本女性の品位と貞操を冒瀆するものである自己の不貞亂倫の結果夫をしてのぶべからざる不利益な深淵に突き落した責任は當然勝美が負ふべきである、卽ち勝美に對する科刑にして愼重ならずんば世上人心に及ぼす影響は計り知れぬものがある

最後に兒玉博士を刑事政策上檢察局にて起訴猶豫の恩典に浴せしめた理由について述べ、つゞいて中園の情狀論に移る

社會より葬るべき 極惡罪人中園

勝美にも意外の重刑

中園の兇惡な性格が生んだ犯行に對して高井檢察官は峻烈な批評を加へつゝ漸次情狀論を進め最後に兇行當夜もし兒玉誠が制止しなかつたならば被告は必ずや罪なき女中馬場ウメ及び滿鮮お駒こと橫山キミをも殺害してゐたに相違ない、一件記錄を通じて見るも兒玉の人格は何んと人間愛のひらめきであるではないか、被告中園は青柳、佐藤、橫山、馬場と自己の周圍で不利な人物は全部殺害せんと企てた恐るべき殺人魔である、更に勝美を流產させた點を法律的に見る時胎兒は獨立した人格を備へた人間でなく母體たる勝美の身體の一部であるが故に死に至るとも殺人の責任はないがこれを生理的に又道德的に觀察する場合、許すべからざる罪惡である、殊に當時勝美の妊娠は夫誠の胤であつたと想像される、百歩を讓つて青柳の胤であつたとしても被告の行爲は斷じて許容さるべきではない、被告は自身に不利な存在を一切否定しようとした、青柳殺害のみで滿足せず總ての存在を否定したその意圖たるや兇惡恐るべきものがある、被告の行爲を詳細に檢討するなれば吾人の常識を以つて肯定し得ざるものゝみである、如何なる犯罪、如何なる犯人といへどもこれを些細に觀察する時、幾分の同情の餘地を發見し得るものである、然るに被告中園の行爲は不幸にして一點同情すべき餘地を見出し難いのみならず人間性のなしあたはざる兇惡な犯行を平氣で敢行した、斯の如き鬼畜に等しき惡性を有するものは吾人人類と共同生活を許すべきにあらず社會よりその存在を無からしめ以て人類の平和、社會の秩序を維持すべき必要がある

懲役二年　藤森勝美（二九）
原籍　長野縣南安曇郡豐科村
當時住所　大連市聖德街卅五番地
起訴罪名　殺人豫備、證據湮滅、死體遺棄

死刑　中園秀雄（三六）
原籍　鹿兒島縣薩摩郡下甑村
當時住所　大連市連鎖街吉野アパート
起訴罪名　殺人、殺人豫備、傷害死體遺棄

と火の如き峻烈な論告の下に右の如く中園に對して極刑、勝美に對し意外の重刑を求刑した、この瞬間中園の顔色蒼白となり、今日まで死刑だけを脱れん爲めあらゆる重點で犯意を否認し續けて來た彼に取つては正に靑天の霹靂たるものであらう、勝美も意外の感に打たれて涙ぐみ、一時三十分休憩が宣せられると同時に法院地下留置場に引かれて行つた、午後二時三十分から長尾辯護人の辯論に入り、田村、大内辯護人の辯論は十六日午前十時からである

大典映畫を紐育倫敦で上映

パラマウントが成功

【新京十五日發國通】滿洲國曠古の大典の盛儀を全世界に報道公開するため米國より特派されたパラマウント撮影班主任ラッカー氏はニューヨーク本社より十三日ニューヨーク並にロンドンにおいて同時に大典フイルムを公開した旨通知を受けこの慶びを滿洲國政府に齎した

右フイルムは三月二日午後三時二十分橫濱に送りエンプレス・オブ・エシア號が同日三時橫濱を出發したゝめスピードボードで追ひかけ聯絡をとりシヤトルからニューヨーク迄空輸十三日ニューヨークを中心として米國で公開されたものである

主人は行方不明 燒跡に男女死體

北安鎭齒科醫院怪火

【北安鎭十四日發國通】十三日午前六時二十分當地東二道街齒科醫者多田方より出火同家一戶を全燒七時半鎭火したが燒跡に何者とも判明のつかぬ男女の燒死體あり又多田氏の行方全く不明の點よりみて何等かの事情が伏在するに非ずやと觀られてをり目下死體の身元出火の原因等につき取調中である

滿洲國陸上選手

大連で合宿して練習

滿洲國體育協會では既報の如く國際運動競技界へ進出する目的を以て陸上競技、排球、籠球、蹴球の諸選手を大連に合宿せしめ合同練習を行はしめんとする計畫を立て居たがその第一陣として十五日午前七時着列車で千滿滑主將以下十五名の陸上選手が先着の酒井監督以下滿洲國側運動關係者多數の出迎へを受けて着連直に寺內通り三一の裕長樓に投じたが一行は二十日間の豫定で大連運動場に於て午後三時頃より連日練習を行ふ由（寫眞は一行）

突發的事故か 遭難の原因

生存者は全部非番

【佐世保十五日發國通】友鶴遭難救出作業に關し各方面からの情報を綜合するに顛覆當時ハッチを締める暇もなかつたらしく開放されたハッチから浸水してゐた、ドックに入れる際マストや煙突を切斷して入渠したが、艦長室は押しつぶされてゐた入渠してから浸水排出に約二時間を要し、艦體の安全を保たしめるに非常な骨を折り十四日午前二時に至り漸く入渠作業に移る事が出來た、元來水雷艇は四分の三が部署につき殘餘の四分の一が非番にあるのだが今回の如き荒天の際は多少部署についたものが多かつたとも思はれる兵員室は前部と後部にあり前部の兵員室は浸水甚だしく今度救助された十三名も後部兵員室にあつた非番のものであつた、艦內には機械類が散亂して重油が夥しく流れ出て死體の搬出には最も困難を極めた原因ははつきりしないが姉妹艦千鳥が無事であつた點から見て何か突發的事故が發生したのではないかと思はれる

行方不明は卅一名

艇內死體二個

【佐世保十五日發國通】十四日午後八時半迄の死體收容は六十七に達し尚二名の死體が艇內に認められるが、機關室と兵員室との間の狹い區間にあり救出作業困難にて收容に至らず、この外には死體はないものと推定され六十九名死亡十三名生存と合せ八十二名の生死が確められ行方不明三十一名となつて居る遭難者階級別左の如し

▲死亡　士官二名、准士官二名、下士官十四名、兵四十九名、計六十七名
▲生存　下士官一名、兵十二名、計十三名
▲行方不明　士官一名、准士官一名、下士官十一名、兵二十名、計三十三名

なほ艇內にある死體二個は行方不明と加算されてゐる

死體を切り刻んで 全市にバラ撒く

哈市にバラバラ事件

【ハルビン特電十五日發】玉の井のバラバラ事件に輪をかけた樣な殘忍な死體が發見されてハルビン市民を戰慄させてゐる、松花江の氷上で滿數徒がいとも莊嚴な洗禮祭を行つた氷の十字架附近で去る十日手足のない露人とも滿人ともつかぬ裸の死體が發見され十一日にその片足が一里も離れた新市街放送局附近で發見され奇怪な事件とされてゐたが十二日に氷の十字架から程遠からぬ汲井戶（氷を割つて河の水を取る井戶）附近に殺人現場らしい生々しい血汐と血痕の跡青天白日旗が捨てゝあつた、益々謎の樣な事件として流言が亂れ飛んだが十三日正午頃一ロシア人が又々新市街ナウリン商會前で股丈の足を拾つて驅けて來たところが同日松花江の稍上流の氷上に今度は內臟丈取出して捨てゝあるのを發見した、バラバラ氏の身元も犯人の手掛かりも皆目解らないが醫師の檢案に依ると死後鋸で切り離んだもので殆どハルビン全市にバラ撒かれた譯である

營盤附近で列車爆破

乘客、警乘員十二名卽死

【ハルビン十五日發國通】當地に達した情報によれば十四日午前十一時四十分頃濱海線營盤驛附近に於て共產黨員のため列車爆破され乘客十名、ロシア人警乘員二名卽死した

中等校出の採用試驗

社員俱樂部で

滿鐵の中等學校卒業生採用試驗は十五日午前八時より大連滿鐵社員俱樂部に於いて行はれたが、受驗者は左記のごとく百九十七名で、同日は適性および作文「滿洲の將來」の試驗あり、十六日は引續き口答試問がある筈（寫眞は試驗場）

▲中學（一一七名）大連一中一九、大連二中一七、旅順中學五、鞍山中學六、奉天中學三、安東中學七、撫順中學五、新義州中學四、朝鮮一、內地中學五〇▲商業（六六名）大連商業二八、新京商業六、內地商業二〇、朝鮮商業一二▲工業（六名）▲農業（八名）

大商見學團

【京都十五日發國通】大連商業旅行團は十三日神戶上陸後直ちに京都に入り卽日嵐山の景色を賞し十四日は市內名所舊蹟を訪れて昔を偲び、十五日は更に桃山陵に參拜して國民精神を作興し次いで御所を拜觀して國體觀念の涵養に資するところ多かつた、なほ一行は十六日京都出發奈良に向ふ豫定である

ばんぎや開店

長年宅の店に在勤せし齋藤麟太郎氏は先般退店し十六日より大山通り三越前に東京風生干菓子、洋菓子專門店を屋號ばんぎやで開店する

天氣予報

十六日　北西の風晴時々曇

各地溫度（十五日）

	午前五時	午前十一時
大連	零下五	零下四
旅順	同五	同四
營口	同七	同三
奉天	同九	同四
新京	同一二	同六
新義州	同四	同二

今日の小洋相場（十一時半）　金百圓につき百十七圓六十錢

新講談

丹下左膳 (46)

林不忘作　小田富彌畫

火吹紅竹 (七)

苦笑をつゞけた左膳、なほも心中にひとり言を繰りかへして、

「お前が死んで、そのおかげで萩乃を貰ふなんてのは、どう考へてもおらア虫が好かねえ。なあおい伊賀のあばれん坊ッ！おれの手にかゝつて生きのいゝ血を噴くまで後生だから生きてゐてくれよ。お前の命は、この濡れ燕が預かつてるんだぜ。それまでア大事な身體だ。粗末にするなよ」

劍につながる、一種の殺伐な友情さもいふべきか、敵味方を超越した不思議な感慨が、こんこんさして泉のごとく、左膳の心に……。

「あの源三郎を殺つつけるこさの出來るやつあ、このおいらのほかにやアれえ筈だ」

しばらく考へたのち、やつさ安心した體で、

「あの源三が死んだなど、、茶羅つぽこにきまつてらあナ」

中國か、山陰か、甲州路か。それとも北海道？滿洲？ナニ、そんなところの筈はないが、江戸でないことだけは確です。

どこであつても左膳は、これからすぐ飛ごしちへ、濡れつばめたせ供に、可愛いチョビ安の手を引いて、發足する氣でゐるんだ。

左手が、一番上の風呂敷にかゝつた。ばらり、結び目がほごける

何時の世、いづくの世界でも、人をして眞劍ならしむる我利物慾……その途方もない莫大な財產が人に知られず何處かの地中に眠つてゐる。おまけに、今それには、柳生一藩の生死浮沈がかゝり、この江戸だけでも、何十人さいふ人間が、眼の色變へてこの壺を、いや、壺の中の秘圖を必死に狙つてゐるのだ。

古今を貫ぬく黃金の力——劍魔左膳の一眼に、異樣な光が點じられた。

柳生の先祖の封じ込めた埋寶個處は、いまその左膳の左眼に讀み取られようさ、壺の中で早く早くさ、聲なく焦つてゐるやうに感じられる。

夜の引き明け前には。

一度、深夜よりも森沈さ、暗く物凄く、夜氣の凝る一刻があるさいふ。

今がそれだ。

氣を詰め、呼吸を彈ませて、箱から壺を取り出す左膳の横顏に、魔のごさき鬼氣が澱んで、黒く澱んで見えるのは、眉から口へかけ

あたまの中で、大聲に呶鳴つた左膳。

「さにかく手紙は立派に——あんまり立派でもないが……書けたんですから、明るくなるのを待つて角のポストへ入れに行かうさ——イヤ、ポストぢやない。チョビ安を叩き起して、妻戀坂へ持たしてやらうさ、左膳はありあけ行燈の灯かげに、ニツさほくそ笑んだ。

そして。

天井まで屆けさ、ニユツさ兩手を突き上げて、大きな欠伸をしました。オツト、ひだり手だけですた左膳に兩手があつちやア話は滅茶々々だ。

それにしても。

人が兩手を突つ張つてあくびするところを、片手でやるんですから、何だか信號のやうで、變な欠伸の恰好だ。

そんなこさは何うでもいゝ。さて——。

これからソロくこけ猿の茶壺を開けにかゝらう……さ、左膳は舌なめずりをして、横に置いてある壺のはうへ、膝を向け直しました。

いよいよ壺の秘密が明白へ——數百年を經た地圖には、果して何處に財寶が埋めてあるさ書いてあるだらう？

◇◇武道大鑑◇◇　山手樹一郎の原作「一年餘日」の改題映畫で久振りに千惠藏映畫らしい風貌を備へた作品として好評を博してゐる伊丹萬作監督片岡千惠藏主演の時代劇で相手女優は山田五十鈴、スチールは千惠藏の小栗弓之助（次週日活館上映）

エノケン映畫　愈よＰＣＬで

人氣者エノケン榎本健一がＰ・ＣＬで撮る第一回主演映畫は「エノケンの醉虎傳」と決定、日活からＰ・Ｃ・Ｌへ入社した山本嘉次郎監督が唐澤弘光技師のキヤメラで撮影を開始した

脚本はＰ・Ｃ・Ｌ、エノケン兩文藝部合作で音樂（紙恭輔）錄音（市川綱二）助演者は二村定一、柳田貞一、如月寛、武智豐子、千川輝美、彌生ひばり、永井智子、花島喜代子、高清子、中村是好等ピエル・ブリアント一座及びＰ・Ｃ・Ｌ專屬スタア藤原釜足、堤眞佐子、丸山定夫等である

笑友會淨瑠璃會

笑友會の春期淨瑠璃會十六、十七の兩日午後六時より沙河口倶樂部において開催、大連より團子、時勢等も出演するさ

うわさ話

帝國館では發聲再生機を裝置することになり愈々ニプトン再生機を据つけ中であるが▲十七日から「タイガーシャーク」と「只野凡兒」の混合プロで發聲興行の蓋をあけ▲二十一日からは第二回として「海の生命線」と「ほろよひ人生」の日本物全プロを組み▲今後は階下二十錢で特作品の再映發聲興行に主力を注ぎ實館との正面衝突から方向轉換する▲十四日歸連した南中央映畫館主が「各社さくら音頭競演集」といふのを東京で手に入れて來たが、之は各社の「さくら音頭」のスナップを集めたもの▲日活の「ニッポンさくら音頭」に特別出演するポリドールの喜代三は松竹の「薩摩心中」にも出演し流行歌「鹿兒島小原節」を獨唱する▲松竹の「さくら音頭」は音樂監督に堀田敬三氏を招き蒲田音樂部コロムビアが合同して音樂的内容に力點を置いたトーキーを製作することになつた

日英會商決裂經緯

會商決裂後の英國どんな態度に出る？

戒心の要はあるが我方は惧れない　わが朝野關係者の觀測

【東京特電十五日發】日英會商決裂の結果今後の日英通商關係如何といふに英國は必ずやあらゆる手段を弄し、全英帝國は勿論その勢力範圍にある諸國をも動員して日本品總排斥の擧に出て來ることは豫め覺悟せねばならない、差當り棉業に及ぼす影響はたゞひ日英通商條約を廢棄しても棉業の根本は動搖しない

何故　なら、印度は既に日印協定が成立してをり、對印輸出には、影響なく印度を除く英國屬領自治領を除いた第三國市場における日英綿布競爭は斷然日本が優勢である、卽ち昨年における第三國への輸出は英國八億七千萬平方ヤード、日本十四億三千萬平方ヤードで英國が日本に及ばざること實に五億六千萬平方ヤード、しかも英國の減退傾向あるに對し日本は增加傾向にある、かく日英通商條約が廢棄されて最惡の場合に陷つても第三國への輸出が全く停止することはない次に全英帝國貿易についてみるに、一部悲觀論者は日英通商條約廢棄をひたすら恐れわが國と全英帝國との

通商　關係はわが國が先方に對して賣るよりも多くわが國が買つてゐる、日本は全英帝國の顧客で昭和八年には八千九百三十二萬六千圓の輸入超過を示してゐる日本がカナダの小麥を買はなくなつたらどうする、濠洲羊毛の輸入を減らしたら如何、算盤高い英國人がかくの如き明らかなことを見透し得ぬ筈はない、依つて英國としても損を見越してまで日英通商條約を廢棄せぬであらうが、何等かの報復手段を講ずることは免れぬものと豫期しなければならぬ

到着以來我綿業の正當なる努力發展に對する認識を廣めるために努めた、然るに正式會商を開始するや、英國代表は日本綿布及人絹布の輸出增加は通商の安定に害ありとし世界各市場に對する日本の輸出を一方的に制限し英國の輸出には何等の制限を附せず自由となすべきことを提議した、我々は斯る要求に對してその不當なる所以を力說し日本は數ケ國と直接交涉を開始せる事實を擧げて第三國市場及關稅自主權を有する自治領はこれを協議外とすべく、從つて實施可能なる英國及各屬領に就いて協定に應ずべきを主張した、以上の如く日英双方の主張に懸隔あり、一致を見ることは不可能なる事實を見て日英兩國政府當局が斡旋を爲し、その結果英國代表は再考の上新提案を爲して日本の同意を求めた、併し右提案は單に說明の樣式を改めただけで、その實質に變更なく依然として日本の輸出を一方的に制限しその販路を放棄することを要求するものであつて日本の同意し得ざるは自明の理である、滯英茲に六ケ月餘その間我々は終始協調の精神を以て交涉を繼續したに拘らず、日本綿布の海外における販路の大部分を放棄せよといふ如き理不盡なる要求を强ひられるに至つたのは實に意外とするところである

兩者主張對立

妥協の餘地がなかつた　かくて日英會商は決裂した

【ロンドン十四日發國通】日英通商協議會第六次會商は午前十時半より商務會議室で開會、日英兩代表部殆ど全員出席の下に審議を開始し、劈頭岡田首席代表からランカシヤ綿業團の新覺書に對し日本代表部の回答を手交した、それより應酬三十分の後日英代表部は各々別室に退き更に熟議を遂げたが、午後零時二十分會議續行の結果市場範圍その他につき日英兩代表部の見解は完全に對立し、到底妥協の餘地がないと云ふに意見一致し今後審議を續行せず懸案一切をあげて日英兩國政府に移管することゝなつた、斯くて日英通商協議會は何等の成果を得ることなく開會以來前後僅かに一ケ月正式會商六回の後遂に決裂するに至つた

全問題は政府へ

英當業者の意向

【ロンドン十五日發國通】昨日午前十時三十五分より開會の日英會商は一旦休憩後午後零時二十分再開約四十分協議したが、結局双方一歩も主張を枉げず茲に協議は決裂し、午後一時暫定的休會の形式にて散會となつた、散會直後ランカシア側は全問題を政府に附託することを聲明した、なほ暫定的休會の語を用ひてゐるが永久的決裂を意味するものと觀られる

日本代表部

重要聲明發表

【ロンドン十四日發國通】第六次日英會商後日本代表部は日英通商協議會決裂の經過につき大要左の如き重要聲明を發表した

日英會商は遂に決裂を見た、我々日本代表は昨年九月ロンドンに

內地の檢査權を海務協會にも

海運聯合會から請願

從來關東州置籍船の內地における船舶檢査は民間事業助成の趣旨から大連海務協會の檢査員をして行はしめ、次いで帝國海事協會が創立されるや遞信省當局においてもこれを認めたので同協會を擁護してこれが檢査權を認めたものであつた、然るに本年二月一日船舶安全法が實施されてから該檢査は前記帝國海事協會のみに認められんとする形勢にあるが、大連海運業聯合會では帝國海事協會は技術者のみによつて組織せられ居る關係上、その運用に遺憾の點尠からざる點あるに鑑み從來通り大連海務協會にも檢査權を認められたしと近く關東廳に對して請願書を提出する筈である、しかして右に關する諸般の實情を檢討するため數日中に關係方面の參集を求め座談會を開く模樣である

三取引所の廢止は既定方針の斷行

回顧さる、當年の殷盛

新京、奉天の存續は特殊理由

開原、四平街、公主嶺の三取引所は遂に今月二十日かぎり廢止され從つてその淸算機關たる三取引所信託も近く夫々解散することになつた、事變後特務部や經濟調査會內には早くよりこの意見が有力となり、いづれは時期の問題と見られて居たから落ちつく運命に落ち着いたものといへるが、しかし歐洲大戰當時の滿洲景氣の中に非常な人氣を以て設立された取引所が（最も開原は少し早かつた）取引皆無で果敢なき終りを告げる事になつた事は、昨今再び滿洲景氣の春が回り來つた時だけに色々考へさせられるものがある

滿洲に　取引所が出來たのは大正二年で大連重要物產取引所を嚆矢とする、その成績が良好であつた奧地の大特產集散地たる長春及び開原にも設くべしとの議が起きたのが大正四年で、同年二月開原に、更に四月長春にそれ〴〵大連と同樣に官營取引所をその淸算擔保機關たる取引所信託會社が設立された、その後歐洲大戰起るに及び、滿洲の經濟界も飛躍的な進步を遂げ、滿鐵だけの特產輸送數量も次表の如くどん〳〵伸びて行つた

大正二年	一、一一四千噸
大正四年	一、四〇八
大正六年	二、〇四九
大正八年	三、一一一

卽ち僅か六年間に三倍の出廻りを見たわけで、こゝに沿線各地に取引所設置運動が猛然と起り、大正八年中に公主嶺、四平街および鐵嶺が、九年中に遼陽、奉天および營口が夫々開設された、この當時の滿洲景氣は嘘のやうな事實で、前記九官營取引所の他に

民營の　取引所又は取引所類似機關がそれこそ流れに浮ぶ「うたかた」のやうに生れて來た

大正八年に認可された大連株式商品取引所をはじめ、後に滿洲取引所と改稱した奉天信託會社、又現在の安東取引所の前身たる安東證券商品信託公司、オローラのやうに出現したハルビン取引所、さては營口、開原、鐵嶺、鞍山、奉天に設立された取引所類似の株式會社など、かれこれ二十以上の取引所が滿洲に存在することゝなつたかゝる無統制の取引所泡沫景氣が永續する筈なく大正十一、二年ごろからバタ〳〵倒れ出し、官營取引所の中でも鐵嶺、遼陽および營口の三箇所は大正十三年に早くも閉鎖され、民營の取引所類似機關は殆ど總倒れとなつた、かくて事變前までの取引所は

▲官營―大連、奉天、開原、四平街、公主嶺、長春
▲民營―大連株式商品、安東、滿洲（奉天）

の九箇所となつてゐたが、今度の三取引所の廢止により結局今後は官營三、民營三の三取引所となつたわけである、開業以來の三取引所の

業績を　遡つて見ると如何に線香煙花のやうな試みであつたかが判る、卽ち最も堅實だつた開原は大正五年大豆三萬五千車から漸次せり上り、一進一退しながら遂に昭和二年の二十萬七千車といふ驚異的數字を示したが、その後は激落する一方で昭和五年には二萬八千車、六年には一萬二千車、七年以來は出來不申となつて居る四平街も昭和二年の二萬車、公主嶺も同年の九萬車を頂點として昭和七年度、八年度の出來不申まで急角度の下降線をグラフの上に記してゐる、かゝる悲境の原因は特產そのものが世界的不況の中に翻弄された事による事は固よりだが根本の原因は沿線取引所が大連市場のいはゆる「寫眞取引所」に過ぎず、大連に取引が集中する事は

自然の　勢ひであつたからである、よつて特務部および經濟調査會に於いては大連およびハルピンの兩取引所を殘して全沿線の取引所を廢止すべしとの議論が相當强く主張されたが今度の整理で奉天と新京が殘されたのは前者は錢鈔に於いて多少の賑があるのと、滿洲國の首都だからその體面上から存置することになつたわけで、兩者とも現在の悲況が繼續されれば、いづれは廢止の運命を免れまいとの豫想される

大連市場の特殊性と現在市場の缺陷 (三)

大野勇

各方面の不滿

一、「設備の不完全」については何れの方面でも最大の缺陷とされてゐる

二、「荷主側の不滿」は市場相場の乱高下で奧地に比して取引上利便多く利用したいは山々だが現狀では逆も安心して送荷出來ぬ

三、「運送その他中繼取扱者側」では荷主の意思により奧地送りを取扱ふのに對し違反行爲者を以て臨まれ甚へ縋き苦痛だとする

四、「仲買人の側」では荷受販賣の權利を市に提供したが、本來問屋業（日本人を主とす）で來た以上、仲買業では奧地轉送にも甘味なく商取引は漸次不況を加へ行き困つたものだと意氣昂らず

五、「開設者並に多くの市民側」には市場の目の前を素通りする貨物に未練が多く市場繁榮の爲にも市場取引の集中化を圖るべしとする者と通過貨物に眼を閉ぢて消費市場として堅實に守ればよいとするものとの兩說がある

以上に對し短評を試むれば
一、誰にも問題はない
二、荷主側にして見れば尤もながら、之には矯正の方法も充分ある
三、新制度に伴ふ一時的の現象でどこの市場にもあることである
四、要するに愚痴だが、この愚痴は實に市場の癌である、大処一番の奮發を要する、去る頃設定された仲買獎勵金制度も要はこの必要から出發してゐる
五、については今少しく所說を明にして批判に移る
イ、消費市場に限局する說自由港の本質と奧地の關門たる

消費市場か中繼市場か

右に對する私の意見は左の通り
一、實際上どこまでが消費市場でどこからが中繼市場であるかの區別も容易でなく、消費、中繼それ〴〵に限局せんとするは空論である
二、大連市場は其本質に於て消費市場であるから中繼市場となり中繼市場であるから消費市場として發展する所の相互依存の關係にあり「市場の複本位」が其本質である
三、奧地の消費と大連の消費とが連接して前に大消費地帶が構成せられ、この消費地帶の有する力の及ぶ範圍として大連の關門として貨物を呼んでゐる
四、例へば大連は流の側にある大きな入江である、水はこの入江を滿してから流れて出る、入江の水位が低ければ流入が多く水位が高ければ流入は少い如くこの入江と交渉を持たずに流れるものでない、大連市場が恰もそれで奧地滿洲に流れる貨物はこの市場と交渉なしには送られるものではない
五、事實大連市場の相場が滿洲の關門相場として重用され問屋仕切の如きもこれを標準とされてをり、荷主が亂高下に苦惱することも大連市場を利用した生一杯の要求である
六、然し流の側の入江そのものに

ロ、中繼本位の市場とする說本市場を繁榮せしむる策案は中繼市場の外にはない、それが同時に大連市の繁昌である、荷主の意向としても出來るだけ本市場にその荷捌を希望し、又事實上にも大連關係の商人の介在によつて奧地發送が取扱はれてゐるにも拘らず市場取引の集中せざるは市場の制度をはじめ施設經營に缺陷があるからであるとなす說

に鑑みる時は奧地への通過發送は當然にして本市場を經由せしめんとすることが無理だとする說

軍需品工場の高率配當嚴重取締

【東京特電十五日發】陸軍當局が過般調査せし處によれば、民間側十五大軍需品工場の利益配當平均は六分で、一般に非難されてゐた暴利の點は認められなかつたが、明年度豫算實施に當つては單價を更に幾分切下げると共に現狀は今後數年間續く見込であるため高率配當の取締を嚴に監督する方針に決定した

北鐵の輸送成績前年の二割五分

依然出廻不振の北滿特產

【新京特電十五日發】世界的不況と銀高の影響で北滿の特產出廻りは依然不振の一途を辿り、二月末に於ける北鐵の

東部線	三七、四九五	
南部線	二九、〇二七	
齊克線	四二、〇九一	
呼海線	六六、一七五	
松花江	[illegible]	

南洋華僑衰退

土着人の發展と資金の缺乏とから

南京政府委員派遣調査

最近當地某所着情報によれば南洋に於ける華僑は經濟的に非常なる衰退を來してゐると云はれてゐる現在は馬來半島、シャム、ジャバスマトラ等に在住する華僑は約五百萬と云はれ、シャムに於てはその商權の殆ど凡てを掌握してゐると稱せられてゐるが、最近その衰微甚だしきため南京政府もこれを憂慮し、委員を特派してこの原因を硏究せしめたが、最近南京に歸來せる委員何炳賢の報告によれば

一、華僑自身による有力なる銀行並びに資本がないこと
二、もと〳〵華僑はコンミッションマーチャントなるも最近土人の智識が向上し日本人、外國人と華僑の介在なくして商取引をなし得る樣になつたこと、而も支那本土の日貨排斥に刺戟され昂奮して華僑が日本商品を取扱はなくなつたゝめ、土人は競つて直接取引にて品質優良廉價なる日本品の購入をし始めたため華僑の立場が失はれたこと
三、現在支那の南洋貿易は中支（上海）中心なるに拘らず、華僑は南支出身にて本國の經濟的事情に通ぜざること

等を擧げて居るが、特に何炳賢は日貨排斥による支那の南洋貿易の衰退を華僑沒落の重大原因として指してゐることは注目すべきことである

黃塵

南滿糖

市況（十五日）

特產　南支筋買り大豆軟調

株式

新東、日產低落　當市軟調

錢鈔

材料乏しく鈔票弱保合

商品

綿糸變らず麻袋漸落

現物前場

定期前場（單位錢）

上海爲替情報

上海標金

手形交換高（十五日）

爲替相場

鮮銀

奧地相場

錢鈔

各地特產發送高

大連埠頭到着高

大阪株式

大阪期米

神戶期米

東京期米

東京株式

橫濱生糸

印度麻袋

大阪綿花

大阪綿糸

棉花

銀塊及爲替

市場電報（十五日）

株　水越株式店

株　入田甚治商店

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價 一部 金五錢 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢
廣告料 普通行 金一圓三十七錢 特別行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本萬代治
印刷人 本村武盛

發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社 滿洲日報社 振替口座大連六〇番

委託の國線と雖も 日本政府が監督する

衆議院の關係委員會にて 永井拓相の答辯要旨

滿鐵監督權

【東京特電十五日發】滿鐵に對する監督權の問題について數日來衆議院の委員會において問答行はれたが、永井拓相の答辯要旨を綜合すれば左の如し

一、滿洲國政府と滿鐵關係

滿鐵が委託を受けて經營する鐵道に對して滿洲國政府は多大の關心をもつのは當然であるが、これを監督する權限は日本政府が有するのであつて滿洲國政府にはない、日本政府は滿鐵が滿洲國との契約を忠實に履行するやう指導監督するのである

一、委託經營線

委託經營線に對してわが外務省が出先官憲を通じて直接監督することもない、たゞ滿鐵が滿洲國との間に何等かの外交交涉を生ずる場合國交の圓滿を保持するため外務省が出先官憲に通じて指示を與ふるのである、これは監督權ではなく明文に現はれざる事實上の連絡關係である

一、一般的の滿鐵監督權

これは拓務省に屬する、從つてわが政府がその根本方針を定めるのである、所謂一元化はこの意味において實現されてゐるのであるが若し一元化なる意味が現地において行ひ政府が與らぬといふのであればそれは同意出來ない、對滿國策は日本政府として全責任をもつて行ふべきもので滿鐵監督もその一部門である、故に政府が大本を決すべきものだ、たゞ大小すべて政府が訓令するわけにゆかない、滿鐵をして充分に機能を發揮せしめるためには活動の自由を與へる必要がある、そこで大本の方針を體して現地の監督官廳が監督の任に當るべきである、現地に於て關東廳が一般の監督の任に當るのであるが今日の事態では軍部も軍事に對する立場から色々指示しなければならぬ、その他の方面でも色々の意見はあらう、これらの指示や意見は充分に尊重するのは當然であるが、これらを如何なる程度に採用するかはすべて政府が決定すべきものと信ずる【寫眞は永井拓相】

九年度總豫算案成立

新線削除案貴院で否決

【東京特電十四日發】貴族院は十四日豫算案討議の際鐵道特別會計豫算中新線三線削除問題でこの議會初めて各派對立情勢を示し頗る緊張の場面を呈した、卽ち特別會計の討議に入るや公正會から鐵道三線削除の動議提出され大藏公望男まづ專門的見地からこの削除の至當なる所以を明快に述べこれに對し研究會の兒玉伯は政治的見解から「これを修正すればすべての特別會計が不成立となる惧れがある」と削除反對論を述べる、次いで同成會の次田大三郎氏は法律論及び先例から「特別會計の各案はすべて可分であるから鐵道のみが不成立となつてその他のものが不成立となる理由はない」と兒玉伯の結論を攻擊し續いて青木周三氏また痛烈皮肉な論調で修正案を支持し、演說では修正派が頗る氣勢揚つたに拘らず堂々廻りとなるや研究會、交友俱樂部その他の反對で百八十八對八十二卽ち百六票の差で修正意見敗れかくて**一般特別會計を通じて豫算案全部原案通り可決**しここに豫算成立をみた

貴族院本會議 昨報つゞき

【東京十四日發國通】十四日の貴族院本會議は昭和九年度總豫算案上程され質疑に入り**菅原通敬君**（同成）起つ

歲出入の不均衡より來る豫算編成難を克服してこれを纏め上げたことは慶賀に堪へぬと藏相の努力を一席辯じた後財政樹直しが裏切られたのは遺憾だが大局から見て本豫算案に贊成する、たゞ二、三の餞を贈りたい

とて財政樹て直し公債發行制限、租稅政策等を眼げ縷々として述べるので、議場は早くも惰氣漂ひ代つて

前田利定子（研究）登壇

本豫算では尨大な軍事費に壓せられて農村對策中、中小商工業救濟其他何等見るべきものなく甚だ不滿であるが、現下の情勢から見て已むを得まい、將來は國家財政の基礎を確立すべく國防費も出來るだけ減額するやう努められたい

とて國防偏重主義の不滿を述べた後結局贊意を表しこれで討論打切りのため議題中特別會計豫算案を除きたる

一、昭和九年歲出入總豫算案
一、豫算外國庫負擔となるべき契約を要するの件

を採決し滿場一致可決、次いで

一、昭和九年度各特別會計歲出入豫算

を議題とし之に對し修正動議說明

大藏公望男（公）登壇

私は本年度鐵道新設線中より名寄—朱鞠內間、小出—只見間、柳津—川口間三線を削除すべしとの動議を提出するものである、現在の國鐵增收は一時的現象であり一旦不況到來せば慘澹たるものとなる斯る際新設の線は經濟的に最も國家に取り必要なものでなければならぬ、この見地から今回提案の八線中三線は首肯出來ない

と三線につき具體的に不必要な點を强調して最後に將來に對してもこの三線は惡例を殘すものだ

と說明を終れば議席から拍手湧く次いで兒玉秀雄伯右三線が必ずしも不必要でないことを說明して政府擁護論を述べれば、次いで次田大三郎（同成）修正動議贊成演說を述べ最後に青木周三氏（同）も修正贊成意見を述べ、討論終結、記名投票の結果一八八對八二で修正案否決され、特別會計豫算案の採決に入り委員長報告通り可決斯くして茲に空前の尨大なる豫算は兩院を通過成立、時に五時五十五分、次いで

一、選擧法中改正法律案（政府提出）衆院送附を議題とし山本內相提案理由を說明、九名の委員附託
一、著作權法中改正法律案（政府提出）を上程、內相提案理由を說明、既設委員に附託、この時大角海相發言を求め友鶴遭難問題を詳細に報告し更に
一、民事訴訟法中改正法律案（衆院提出）
一、司法保護法案（衆院提出）
を一括して委員附託
一、衛生組合法案（衆院提出）
一、傳染病豫防法中改正法律案（同上）
を一括九名の委員附託
一、營業收益稅法中改正法律案
一、蠶糸法案
の衆院提出二案をそれ〴〵既設委員會に併託、最後に請願三十四件を委員長報告通り採決、午後六時十四分散會

北鮮鐵道移管か

滿鐵の昭和九年度の所要資金は二億圓でこの內五千四百萬圓（一株十五圓）は第二次拂込みとして八月乃至十月に徵收すべきことは既報のごとくであるがこれに對應する政府拂込み額は十四日帝國議會を通過成立を見た國家豫算中に計上されてゐず、追加豫算にも計上せられざることも明瞭なので、全然

拂込を 見ざることが明かとなつた、滿鐵は創立當時より官民折半の會社であつたが、最初の資本金二億圓當時の政府出資は鐵道、炭坑等の現物出資であり、第一回增資による四億四千萬圓の當時政府は一千二百萬磅の英貨債を肩替りすることにより增資拂分一億二千萬圓に充當し、さらに昨年の第二回增資により八億圓となるや殘れる英貨債四百萬磅を再び肩替りしてこれに充て、結局政府は過去三十年間全然滿鐵に對し現金出資をなした例がない事になつて居る、しかるに九年度に第二回民間拂込みを行ふに當り當然これと

同額の 政府拂込みが期待されるわけであるが滿鐵には最早肩替りすべき外貨債がないのでこの方法によるわけに行かず今後政府の未拂込分一億四千四百萬圓を如何に處理するかゞ問題となつてゐる、これに對し昨年の增資交涉の際にも政府は國庫が赤字公債に惱んでゐる際とて滿鐵に現金出資をなすがごときは想ひも寄らずとして滿鐵側の再三の要望を峻拒した事實もあり、今後も政府の現金出資はまづ絕望と見るよりほか仕方ない狀況にある、たゞ大正八年第一次增資の計畫を樹てた當時の原案の一つには朝鮮鐵道を一億五千萬圓と評價して之に同額の民間出資を加へて資本總額を

五億圓 とすべしとの議もあつた程だから今後滿鐵に對する一億四千四百萬圓の政府未拂込が喧しい問題となれば北鮮管理局に屬する北鮮鐵道を現物出資として滿鐵の財產に移すごとき方法も考慮されるやも知れず、とにかく政府が現金出資を行はぬ事がほゞ確實である以上、增資によつて滿鐵の調達し得る資金はそれだけ減少するわけで、將來相當深刻な論議を起すものと見られて居る

政府否定に拘らず 會期延長已むなし

重要法律案の山積

【東京特電十五日發】總豫算案成立を見て政府は一安心の態であるが、重要法律案の殆ど全部はなほ兩院の審議中に屬し、殘る十日足らずの會期中にその總てを通過せしめる事は到底至難であると見られる、殊に米穀政策に關する各案、産金買上法案、通商擁護法案及び選擧法改正案、治安維持法改正案等は是非とも通過することを期してゐるが、選擧法案のみが十六日頃修正されて貴族院に送附されるが、その他の案はなほ衆議院の審議が終らない、卽ちこの儘で進めば會期を延長しなければ大半は握り潰しの外ない狀態で、政府は目下のところ會期延長せずと稱してゐるに拘らずいよ〳〵會期末に至り多少の延長を餘儀なくされるであらうと見られる

議會風景

【東京特電十四日發】總豫算成立の日貴族院本會議は珍しく空席少く傍聽者もハチ切れさうな入りだが▲傍聽の大半は婦人と女學生でビラが飛び出す懸念もなく和やかな空氣のうちに議事が進む▲柳澤豫算委員長の報告演說が一時間餘り續いたあと▲三上博士が質問として登壇したが太政官以來の文教史を述べ立て、期待外れのものとなつた▲要するに學校で英語を尊重するのは怪しからぬといふだけのこと▲午後討論に入つて劈頭登壇した交友俱樂部の長岡隆一郎君▲耶々たる聲と落ち着いた態度で內閣は大臣の寄合所ではない、渾然一體となるべき有機體でなければならぬとか▲來るべき危機に處して經綸を行ふ能力ありと認めないなど▲殆ど彈劾的論評を進めたうへ▲廉潔潔白、至誠の人たる齋藤首相は徐ろに善處さるゝものと見てこの豫算に贊成するとの意味深長な結論をつけたが、論旨簡潔で頗る好評であつた▲かくて一般豫算案は四名の討論で可決され特別會計のうち鐵道新線三線の削除、修正問題で討論が行はれ記名投票まで行はれて片付いたのは夜になつてからであつた▲これも貴族院では稀有のことだ▲この日貴族院の一室で伊藤博文公の秘藏した守り本尊藤原藤房卿が楠公の英魂を慰めるために奉仕したといふ虛空藏菩薩が安置され▲大臣、議員代る〴〵參觀して賑つてゐた▲これは近く朝鮮の寺に安置されるといふ▲なほ先頃勅選された朝鮮の朴泳孝侯が初めて議席についたのが人目を惹いた

わが學校教育 外國偏重の極

三上參次博士の質問

【東京十四日發國通】十四日の貴族院本會議に於て文學博士三上參次氏は我學校教育に於ける外國偏重を詰り齋藤首相兼文相に對し左の如き質問をなした、三上參次氏の質疑の大要は

今日の高等教育から普通教育に至るまで日本らしい教育を決定せしめ度い意見である、明治維新以來今日の教育は一言にして言へばフランスもしくは米國の直譯そのもので、高等教育に至つては三分の一は外國語で學ばねばならない、然らば外國語は上達するかと云ふとその效果は一向現はれてゐない、外交官にしろ實業家にしろ學校を終へてから特に外國語を學ぶ狀態である、もとより私は語學を輕んずるものではないが日本人として學ばねばならぬ事は多々あるのに何故外國語の爲めにかゝる時間を費さねばならぬか、此の點を文部大臣に伺ひたい外國語を驅逐する事によつて日本は世界知識に疎くなる虞はないかとの反問を生ずるやもしれないが、これが對策としては國家が大きな飜譯機關を設置して世界の知識を早く國民に知らせ、又我國を世界に知らしめる機關とすればよいと考へる

これに對し齋藤首相兼文相は三上君の御意見は誠に有益である、我教育の根本方針は徒らに外國を模倣するものではないのであるから今後もよく考慮する御主旨は贊成であると答辯した

遞信省辭令

【東京十五日發國通】
關東廳遞信事務官 中尾國次郎
任遞信省事務官
遞信省事務官 大久保武雄
任關東廳遞信事務官

不時着陸機飛行士 引渡斡旋を賴む

ス總領事、森島總領事を訪問 直接交涉を說き拒絕

【ハルビン特電十四日發】ソ聯飛行機の滿洲國領內不時着陸問題に關しスラウスツキー總領事は狼狽して十四日森島總領事を官邸に訪問し右飛行機は全く天候のため進路を誤り滿洲國領內に飛來したもので何等他に意味はないから飛行士兩名を當方に引渡す斡旋をして貰ひたいとて種々諒解を求めやうとしたが森島總領事は問題はソ滿國間に限られた問題であるから滿洲國に交涉ありたい、當方は斯樣な問題に斡旋は出來ないと拒絕した、なほ右ソ聯軍用機がソ滿國境から三千キロも離れた滿洲國內に着陸したことはソ聯の飛行機が屢々滿洲國內に侵入したとの情報を立派に裏書きするものだとて滿洲國當局は極度に憤慨してゐる、ソ滿間の重大な外交問題とする模樣だが當時同方面における天候は極めて快晴にて航路を誤ることは絕對にあり得ない、なほ右飛行機は不時着陸と共に破壞したが解體のうへハルビンに輸送する、飛行士二名は嚴重監視のうへ一兩日中にハルビンに護送して來る

赤機越境

正式抗議手續 ハルビンで現地交涉

【ハルビン特電十五日發】蘇聯軍用機の滿洲國不法侵入問題で狼狽し森島總領事に斡旋方を依賴して拒絕されたスラウツキー總領事は十四日午後七時外交部特派員公署に下村事務官を訪問「濃霧のため航路を誤つたもので不可抗力だ」と飛行機及び搭乘者の引渡しを正式に要求した、下村事務官は取敢ず口頭をもつて「蘇聯軍用機が不法侵入したこと及び滿洲國內に相當深く入つたことの明かな事實に基き嚴重抗議する、且つ蘇聯當局者は日本の飛行機が露領を飛んだと根據なき惡宣傳を從來內外に屢々放つて日滿の立場を困難ならしめんとつとめたに拘らず今回の事件でソ聯の飛行機が滿洲國內に侵入してゐる事實を隱蔽し日滿國民に非常な惡感情を抱かせてゐるのは遺憾だ」と述べ今後嚴密な調査をした上更に正式抗議をする積りだと傳へた

歐州三頭會議 いよ〳〵十五日から

伊墺洪經濟協力交涉

【ローマ十五日發國通】歐洲政局の將來に重大影響を及ぼすものとして歐洲諸國は勿論世界各國の注目を集めてゐるイタリー、オーストリア、ハンガリー三國の首相會議は愈々十五日午後からローマにおいて開會されることゝなり十四日はムッソリーニ首相をはじめオーストリア首相ドルフス氏、ハンガリア首相ゲムベス氏は何れも準備交涉その他の會議の準備に忙殺されてゐる、右のうち最も重視されてゐるのは十四日午前ベネチヤ宮に於て行はれたムッソリーニ、ドルフス兩首相の會見で今次の會議の主眼たるイタリー、オーストリヤ兩國の經濟協力に關する基本的重要問題について腹藏なき意見の交換が行はれたものと確聞する右會見でドルフス首相は更にゲムベス首相と會見し長時間に亘つて協議を凝し十五日から開始される會議の打合せを行つた

顏惠慶南京へ

【天津十四日發國通】滯津中の駐蘇大使顏惠慶は十四日午前十一時天津發津浦線で南京へ向つた

對支對露外交

廣田外相答辯

【東京十四日發國通】衆議院の貿易調節通商擁護法特別委員會は十四日午後一時二十分開會、政友の畑桃作君より北支停戰協定後の日支外交關係如何を質問したるに對し廣田外相は左の如く答辯した

日支關係は最近改善の方に向つてゐる、國民黨部では日本と對立關係を作ることは東洋に國を樹てる所以でないと諒解して來た、政府は南京政府のみならず中央官憲と種々折衝を進めてゐる次第である

畑桃作君（政）次いで對露經濟關係に對する所見如何を質したが廣田外相は

對滿關係については兩國の共存共榮を圖るため努力してゐる、日滿間の貿易關稅に關しては考慮すべき時機の來るものと思つてゐる、對露貿易關係は北平の基本條約における露領內の天然資源を日本に利用させることについてはこれを履行せしむるため屢々露國政府に注意を喚起してゐる

と答へた

國民政府 反滿通告

我外務當局憤慨

【東京十五日發國通】在上海石射總領事より外務省への報告によれば、國民政府は十一日付を以て支那全國民に對し滿洲國帝制實施を擬組織の賣國陰謀行爲として處罰する佈告並に各機關に通令を發した、右は今回三千萬民衆の總意により溥儀執政が帝位に卽かれたるに對し、國民政府の嫌がらせであり各國民に對する面子より一應斯くの如き法令を出したもの如くであるが、我外務省では友邦に向つてかゝる侮蔑的言辭を弄するは甚だ以つて不屆なりとして支那の覺醒を要求してゐる

內蒙自治法案 修正要求

【南京十四日發國通】內蒙自治政務委員會主席に指名された蒙古王雲王は嚢に新設された內蒙自治法案を不滿とし南京政府に對し

一、蒙古地方自治政務委員會委員は各盟旗長官會商の結果を政府に推薦し、政府で任命すべきで今回發表された委員二十四名はこの手續を經てゐない、この點法律を改正せよ
一、各省縣が每期地方で徵收せる地方稅收はその一半を每期に分つ樣に規定せよ

他一項の修正方を申出た

駐哈佛副領事 ル氏着任

【ハルビン十五日發國通】新任ハルビンフランス領事館附副領事ルイアエル氏は十五日神戶より着任した、フランス領事レー氏は來る四月休暇で歸國する事になつてゐるが、英國領事ハースチング氏も近く休暇で歸國する模樣である、なほフランス領事館が今回日本通の副領事を招致した事は日滿經濟問題に多大の關心をもつてゐる證左と觀られてゐる

社説

非常時豫算の成立

九年度總豫算案が十四日貴族院で可決確定された。各特別會計豫算案も同日通過したので、別に追加豫算はあるが、此處に大體に於いて九年度豫算が成立したわけである。一般豫算の總額は二十一億一千一百五十三萬七千餘圓である。その中陸軍は四億四千九百萬圓、海軍が四億八千九百萬圓で、合計九億三千八百萬圓、全豫算の四割四分に當る。其他公債費、恩給費の大部分は陸海軍に屬するを思へば、軍事費が十五億に垂んとする。即ち此の軍事費の多大なる事を第一とし、第二には、非常時なるが故に、外務省の外交工作を必要とし、並に農村小中商工業救濟助成の國力根本養成政策を必要と爲すに拘らず、その方面には案外に豫算の多からざる事、第三には、赤字公債なるもの七億八千五百三十三萬五千圓ある事等によりて、非常時の面影を見得るのである。

◇

此の如き非常時豫算なるが故に、その案の編制には多大の困難を伴ひ、既に豫算案編制の閣議は難關に遭遇し、内閣の命脈を斷たんとしたのであつた。漸く此案を纏め上げたのは、一に高橋藏相の手腕と信念とによるものであつて、更に陸海軍、外務、農林、商工各大臣の努力協力隱忍によるものであつた。而してその外には、非常時の此際に於て、内閣の崩壞を好まぬといふ各方面の空氣が濃厚であつたことが、此豫算案を成立せしめた原因であつた。されば此の豫算案が議會に提出さるゝに當ても、兩院に於ける議論は甚だ少なかつた。偶々議論を捲き起しても豫算案には直接關係のない事項で、豫算その物には格別の議論はなく、一點の修正意見も出ずして兩院を通過し、此に九年度豫算の成立を見たのである。

◇

豫算案に不滿を感じてその意を陳ぶるものはあつたが、さて之れを如何に變更すべきかは手の着けやうもない。それ不滿の意は既に閣議の際にも、閣内にも閣外一般民間にも現はれた所であつて、藏相その他の閣僚はそれらの不滿を十分に斟酌考慮した上に、縛り上げたものであるから、議會にても之れを如何とも爲すを得ないのである。強いて修正に手を着ければ、案編制當時と同樣に内閣の崩壞となり、豫算不成立となり、非常時局の運轉に障碍を及ぼすからである。

◇

故に今度の豫算程、議會に於ける、當局の説明が容易で簡單であつたことは、戰時以外には前例のない所であつた。それは議員各自に於いて充分に豫算案編制の事情を知悉し時局のデリケートなことも充分に承知してゐるから、出來ない注文もせず、説明に苦しむやうな質問も差控へられたからである。斯樣にして比較的無事に討議が進んだのであるが、その間には各種の事項に渉りて種々の注文もなされ、將來の施設に關して注意も與へられ、質問應答の間に、國策の要點に就いて議員も閣僚も双方共に深く考へ得る所があつた。一般國民もこれにより、向ふべき所のヒントを得たり、自ら省みたりするを得る所もあつた。

◇

此豫算は、外見上軍事費偏重と見られるのは已むを得ない。併しながら軍事當局から見れば尚國防に不滿を感ずるのである。誠に已むを得ざる緊急費のみを計上されたのであつて、内容から論ずれば決して軍事費に偏重するものでない。元來非常時の施設として、不足勝ちの財政に於て、緊急已むを得ざるものが軍事費だといふ點に重きを置き、軍事費の中で緊急已むを得ざる費用が計上されたのである。此故を以て、此豫算案の討議に際して説明に困難な討論も起らず一般社會でも議論を起さなかつたが、國民のふところ工合から見れば決して安易な支出ではない。豫算膨脹の爲めに民間の收入も增加し、一部に景氣のよくなることもあらうが、それは主として公債に依るものであつて、將來の經濟と財政とには決して樂觀を許すべきでない。要は此豫算の運用によりて國力の堅實な發達を期するにある。今日豫算通過に當りて吾人の感ずる所は只此一點にある。陸海軍を主として各方面に於て、此豫算は決して易々と出來上つたものにあらず、國民が齒を喰ひしばつて、血肉を削り取つたものであることを、充分に心の底から體認すべきである。而して、この豫算の效果によつて國民にその血肉を返還するやうに努力されなければならぬ。

歸順匪の反擊に
嗚呼 飯塚大佐の死
公報出で、一しほに涙新た
關東軍司令部發表

【新京特電十五日發】關東軍司令部發表＝佳木斯附近に於て匪賊の冬期討伐と治安工作に活動してゐた廣瀬○團麾下の飯塚大佐指揮の討伐隊は九日依蘭附近に匪賊出現の報を得て直に討伐に向ひ激戰の結果これを擊退したがこの戰鬪に於て協同動作をとるべき宋雷（元匪賊出身）の依蘭地區警備隊が匪賊に通じて我が軍に反擊したため飯塚部隊は意外の苦戰に陷つたもので急報により直に佳木斯附近に駐屯せる吉川、曾木兩部隊が增援に向ひ十一日右匪賊を土龍山（依蘭東方十里）の山地に擊退し更に增援に赴いた楢山部隊は依蘭から土龍山に前進したが途中飯塚大佐の遺骸を收容すると共に殘匪掃蕩中である、右戰鬪に於ける彼我の損害左の如し

◇敵の損害◇

▲死者百數十▲重輕傷者二百餘

我が軍の損害

飯塚部隊　戰死　飯塚大佐　同上　鈴木中尉　外兵士十六名軍屬一名（但し軍屬は行方不明で搜査中）

吉川、曾木兩部隊　重傷者　岡田特務曹長以下二十五名　戰死　兵士三名

【新京特電十五日發】關東軍司令部發表＝土龍山附近に於ける亂鬪に關し十三日廣瀬○團長は現地に臨み詳細調査の結果左の如く判明した

飯塚大佐は吉林省東北地區の討伐を終り軍旗と共に佳木斯に歸還し依蘭に於ける會議に出席のため鈴木少尉以下十五名を伴ひ聯隊に先行中、元土匪出身なる土龍山地區自衞團長が先に飯塚部隊のために山地に擊退され蟄伏しありし匪賊を糾合し蠢動中なるを知りこれが討伐に向ひ交戰したもので、その後右匪賊は我が救援隊の出動により多大の損傷を受け土龍山東方山地に四散したるを以て必要の兵力を殘置し、救援部隊はそれぞれ原駐屯地に歸還せしめることとした

農村、司法關係の官制一部を改廢
十五日附にて公布

【新京特電十五日發】滿洲國政府では林業事務の合理的開發經營をなし國有林、國有原野の整備充實を行ふため林務司を新設した、之と同時に司法部にても民事刑事に關する事務を區別分擔し司法事務の整理を敏速に圖るため官制の改廢を行ひ部内に總務司、民事司、刑事司、行刑司の四司を置くことゝなり十五日附を以て左の如く公布した

大同元年敎令第六號國務院各部官制中左の通改正す

（一）第四十條を左の通改む
實業部に左の五司を置く
總務司
農務司
林務司
鑛務司
工商司

（二）第四十二條を左の通改む
農務司は左の事項を掌る
一、農事及耕地に關する事項
二、開墾に關する事項
三、畜産に關する事項
四、水産に關する事項

（三）第四十二條の二を左の通改む
林務司は左の事項を掌る
一、森林及原野に關する事項
二、狩獵に關する事項

（四）第四十二條の二の次に左の一條を加ふ
第四十二條の三　鑛務司は左の事項を掌る
一、鑛山及鑛物の精錬に關する事項
二、地質に關する事項

（五）第五十五條を左の通改む
司法部に左の四司を置く
總務司
民事司
刑事司
行刑司

（六）第五十六條を左の通改む
總務司は左の事項を掌る
一、機密に關する事項
二、官印の管守及び文書に關する事項
三、人事に關する事項
四、會計及び庶務に關する事項
五、所屬機關の設置廢止及び管轄區域に關する事項
六、調査及統計に關する事項

（七）第五十七條を左の通改む
民事司は左の事項を掌る
一、民事及び非訟事件に關する事項
二、民事及非訟事件の裁判事務に關する事項
三、戶籍及登記に關する事項
四、提存調解及び公證に關する事項

（八）第五十七條の次に左の一條を加ふ
第五十七條の二　刑事司は左の事項を掌る
一、刑事に關する事項
二、刑事の裁判事務及檢察事務に關する事項

（九）第五十八條を左の通定む
行刑司は左の事項を掌る
一、刑の執行に關する事項
二、監獄及看守所に關する事項
三、少年矯正及免囚保護に關する事項
四、犯罪人の引渡に關する事項
三、恩赦に關する事項

附　則
本令は公布の日より之を施行す

三宅法制局長官辭任に決定
近く廣範圍の異動

【新京特電十五日發】滿洲國政府の法制制度確立に寢食を忘れ鋭意その完成に努力した三宅法制局長官は君主制實施により制度の完璧も一段落を見たので、御大典終了後辭任の手續を執つてゐたが、氏の偉大なる功績に政府當局でも誠意を以て慰留に努めつゝありしも三宅氏の辭意は固く已むを得ず近く正式に依願免官の發令を見ることになつた、政府ではこれを切つかけにいよいよ廣範圍に亙る異動を行ふべくその發表の機運を促進しつゝあるやうである

三宅氏の功績偉大

法制局長官三宅福馬氏は氏自身としても過渡期時代において最も難職とされてゐた職責が一段落を告げ、それに過般令嬢の逝去もあり家庭的に惠まれない處もあつて精神的に過勞を來して居た關係等から今回の辭任を見ることになつたが、新興滿洲國にとつて今日同氏を失ふことは非常なる損失であつて、各方面とも惜んでゐる、しかし在任一年五ケ月同氏の功績は最も顯著であるが、辭任後の氏は東京に歸り家庭人として自適するといふも同氏令息（三男帝大法科出身）が大同學院に入學し嚴父の後繼者として滿洲國のために盡力することになつた

日英會商 斷絶とその直後
再開望みなし
政府交渉移讓疑問
ランカシア代表團經過報告

【ロンドン十四日發國通】去る二月二十四日第一次正式會商以來審議前後一ケ月にして遂に日本代表部と袂を別つに至つた、ランカシア代表團は會商決裂と共に十四日午後直に商務省で同省産業顧問キルソン氏と會見、決裂に至るまでの經過を政府に報告したが右の會見に於ては單に經過を報告するに止り今後政府當局が取るべき行動については代表側より何等提案しなかつたものと確聞する、一方ランカシア側は來る十六日マンチエスターで開催される日本品對策委員總會に於て重要協議を行ふことになつた

大衝撃
飛沫は三井へ

【ロンドン十四日發國通】日英會商決裂の結果英國各方面に關税引上乃至日英條約廢棄運動が起るものと豫想されてゐるがこれと同時にその反對運動も起らんとする模樣、即ち現に日本を大得意先とするバクコック・アンド・ウイルコックス社（ボイラー製造會社）の社長の如きも大に心配し十五日三井支店長島田氏と會見對策を協議する筈

決裂は當然
外務當局談

【東京十五日發國通】日英民間會商決裂に關し外務當局談 日英民間會商はこれまでイギリスの態度からして決裂は當然だ、然らば外務省として必らずしも交渉になるかも知れぬが、日本政府は容易に応ずる考へはない ……

再開には氣乘薄
日英代表互に讓らず

バーロー氏談

【ロンドン十四日發國通】 ……

西尾參事長談

……

滿鐵の使命と將來……（1）
八日貴院豫算總會にて 江口定條氏の質疑

滿鐵に情弊無し

江口定條氏 私は先の豫算總會に滿鐵問題について國務大臣に質疑の通告をして置きましたが質疑者の非常に多數ありますのと時間の切迫した爲に一旦之を取消しまして分科會において滿鐵と思ふ質問をいたしまして、大臣からの答辯を得ましたが滿鐵の根本問題につきまして將來の爲に是非共此席上で、拓務大臣に政府の意思のある所を確めて置きたい、又各位にも十分之を聞いて戴きたいといふ心持から茲に發言の許可を得た次第であります

此滿鐵の問題につきましては私共彼是れいふのは甚だ快しとしませぬ、當事者も居られることでありますると又非常にデリケートな問題でございますから成るべくは自分にはかういふことに餘り嘴を容れて彼此いふことをしたくないと思つて居りましたが、如何にも滿鐵に對する世間の疑惑が多うございますし又滿鐵に對する世間の認識が非常に足らないで、而も今日では滿鐵の職務の責任といふものは益々重大になつて來る際に、どういふもので斯ういふ具合に世間が滿鐵を本當に了解して居ないのだらうか、これにつきましては非常に殘念なことであると思ひましたので、自分が已むを得ず茲で自分の考へを申上げまして政府の御意思のある所を伺つて置きたいと思ひます

◇……◇

私の御尋ねしたいことは滿鐵の使命と性質、滿鐵の將來、この二つでございますが、申す迄もなく今日迄も又今後共滿洲開發の事は何としても滿鐵が根幹であるといふことは、是は問題にならない明かなことでございます、滿鐵なくして今後滿洲の開發といふことは到底間違なく自由に活動が出來るやうに致したいものだ、斯ういふやうに言つて居られます、此通りだらうと思ひます、創立當時のやうに纏がりで何等疑惑なく、大いにその首腦者をしてその經綸を行はせるやうにしなければならぬことゝ思ひます、滿鐵のこの目的に活躍することを阻害するやうなことは總てこれは避けなくてはならぬ、滿鐵に對する從來の誤解を一掃するといふことが非常に必要なことであります、これを前提と致しまして私は御尋ねしたいと思ひます

◇……◇

先月の十四日の本會議に於きまして大藏男が滿洲問題に對して非常に廣汎な範圍に於て質問せられました、それに對して拓務大臣及外務大臣から二三非常に明瞭なる御答辯がありまして、從來の疑惑を一掃しましたといふことは非常に多とすべきことだらうと思ひますが、この大藏男の質問の中に私の考へます意見の相違を見まして而もこれに對して拓務大臣も婉曲には言つて居られますが賛成せられたかの如き御言葉がございますので、私はこれを默過することが出來ないのです、大藏男に對しましては非常に長聽する方であり又私の親友でございます、殊に同僚の方でございますが、然し滿鐵に關する事柄には是非申上げると意見を異にして彼是れ申上げるのは、甚だ快くありませぬ、又斯ういふことを申上げる際には自然言葉が荒くなりまして、皆樣方には御聽苦しいことがあるかも知れませぬが、私は之に依つて滿鐵の本當の根本は此處にあるといふことを明かにする爲に、已むを得ず大藏男の意見に正面から反對致しまして、並で此事を明かにして置きたいと思ひます

投書歡迎
（五十行以内 十中は掲載せず）

八面相

美しい情景
大連山縣通　K・Y生

◇十一日附の本欄に「陋漢ならずや」と題し警官の滿人に對する不當措置が出て居ましたが、これはその反對の事實です、滿洲國大典の日、即ち三月一日折柄王塘の祝賀式に參列した歸途で內地から見えた御客樣を案内して大連から旅順に向ふ途中の事です。

◇龍王塘を過ぎて二、三キロも來ましたが南行する滿人小學生の行列に追ひついた時、其列の後尾に從つて居た一警官が手を擧げて我々の自働車に停車を命じたものです。

◇我々——三人——は何か調査だらう位に思ふ間も無く運轉手は如才無く其警官の前に車を停めました。彼氏は物靜かな學め宗教家らしい態度で我々に向ひ、「今日慶祝から學生を連れて龍すが如い子供が足を痛めて困つて居りますから出來るだけ乘せて戴けないでせうか」との事です。

◇勿論我々は快よく引受け助手臺に二人乘客席の床に五人つまり乘せるだけ乘せる事にしました警官はびつこを引いた子供を列から選び出し、いたはり乘せました。美しい情景です。善いお父さんが自分の子供達を心から氣づかふ樣な眞情が流露して居るのです。

◇然も警官は我々の提供したわづかの好意に感謝して双眼から涙を流してゐるのです。我々も何か知らず胸の奥からこみ上げるものを感じて三人共あらぬ方に眼をそらしてだまり込んでしまひました。

◇一些事さいはないで下さい。滿人に接する總ての牧民官に此心懸けがあれば兩國の親善は萬代でせう。荒木前陸相に似た鬚の持主たる老警官の上に幸多かれとはだまり込んだ我々の心に一樣に湧き上つた祈心です。東京からの御客樣も此の上の無い立派なお土産が出來たと衷心からの喜悅です。

大觀小觀

君等は不承認とか何とかいふが、此事實を如何せんと映畫は語る、ロンドン、ニユーヨークの大衆相手に▲滿洲國皇帝御大典映畫、十三日倫敦同時に公開、まだ半月とたゝないのに早くも英米進出の快報▲南京政府の隱柔態度北支に響き、黄郛氏の立場をぐらつかす▲日本に察してくれとはいはれても、そらの腹がシッカリせぬ以上致し方もなし▲ソウエート飛行機の滿洲不時着は、勿論怪しからぬこと、日本の國境線內の飛行機を射擊したりした不法行爲と共に、自分の方では滿洲國の上空を飛んでゐた不正行爲を自證したな▲天候の爲めに方向を誤つたとは、いかにも暗い辯解だ▲滿洲國からの抗議も當然、日滿議定書の義務によりて日本からの抗議も當然▲ソ聯政府は滿洲國境方面の軍備充實に汲々、兵員を集め、防備工事を盛んにやつてゐる▲最も苦痛と爲す所は交通機關にあるので目下各鐵道線路の複線工事に大車輪▲恐怖病のせいか、脅かす積りか一向こちらにはこたへぬが。

市況（十五日）

株式
日産株續落 地株保合

新東、日産軟弱を入れたが地場株保合、日産一圓安、新東保合に引けた

◇定期（單位十錢）後場

銘柄	當限	先限
新豆	引 寄	二八二
五品	引 中 寄	二八六

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	二八三	二八三	二八二	二八三
新豆	一	二八〇	二八〇	二八〇
鈔鈔	一	二八六	二八六	二八六
朝取新	二六八	二六八	二六八	一
新	二六八	二六八	二六八	一
永々	一六〇	一六〇	一六〇	一
電新	二八〇	二八〇	二八〇	一
大新	一四五	一四五	一四五	一四五
東新	一四五	一四五	一四五	一四五
日産	一三一	一三一	一三〇	一三〇
滿鐵二新	一六六	一六六	一六六	一

◇實取引　土木企業八八

特産
賣物旺盛に 大豆續落

後場大豆は邦商及び南支筋賣に續落を辿り豆粕も相伴つて軟調を辿り豆油、高粱は人氣なく閑散を呈した

◇定期後場（銀建）

大豆（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
三月末	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
四月末	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
五月末	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
六月末	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
七月末	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇

出來高　百八十四車

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
四月限	一〇三五	一〇三五	一〇三五	一〇三五
五月限	一〇三五	一〇三五	一〇三五	一〇三五
五月末	一〇三五	一〇三五	一〇三五	一〇三五

出來高　十五萬六千枚

▲豆油（保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
四月限	八〇〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇
五月限	八〇〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇
六月限	八〇〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇

出來高　四千五百箱

▲高粱（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月限	一六四〇	一六四〇	一六四〇	一六四〇

出來高　二車

▲包米（出來不申）

◇現物後場（銀建）

品目	寄付	大引
混保大豆（袋込）	三四〇	三三〇
普通大豆（裸物）	三一〇	三〇七〇

出來高　百二十車・十車

豆粕　一〇四五　一〇四五　出來高　七萬五千枚
豆油　八〇〇　八〇〇　出來高　六千三百車
高粱（出來不申）
包米（出來不申）

本日廳報を添ふ

錢鈔
投げ一巡し 鈔票强調

後場投げ物一巡し强調に轉じ結局强保合に引けた

◇定期後場（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	三三〇	三三〇	三三〇	三三五

出來高　百萬圓

◇現物後場（單位錢）

時	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	三三五	三三五	三三五
二時	三三〇	三三〇	三三〇
三時	三三〇	三三〇	三三〇

出來高（銀對金十九萬四千圓・銀對洋四千圓）

商品
麻袋不申 綿糸小踠り

綿糸・後場の綿糸は小踠り商狀を呈した

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	七月限	一九七一	一〇

出來高　十梱

麻袋（出來不申）

奧地市況

品目	相場	前日
現物▲奉天奉票對金票	五、二八〇	
現物▲奉天國幣對金票	一一三、七〇	一一三、八五
先物▲奉天國幣對鈔票	八七、九〇	八七、八〇
現物▲開原國幣對金票	一〇六、八〇	一〇六、八〇
現物▲新京國幣對金票	一一三、七五	一一三、七五
現物▲ハルビン國幣對金票	一一三、八〇	一一三、八〇
現物▲安東鎭平銀	一二三、八五	一二三、八五
先限▲ハルビン大豆	一、六一九	
當限	一、六一三	
五月	四八五〇	四八五〇
七月	五一〇〇	五〇七五
七月▲ハルビン高粱	一、一六五	一、一六五

市場電報
神戸特産

品目	相場
大豆現物	五四五
先物	四一五
豆粕現物	一四五
先物	三一〇
滿洲小麥	四一五
豆油現物	不申

家庭

『石も肥料になる』面白い"石垣造り"

晝間の熱を夜になつて放散　輻射熱の作用

昔から「石は肥料にならぬ」と申します、ところがこの石が作物に對して

肥料 以上の作用をするのですから面白いではありませんか石ころの多い畑に棉の栽培が非常によい成績を擧げてゐるのを私たちは滿洲で眼の前に見てゐます、卽ち棉は特に熱を要する植物ですが、石の多い畑では石が晝間太陽から受けた熱を貯へて夜これを放散する所謂輻射熱のために棉の發育が促進されるのです、この著しい例は今日有名な靜岡縣久能の苺の石垣造りです、石垣造りといひますが別に石垣に植ゑるのではありません

平地 に土を積みあげ南向に高さ約五尺の四十五度位の斜面を造り、三寸乃至五寸大の丸石を斜面上にギッシリ並べ、その隙間に肥料土を入れて苺を植付けるのです、かうしますと晝間太陽熱を吸收した石が夜間氣温が低くなつた時輻射熱を發散し所謂夜中苺に熱を與へるために苺の發育は非常に促進されて早く實を結び又熟することも早いのです、しかも普通の栽培よりもずつと色づきもよく下が石であるために少しもよごれることがありません、今當地の市場へ出てゐる苺も大抵この石垣造りによつたものですが

滿洲 でもこの方法を利用したら例年よりずつと早く地ものの新鮮な苺が得られませう、但しこの方法は植付けるのに大分手數がかゝり相當技術を要しますし、植ゑた後も灌水などなかなか面倒ですから素人の家庭園藝としては一寸困難かも知れません、しかし皆さんが普通平地で苺を栽培される時にもこの石の副射熱を利用して苺の株と株との間に石ころを並べて置かれたらよほど發育を促進することゝ思ひます、久能地方では苺だけでなくトマト其他種々のものにこの石垣造りを應用して好成績を收めてゐるさうです(大連農事株式會社鈴木讓氏談)

靴墨で艶出し 赤い靴墨は家具類を磨くのに理想的なものです、但し上等のものが宜しい。上物か下物かを見分ける法は靴墨を人さしゆびと親ゆびとで擦り合せて見るのです。よい物はすべつこくてこすつてゐるうちに消えてしまひます。この靴墨を布につけて、机なり本箱なりの家具類を磨くと見事な艶を出すことが出來るのです。これはどんな家具屋でも必ず使用してゐます。但し桐、桑等の材で造つたものには不適です。

美しい黑髪の洗髪方法

拔け毛や若禿防ぎ

艶々と美しい黑髪は女性だけでなくあらゆる日本の男性方にも欲しいものです、ところが男性はおろか、お化粧にはずゐ分お凝りになる婦人方も髪のお手入れに就ては案外無關心な方が多いのです、恐ろしい拔け毛や若禿の第一の原因は

洗髪 の不充分なこと、若くは洗髪の方法の惡いことです。美しい黑髪を保ちたい御婦人や殿方のために御家庭で簡單に出來てしかも美髪を保つに一番有效なオイルシャンプーの仕方を御傳へしませう、先づオリーヴ油大匙三杯に對しヒマシ油同一杯の割合で混ぜ、これを薄鍋に入れてトロ火にかけ、指をつけて見て少し熱い目にあたため別に洗面器に熱い湯を用意します、最初に熱い絞りタオルで頭を包んでよく蒸します。次に前の油を脱脂綿に少しふくませ髪を五分置き位に分けて頭の地によく擦り込むのです

順序 は額の生え際のところから頭のてつぺんへ、兩耳のところから上の方へ、頸筋のところから上の方へといふやうに腦天へ向つて強く擦り込むのです。全部すみましたら、もう一度熱いしぼりタオルで頭を充分蒸します。この方法は洗髪をする前夜か遅くも五、六時間前になすつて頭の地にすつかり油をしみこませて置くことが大切です。次に洗髪です、良質のシャムプーパウダーをコーヒー茶碗一杯位の微温湯に濃目にとかしてよく泡立てゝ置きます。先づお髪を

微温 湯でザッとしめしてからシャムプー液を少しづゝ振かけながら頭の地を指先でマッサーヂします。毛先の方は毛と毛をひどく擦り合せますと毛質を傷めますから、兩手の指を前後左右から櫛のやうに使つて毛を何度も梳くのです。斯うしますとよごれや脂肪がすつかりシャムプー液に溶解しますから、その後を何回も微温湯で濯いでシャムプー液をすつかり洗ひ落します。洗髪が終つたら熱い湯でタオルを固く絞つたので水氣を拭きとります。皆さんのなさるやうに乾いたタオルで拭くより

熱い 絞りタオルで五、六回拭いた方が早く水氣がとれるのです。よく乾いたらベーラムかレモンの化粧水を頭の地に振りかけ兩手の指で頭の地を充分マッサーヂします。生え際は上の方へつまみ上げるやうに輕く叩けばよいのです。次にオリーヴブリアンか良質の椿油の少量を頭の地に擦り込みます。水油のきらひな方は良質のコールドクリームでもよいのです。この洗髪法を十日に一度か、せめて二週間に一度づゝ繼續なさいますと毛根が強くなりふけもとれ、見違へるやうにつやつやと美しいしなやかなおぐしになります(山本鈴子氏談)

わが夫を語る (十)

俗拔けせぬ俳人

大連汽船旅客係　高山謹一さん

大連汽船旅客係主任といふより俳人峻峰でよりよく知られてゐる高山謹一氏です。臥龍臺のお宅は須磨子夫人と、神明高女の

子さんと、それに女中さんを加へて一家四人の靜けさです。

◇

俳句をなさるやうな方は大抵は一寸人間ばなれのしたものですが、高山なんか大違ひ――隨分バタ臭いところもあれば私以上に細いこ

さう申しますと「小さい事でも俗事でも何でも知りつくしてゐなくてはいゝ俳句は出來ないんだ」なんて本人濟ましてゐますけれど隨分俗拔けのしない俳人だと思ひますわ、最もそれだけに家の事や久

くれますので、おかげで袴を脱いだばかりの全くネンネの花嫁さんもどうやら無事に今日までやつて來られたのだらうと思つてをります、その代り先には隨分ゴチャゴチャとつまらないことで言爭つたりも致しました。

◇

御酒は永年海外生活をしてゐたせゐで以前はよく洋酒を頂いてゐましたが何時からか日本酒に變りました。それも最初はコップ酒でしたが、この頃は全く本格的にチビリチビリやるのです、晩酌がなくては濟まぬといふのではありませんが、一本位頂くと迚も陽氣になりますので私から勸めるやうにしてゐるわけです、晩酌をしないと直ぐ書齋へ

趣味は俳句は別として寫眞、旅行、音樂、スポーツ、映畫、何でも好きですが社交ダンスだけはどうも性に合はないらしいんです。海外生活は隨分永いんですけれど踊りでも歌でも、いいえきものからお料理まで日本趣味なんです。十八番は

まひますから、子供一人の家の中ぢあ晩くらゐやつぱり一緒に陽氣に遊んで貰ひたいですわ、遊びつて?ダイヤモンドゲームだの、トランプだの、時にはレコードをかけて東京音頭なんか踊ることもあります。この間から將棋をはじめました、高山が先生で私と久子が生徒なんですがなかなか親切によく教へてくれますけれど、二人を上手にして自分で娯しまうつて肚なんですからずるいんです。いいえ、だつて先年上海でも一生懸命に私にテニスを教へるものですから隨分親切な旦那樣だと内心感謝してましたら「相手が無いから壁よりは増しだらう!」つて隨分馬鹿にしてますわ。

◇

義太夫を語りながら指先で踊らせるんです。最初は「五十年後の太平洋」を書いた三好さんの隱し藝だつたんですが何時か高山がお株を奪つちまつて、中でも「彦九郎」は隨分自慢なんです。指先だけで泣かせたり、笑はせたり、素人藝には先づ相當なものですわ

◇

「以前は隨分やかましやの旦那樣でよく雷が落ちたりしましたけれど年のせゐか近年は大分扱ひよくなりました。御せるかつて?さあ御したり、御されたり……まあ縁あつて夫婦になつたんですから多少は趣味や性格が違つてもお互に歩みよつて行かなくちやあれ」何と物わかりのよい奥樣。で夫君の近作として左の二句を下さいました。

雛祭

病める子の友なく祭る雛かな

滿洲國皇帝の登極

天地の輝かに春の雪晴れし

(寫眞は高山氏)

家庭顧問

離乳をしたが食物をたべぬ

【問】生後一年と一ケ月の男兒です、一年目から離乳の準備として、オヂヤやら野菜の煮付などを與へてゐますが、小皿に一杯位しか頂かうとしません、その間に牛乳を二回一合宛與へてゐますが、はかばかしくふとらないのです、どんな風にしたら喜んで御飯を頂くやうになるでせうか、又夜半にお乳を欲しがりますが與へてよいでせうか、其他何か榮養になる食物でもありましたらどうぞ御教へ下さい(奉天いち子)

母乳を全く與へない樣になさい

【答】離乳をして他の食物にしたが食べ方が少くて肥えないといふ訴へは再々きくことです。その原因を調べて見ますと多くの場合小兒に病的な原因があるのでなくてお母さんが完全に離乳しないで夜間或ひは晝間食餌と食餌との間に母乳を與へるために胃の休まる間がなくて消化機能が不充分となり食慾不振に陷つてゐるのを屢々見受けるのです、貴女のお子樣もそんな事情にあるのではありませんか、若し以上の樣な事情があれば母乳を全く與へないやうになさい食物はオジヤ、卵黄、野菜の煮付牛乳などで結構です。榮養劑として肝油、肉汁(ビポサルシロイ)等もありますが一年一ケ月位では胃腸を害する恐れがあります、消化を助けるために酵素劑(ヂアスターゼ、ビオフェルミン、ワカモト等を與へるのは差支へありません(池田嘉一郎)

日本棋院秋季大手合戰譜(第十四局)

先 三段 染谷一雄　初段 藤澤庫之助

●二〇一チ十二　○二〇二カ十三
●二〇三ワ十一　○二〇四ヌ十三
●二〇五ヌ十一　○二〇六ワ十五
●二〇七テ十六　○二〇八チ十五
●二〇九ホ十三　○二一〇ホ七
●二一一ヘ八　○二一二ル十九
●二一三チ十八　○二一四チ五
●二一五チ四　○二一六イ十二
●二一七イ十七　○二一八イ十八
●二一九イ十六　○二二〇ツ九
○一〇〇ツグ　●一二一劫トル　○
●一二四同　●一二七同　○一三〇同
一三三同　○一三六同　●一三九
同　○一四二同　●一四五同　●一四
七同　●二一三ツグ

所要時間累計(白 六時五十九分　黑 六時二十八分)(制限時間各七時間)

戰の跡

◇白二百六、二百八を想定すると白二百二に對し黑が二百三とツイでおいた意味も明らかであらう

◇黑二百九とトツてここに四目の地(ホ十二)と(ホ十四)をも加へて)が出來た、二百九とトラずに白から(ホ十二)にトルことになると次いで黑二百九白百五十三にツギ、で黑地一目、しかもこれは白が一目トツてゐる譜の二百九自身の大きさは斯くして自然に計算される譯である

大連 JQAK　三月十六日

▲午後五時三十分 簡易速記術講座(七)大連速記研究會生稲寅松
▲午後六時 ニュース、職業紹介事項
▲午後六時三十分 講演(名古屋より)幕末に於ける對外思想の發達と渡邊華山 海軍大佐有馬成甫
▲午後七時 物眞似はなし家のこわいろ 鈴々舎馬風
▲午後七時十五分 小唄 一、いろけないさて 二、こひたしようより 三、こゝへ黄菊 四、ございれや ございれ 六、青すだれ、唄館田はな、三味線吉村ゆう
▲午後七時三十分 ラヂオレヴュー、シャボー・ブランタン作並演出青山杉作(配役)解說者、(熱海芳枝)シュザンヌ(西條エリ子)アンリイ(青葉照子)ポバテイ「叔父さん」(富士峰子)ポール(水の江瀧子)エミール(オリエ津阪)ジョゼフイーヌ「お嬢さん」(石山都)ペラ(江戸川蘭子)コルソン(春野八重子)クララ「およめさん」(吉川秀子)ミルモン伯爵夫人(小倉みれ子)ジャン(草香田鶴子)デュワル侯爵(三田絹代)其他出演松竹少女歌劇團、作曲紙恭輔、作詞安東英男、合唱K合唱團、合唱指揮安井義三、伴奏松竹少女歌劇管絃樂團
▲午後八時三十分 時報(東京)ニュース、氣象通報
▲滿洲歌舞劇(一)胡蝶姑娘(二)空中音樂(三)小鸚哥(四)新年之樂(大同女子技藝學校生徒)荷芙蓉、于惠之、徐蘭芳、李桂英、盧振英、方玉英(解說)中溝新一

本社特選 新棋戰(其五)

香落 六段△山北孫三郎　四段▲志澤春吉

【圖は五一銀迄の局面】山北氏持駒歩

▲七八と　△九三角成
▲九八歩成　△同　龍
▲八六飛　△七七桂
▲八八と　△七五馬
▲七八と　△八六馬
▲六二歩　△七二飛
累計七十二手

土居八段講評 志澤君の七八と、は手順にその成歩を活用しようとする意味であらうが、敵に同龍と、勝つて兜の緒を締める如き手段に出られては愈々指し切り模樣となる故拙策、些か無筋の嫌ひはあるが九八と、と指して飛車の侵入を圖る處である、續いて八六飛は、姑息な手段、ここ茲に至つては勝敗は兎に角八八と、と指して飛車を交換する方が優る、譜の如く指し敵馬を手順に要所へ移させたのは失策である。

萩原七段解說 志澤氏の七八と、は次に八九飛成を圖つたものであるが、敵に同龍と自重されて仕舞つては、以下の攻擊力に不足を生じて面白くなかつた、尤も九八と、の手もあるが、これでは八六歩、同飛、七五馬、八九飛成、七四馬で反つて苦戰になるから此の方が優れてゐるのである、山北氏の七七桂は、廢物利用の模範であり、而もこれで敵の八九飛成の先を避けた妙手なのである、志澤氏の八六飛は、八八と、八五桂、七八と、七二飛で折角の八六飛と指したのであるが、之れは敵に七五馬と引かして非常な損になつた、此の處は、八八飛成と指すのが順である、山北氏の七五馬は、當然の指手で、攻防によく働いて充分なる形勢を作つた、此處に至つて志澤氏の八六飛の失着

職がよしあつても辛抱をしない
ルンペン増加の裏面

【奉天】內地における不景氣のドン底に喘ぐルンペンは、滿洲熱に浮かれて何の的もなく着のみ着のまゝで郷里を飛び出す無鐵砲極まる邦人が近頃非常に殖えて來たが彼等の中には就職は出來ず結局食ふに困つて警察に泣きつくといふ悲境に陷るものが多く次から次へと押しかけ「何とかして下さい寢る處もありません食ふものもありません」といふ命に代る救濟方を願出てゐるのには當局でも手を燒いてゐるが、一係員は語る

滿洲國の現狀もこれまで色々紹介されてゐるので郷里を引揚げて滿洲に來ようといふ內地人は少くとも滿洲はどんな處であるか位は知つてゐる筈である、これを知りながらやつて來るルンペンもごつちにしても性質は好い方ではない、そして來滿して就職の道がないから行商でもしてこの苦難を突破しようといふ決心で働いてゐるものもあるがこれも最初のカラ決心で二ケ月三ケ月長くつゞいて五ケ月位でやめて仕舞ふ、又商店や會社に折角雇はれるやうになつても最初は一生懸命働いてゐるがこれも一時的で直ぐやめて仕舞ふ、その原因を調べて見ると最初から日給二圓三圓又は月給六十圓八十圓を夢見て若しこれが得られなかつたら「何だ馬鹿々々しいこんなに苦勞して働かなくても何かして行ける」といふ橫着な心を生じ仕事も中途で挫折しやめるといふ有樣で又雇主の方にしても高い給料を要求して使ひにくい邦人などは雇入れを拒む傾向があるので鐵のやうな固い決心のない限り結局はどこに行つてもつとまらぬと云つた狀態でかうした救濟機關に泣きつくやうになつて來る、かうしたルンペンが近頃餘程殖えた事は實に苦々しい限りである

總局の警務機構軍隊式採用
實施される改革內容

【奉天】四月一日の鐵路總局職制改革による鐵路警務機構には相當な改革が行はれる筈で警務員關係は十四の階級に區分し、命令服從關係は全く軍隊式を採り服裝に於ても一のユニフオームに階級を表示する樣にするもので第一級を總局長に以下路警に至るものである が總局警務處と各路局警務處は他の一般事務關係と獨立に警務處のみ直線的關係に置かれる筈でこの新しい警務機構によつて國線警備と其の愛護村建設育成に守備隊等との連絡も緊密化され職能の迅速な發揮が期さるゝ筈である、尙總局警務處は第一科第二科に分れて居たが第一科を警務科に第二科を防務科に改稱し左の如く各係を置くものと見られ外て居るがこれは各路局の警務處にも敷衍され處の外に鐵路辦事處ハルピンの改稱さるゝ水運局其他主要地點には警務段が置かれ小地區には其の分駐所が各現行のものに從つて設けられる筈である

卽ち警務處各科には警務科內に警務、行政、司法、訓練、規劃防務科內に庶務、計畫、施設、涉外、情報、宣傳、各係が設けられる筈である

自動車路線の沿線住民慰安

【奉天】鐵路總局では自動車路線の沿線住民慰安を行ひ路線愛護精神の喚起を計るべくその第一着手として來る四月四日より約一週間の豫定で安城自動車線に慰安自動車を運轉することゝなつた、之には主として映畫蓄音機等の慰安具を用ふるもので治安の確保もいよいよ確保された曉には日用品の販賣なども行ふ意向でゆくゆく總局自動車全線に慰安自動車の運轉が行はれる筈である

チチハルの陸軍記念日

【チチハル】軍國の春三月十日、陸軍記念日を迎へて軍都チチハルはカーキ色の三重奏に朝來歡喜のメロデーが高らかに奏ぜられ、軍馬の嘶き、軍用機の爆音、そして嚠喨たる進軍ラッパの音に佳き日の幕は朗かにあけられた、北滿征戰二春秋、武勳を戰塵に物語る幾多の戎衣が城門より龍江飯店前に距る約二キロの街道に堵列を終るや、午前十時畑中將は飯野參謀長以下幕僚を隨へ、馬上豐かに各部隊を閲兵し、同十一時憲兵隊前に於ける分列式に移つたが、各部隊長指揮の下に一糸亂れざる歩武堂々たる行進は宛然一幅の繪卷物の如く、壯觀といはむか勇壯と稱すべきか、沿道に黒山を築く觀衆は思はず歡聲を發し、軍國に生れたるもの〻みが味ふべき光榮を感じ、武運長久を祈るもの〻如くであつた、斯くて分列式を終るや、畑中將は在齊日滿官民有志を龍江飯店に招じ、正午より祝賀宴を開催したが、食卓に配された鯣に勝栗の菓は一入戰勝の感を深からしめ、乾杯に次ぐに乾杯の美しき軍民和樂風景を描いて同一時閉宴、直に騎兵部隊にては劍道大會が開催されたが、民間よりも參加者あり竹刀の音勇ましく輸贏を爭ひ記念日にふさはしい催しであつた

新しい戀を求め人妻の心中
新興羅津の桃色風景

【羅津】昨秋來新興羅津で斷髮ダンサーと謳へ囃され、某土地成金の如きは一萬圓三ケ年間の條件附で共同生活を申込んだといふ女給文子を繞る戀の三角關係は早春の陽に解ける淡雪のそれの如く遂に羅津三原山で青年豐島と抱合心中を爲し文子の死體は最初の彼氏の手元に還つた、本籍埼玉縣兒玉郡原內村大字明土前住所東京市荏原區中延町一二九女給中澤文子(二〇)は在京中知合となつた福岡縣人大工職矢田正＝假名＝と昨秋九月東京を出發し十月三日羅津に落付いたが矢田正は羅津綠町一丁目同職石崎喜作＝假名＝方に同居し文子は羅津本町某一流カフエーに女給として住み込みその後も二人は人目を忍び二世を契る仲で居たが文子は夜毎に通ふ客の中本籍香川縣高松市現住所羅津港町某石炭商店員豐島新之(二[illegible])と最近身も心も相許す猛烈な仲となり矢田、文子、豐島と戀の三角關係が鼎立した

夜毎に離れ行く文子の心を取り戻さんと焦る矢田は偶々同居人石崎喜作＝假名＝がささやかなおでんやを三月一日開業するや奇貨とし文子を石崎方に呼び戻したが十日午前七時頃矢田の懷を離れこつそり家出した文子は其の足で港町の愛人豐島新之の許に飛込んだ

同夜九時頃文子は豐島の同居人朝鮮人某に對し石崎の方から自分を搜しに來たらこれを渡して呉れと遺書樣のものを渡して二人は其の儘平裝の儘で同十一時頃羅津の東町と港町の中間に當る三原山の中腹を死場所と選び豐島が持つたモーゼル六連發の拳銃で初め文子の心臟部に二發打ち込み其の儘自己の胸部に銃口を向け二發發射した二人とも絶命した

文子の家出を知つた矢田正＝假名＝に石崎＝假名＝の搜査員は十日夜九時頃豐島新之方に到るところ文子から石崎宛の遺書を渡されたので開披すると文子の直筆で「小母樣小父樣長らく御世話になりました、私は死んで行きます、左樣なら」と走書に三行簡單に書いてあるので八方搜査するも二人の行方は杳として判らず翌十一日午後三時頃三原山で心中して居るので通行中の朝鮮人が發見し死體は檢視の結果豐島新之は其の店主に文子は初めの愛人矢田正の下に引渡された

杉原部隊の殿り伊田部隊錦州着
驛頭に盛んな出迎へ

【錦州特電十四日發】杉原第〇〇團の殿りとなつた伊田第〇〇〇〇團長は神谷副官を從へ十四日午後三時三十六分着列車で新警備地錦州に到着した驛頭には秋山、黒岩、高木各部隊長及來錦中の西第〇〇團幕僚それに後藤副領事、宇井警察署長、瀧口民會長、瀬縣長その他官民多數の出迎へあり、驛貴賓室に入り挨拶を受けそれより乘馬で驛前廣場に堵列の各部隊を閲兵し〇團司令部に入つた、往訪の記者團に語る

突然命令を受け大急ぎで來たが當地は先輩の服部部隊や平田部隊が血を流した苦戰の場所だけに一層感慨無量である、然し部下各部隊長の多くは永い間の顏馴染であるし兵は質實剛健な諸る御承知の健兒である、安心して警備につくことの出來るのを心秘かに喜んでゐる次第である來たばかりで未だ事情もよく解らないから何分各位の御援助をお願する

杉原部隊長凌源に入城

【凌源】八日午後三時熱河新警備に當る杉原〇團長は瀧本參謀長助川副官等幕僚以下とともに日滿官民多數の出迎へを受けて到着簡單なる乾杯をなし凌源入城、沿道多數の出迎へ人に迎へられ勇ましく凌源ホテル假司令部に入つたなほ九日午前七時出發承德に向つた

日支親善
先づ學生の手で
工醫大生近く北支へ

【奉天】全滿興亞學徒聯盟旅順工大支部では北支事情視察を計畫し、醫大にも參加を希望して來たが今回の視察には駐屯軍隊に宿泊し各要人と面接をなし在滿日本青年の意を語り更に自由なる學生の立場よりして支那學生に呼びかけ日支親善のために努める筈であり、工大鈴木少佐を團長とし工大七名、醫大四、五名參加の筈である

奉天商業入學者
十四日合格者を發表

【奉天】奉天商業學校では去る九十の兩日入學考査を行つたが左の如く男子五十五名女子五十五名が合格に決定し十四日發表された（受驗番號順）

▲男子　山田直人、志田圭一、伊藤一利、坂本繁雄、吉松伸、萩森正則、吉田誠一、宮下輝夫、山田正雄、貝島吉隆、平山正盛、友平公一、柴田節雄、荒木欽吾、戸田博、野﨑勝灣、新原一夫、木下滿彥、大石忠雄、山田哲三、大植末夫、伊藤雅之、岩崎之雄、外山滿洲雄、宇田懷光、武井四郎、田丸四郎、森博、篠原富夫、佐藤利、田村文雄、伊丹一郎、陶山登、村田純輔、石川勝、信江美男、久富大二郎、小賀信雄、兼重正義、阿部完、長崎正二、小島徹男、中瀬塚哉、磯元藏男、井上昇、藤岡健二郎、吉留正雄、松尾勝義、長守幸義、下田耕藏、金顯均、金思國、朴休民、稻葉憲一、高根秀喜

▲女子　白石貞子、大庭恵美子、大木戸やす、牧山ひさ、猪塚文子、青木光子、宇野保子、柏木かずゑ、上原廸子、佐藤愛、前川文代、蒲澤和子、山口淑子、高須賀澤子、久芳文子、田中玲子、武田德子、宮城節子、原園きよ子、寺內智惠子、今門清子、渡邊喜美子、長野喜美子、末吉和子、中山繁子、本支子、大村愛子、星野いん、坂本支子、大村愛子、諏訪初枝、增野すみよ、畠本節子、田中良子、楡川敷枝、佐藤八重子、野平松枝、森幸、佐藤文子、濱村登美江、後藤まつ、西村久江、古谷靜子、近藤信子、本田信子、藤井八重子、白川みき、長谷川綾子、松下露代、高地壽美、岡田乙女子、宮本綾子、片岡つる子、持永富士子、川井幾、五十嵐あや、久保満枝

奉天の花柳界

【奉天】不景氣知らずの花柳界方面の藝酌婦の揚高は？……二月中の調査によると附屬地料理店三十三軒そこに働いてゐる藝酌婦四百五十名一ケ月の揚高は花代、酒肴料合計で十一萬圓、前月の書入時に比較すると三萬圓減少してゐるがそれでも一軒最高揚高一萬三千圓に達してゐるのを見てもこの方面だけは相當潤うてゐるなほ前月の一人の最高揚高は一ケ月六百圓であつたが二月は柳町松鶴の喜久勇の五百圓で僅か二十一で高級會社員も及ばぬ揚高には俸給取をアッと云はせてゐる

奉天浪速通の派出所を建築

【奉天】現在浪速通派出所は之に入る石段が歩道に出て通行人の邪魔となること夥しく且警備上にも非常に不便があるので既に他に立派な派出所を建設することに決定してゐたが土地の關係で遂に今日まで延期となつてゐた處その問題も愈解決したので今解氷期と共にこの工事に着手することになつた場所は浪速通郵便局西前、ビクトリヤ前三角地で經費四千圓のコンクリート二階建である、今夏までには同所にモダンな派出所として市民にお目見得する譯である

奉天市立醫院産婆學校設立

【奉天】奉天市立醫院では從來産科設備不完全にして出産の際に種々衛生上缺く所が多いのでその改革第一着手として醫院內に産婆學校を設立する事となり六十名を募集三月十二日より開始したがこの爲に出産、育兒等に益するもの大なりとし大いに期待されてゐる

奉建會委員

【旅順】十二日旅順市役所にて開催された滿洲野宮奉建會評議員會にて會長指名の下に委員任命の件は敷地に對しては石川濟次郎、磯田信之助、村上信二の三氏が土木課に於て實地踏査の際立會する事となり、又奉建會を法人團體とすべきや否やに就ては中村廣喜、竹中延太郎、宅島豐雄、石井本一、岸田愛文の五氏が推薦され右委員は近く第一回打合會を開催する筈

開原院內在貨

開原各棧に於ける三月上旬在貨高次の如し（單位石）

▲大豆八八、四〇〇▲高粱五〇、二〇〇▲包米一二、三六〇▲粟一三、六二〇▲籾一〇、七四〇▲精米一、五二〇▲雜穀七、九二〇、合計一八四、九四〇石

奉天地委會

【新京電】來る二十三日午後一時より地方事務所會議室に於いて地方委員會を開き本年度公費査定並に奉天に於ける地方委員聯合會の經過報告其他に關する協議をなす事となつた

旅順放送

▲我が陸海皇軍の滿洲に於ける活躍の狀況を影筐に揮はせ這般各地に展覽會を催し大いに人氣を博した陸軍省新聞班、海軍軍事普及部特派講演野上大業氏は十四日旅順を出發歸國の途についたが氏は再び營口、新京、ハルピンを經由北鮮等を視察することゝなつた

▲旅順警察署管內の交通施設の改善及交通道德の普及等に資すべく強て計畫されてゐた旅順交通安全協會は十四日午後一時より旅順警察署にて本郷から本田保安、清水土木課長その他青木警察署長始め關係者參集會則案その他協議の結果現案通り成立を見たが會長には青木署長、顧問には伴民政署長及び米岡市長評議員には清水土木課長外十四名が擧げられ常任幹事として正岡保安主任が推され今後事務を處理することゝなつた

▲旅順衞戍病院にて療養中の傷病兵四氏は十四日午前九時三十五分發列車で官民多數の見送りを受けて內地還送の途についたが外に二名病狀の關係から自動車で赴連した

女の部屋 (115)

林芙美子作　一木弴畫

誹謗　九

土方は覺束ない足どりながら、それでも精一杯の意志力をこめてゐると見えて、案外速く逃げるやうに歩いて行つた。

麗子は漸く追ひついて、息切れの間から苦しさうに

——どうなすつたのよ、明さん どうなすつたの？

と彼の前に廻つて兩手で彼の肩を後へ押し戻すやうにして立ち塞つた。

數寄屋橋際の交番の巡査が不審さうに見てゐるので、麗子は餘計苛立つた。

——しつかりして頂戴よ、一體何だつてお酒なんかのんだのよ？

土方は煩さゝうに女の手を拂ひのけて、又糸の切れた凧のやうにふらふらと有樂町驛の方へ歩きはじめた。

自動車が間斷なく飛んで來ては消えて行き、止つては駈け出すの交叉點には、前後不覺の醉漢には其處の交叉點が減せさうにもなかつた。

——危いわ、こんなで獨りで歸れるのか知ら……明さん、あんた獨りで歸れるの？

先刻一時あんなにぴんとしてゐた土方は再ぶ醉ひに廻つたらしく醉蟾のやうにぶらんぶらんし始めてゐた。

——仕樣がないわねえ

二人の前には既に二三臺の空車が止つて、「行きませう、何方です？」と口々に勸誘してゐた。

麗子は慌てゝ駈け出して來たので勿論財布なんか持つてゐなかつた。

——明さん、あんたまだお錢あるの？

——お錢？ 何だい？

——チッ！

と彼女は舌打して

——馬鹿れ！

と彼の上衣からチョッキにかけて金入れを探した。だが目的物はズボンの後の衣嚢に入つてゐた。そしてその中にはまだ十圓近い金が入つてゐた。

土方は車の中に擔ぎ込まれるとそのまゝ鼾をかいて眠りこんだ。

麗子は彼のネクタイを取つて襯衣のボタンを外してやつたり、背中を撫でてさすつたりした。

土方が、目を瞑つたまゝではあつたが、突然

——麗ちやん、君も飲んでるね

と云つたので、麗子はびつくりして、默つてゐた。

——僕も飲んでるよ。人間なんて馬鹿だ、弱蟲だ、氣狂ひだ。

崩れた豆腐みたいに目を瞑つてクッションの上に寢こんだまゝ手をのばして麗子を抱いた。

それからおもむろに目を開いて、朦朧と彼女をみつめてゐたが、

——でもなあ、娘の子が酒を喰つてる圖あ、あんまり美事ぢやないぜ。

——……

——麗ちやん、君あ、氣が弱くなつたなあ。そん丈、世間が判つて來たんだなあ……

そして又後は物憂さうに首を外方に捻ぢむけて眠りこんだやうであつた。

麗子は彼の胸に面を落して、靜かにむせび泣いた。

彼女は甘えたかつた。甘い感傷がこみあげて來る。甘えても貰ひ度かつた。

さうすれば、誰が何といはうと蛋にされた程も痛痒を感じる事ではない。

何と云つてもいひ度い奴はいふがいゝさ。

——明さん、今夜は……泊めてれ

獸醫學から人間を見る 處女はナゼ貴とい？

婦人貞操問題と現代の裏面 ―男子の性的資格を完成せよ―

名門に不良少年　が生れたり、或は凡愚な親に俊才の子が生れる樣なことは人間にはよくあるが、馬は絶對に血統をひくもので、駄馬凡馬の子には決して駿馬が生れず、駿馬の子は必ず駿馬である、種馬は殊に牝馬が大切で、如何に優良種の牝馬でも、一度系統不明の牡馬と交配したならば、その牝馬は、將來永久に純粹種を蕃殖せしむることが出來なくなり純血種としての價値が全然なくなるものである、例へば若し純粹種の牝馬に、驢馬の牡を一回でも交配せしめたならば、その牝馬の一生は、後日に至り純良種の牡馬を交配せしめても、生れる子馬は、體格や足や蹄に驢馬に似たところができて競馬の馬としての資格を失つて居る、是れは牝馬の生殖器の淋巴腺が牡個性の或る物質を吸收して體質が變化するのであつて此の神秘なる性的關係は

人間にも共通し　純粹なる處女か、例へば初め赤毛の男を夫に持つて居て、離別後に黒毛の男と再婚し、生るゝ子が赤毛であつたり、血液型が今の夫に似ず前の夫と同じである樣な實例は醫學界に少なくないので、純潔なる處女性は實に神聖にして、且つ貴といものであるが、ヨリ以上更に一層處女の眞價はその純情にある、一たび結婚した夫と、一生の苦樂浮沈を共にし、一意獻身的の良妻となる情操は、處女性の純情より生ずるのである、しかし複雜な實世間には、處女を妻に迎へても、其の新妻が居付かなかつたり、夫婦喧嘩が進行したり、或は長い月日の中に何時しか三角關係などに脫線して夫を裏切ることのあるのは何故であらうか？　元來夫婦なるものは、赤の他人であるのに、緣あつて同棲する樣になると、骨肉よりも濃厚なる相互愛を生じ和合を保つのは何によるかを考へれば、直ぐ分かることで、世間で妻の脫線は、夫の方に妻を持つ性的資格を缺いで居るものが多いことは、蓋し

人生裏面の眞相　である　思へば此世に男と生れながら、性器發育不全、萎小、機能障害ほど情けないことはない、是れには從來何百圓の藥價を空費して失望悲觀の極、死を思ふ人さへあつたが醫學上劃期的進步を告げた物理療法界に、日獨佛專賣特許**ホリツク眞空水治器**が發明せられ、自分で簡單祕密に物理療法を行ひ、僅に六圓位の安價で萎小性器を健全發育せしめ、男子の運命を開拓することが出來る樣になり、實驗界の好評湧くが如くであるから、一日も早く實行しないのは一生の大損である。

發育力を強調する 物理作用の實現

世界的發明品たる日獨佛專賣特許**ホリツク**眞空水治器は、理學的機構が精巧を極め、形は小さくて輕便であるが效力は意外に大きい、有名なる醫學博士六十餘大家が齊しく實驗證明推獎されて居る、一たび本器を自分で祕密に局部へ直接使用して、一日一回、一回十分間位づゝ安全な物理療法を行ふと目前忽ち驚嘆すべき眞空吸引力により、局部の血行が滿潮的旺盛になり筋肉を十二分に緊張せしめ活力を喚起し、發育效果が本器の**メートル**へ現はれ、同時に神祕言外の**エンツンテユング**作用により性神經機能を復活せしめ、手淫過房の害、遺精、夢精、早漏、陰萎、精力減退を恢復し、彎曲を矯正し、萎小を健全に發育せしめ、機能ます〳〵增進して男子の資格を完成することは、實驗者の滿悦溢るゝ感謝告白の聲が事實を物語りつゝある。

＝本器は早速求められて、直ぐ申分なく役立つ。

男性の急務

◎性器は、男性の特徴たる進取の勇氣、不屈の膽力、潑剌たる活動元氣の根であるから、發育不全、萎小は、去勢的**グズ**〳〵の人間になり早老若朽して落伍者となるが健全發育し機能旺盛になれば、**ホルモン**學說の示す通り、生殖腺の強健が基調となつて腦力記憶力を增進し、日常の生活氣分も快活になり奮發心が起り、前途が光明と希望に滿たさるゝから、直ちに進んで神聖なる本發明器を實驗し、人生の幸福を開拓せられよ。

醫學博士六十余氏實驗證明推獎
日、獨、佛專賣特許、名譽金牌受領

登錄商標　ホリツク眞空水治器　金六圓　送料（內地三十錢　植民地六十錢）
ホリツク包莖安全器　金三圓五十錢　送料（內地十五錢　植民地四十二錢）

＝包莖は特許**ホリツク**包莖安全器で、無血無痛切らずに自分で安全簡易に成形する＝

◇代金引替希望は器名を明記し御注文次第送る（送料十五錢增）　◇說明書添付匿名密送す

無料進呈（非賣品）『圖入說明書』
內容　△性問題の新知識解放的滿載　△本器の詳細說明　△多數實驗者の赤裸々なる感謝告白文集附＝
◎ハガキで御請求あれ（個人名義で密送）

東京市芝區神谷町十八　電話芝三一二一　振替東京七七三九　合資會社東京新療法研究所

兒玉事件公判

嚴たる巨彈の前に戰きつ、淚の答
最後の審判に一縷の望み 哀れ血の邪戀破局

【兒玉事件第三回公判、夕刊續き】生への執着に終始犯意を否認し續けて來た中園秀雄にとり、高井檢察官の死刑の求刑は正に靑天の霹靂、失望のドン底に突き落された巨彈であつた、勝美にとつても夫たりし博士が自由を許され靑天白日の身となつた以上、當然自分もこれに準じて半歳の獄窗生活に總て過去の罪跡を淸算し得るものと信じてゐただけに懲役二年の求刑には淚をもつて答へるより外に術はなかつたであらう——溺るゝものの藁をも掴む心理、それは辯護人の辯護に望外の期待をかけて、やがて下さるべき最後の審判に一縷の望みを托する哀れ邪戀の二人であつた

荒み切つた半生
社會生活の教養がなかつた
長辯護人の辯論

十五日午後二時三十分再開檢察官の論告及び求刑の後をうけて長官選辯護人が中園秀雄の辯論に立つた、被告席に着いた當の中園は殊に勝美も共に頭を垂れて耳を傾け、傍聽席またトップを切る辯論に興味をかけて水を打つたやうに靜かだ、先づ被告二人の邪戀劇が如何に社會的に多大の

關心 さあらゆる角度から批判されつゝあるか從つて本件の判決は社會教化の上からその及ぼす影響重大であり何卒社會教訓の一大指針さなすに足る判決あらんことを望むと述べ、更に現下の道義觀の頽廢、婦道の墮落を歎じて辯護人の見たる「勝美論」に入る日本婦人の道德觀から見て勝美は高等教育を受け理性の發達した近代感覺を持つた女性である賢夫人の總ての條件を具備した被告勝美が何故に夫ある身で男から男へと移つたか? 些細に討論すれば或ひは

同情 する點があるかも知れないが人妻としての立場から論解すれば一點解の餘地なく、返すがへすも遺憾である、よし中園が初戀の男川崎であつたにしても、また中園が誤認に陷れたとしても、不倫の淵に近寄るべきではなかつた、然るに自から中園と會見を求め、未知の異性にネクタイなどを贈つたといふ行爲は實に不可解で、從つて中園は勝美の錯誤を利用して誘惑したものでないことが立證されるではないか

次いで「中園論」に移り彼が學力智力において勝美に劣ること天地の差であり、貧苦の

家庭 に生れ十七歳から今日までマドロス生活に荒んで來た彼の半生を說明し中園の行爲自體は罪惡である、しかし人間が健全な社會生活を營んでゆくには、それだけの教育と練習が必要である、生れながらにして一個の社會人として の條件を具備せず社會生活に臨んだところに人倫を誤り呪はれた運命を自から背負はねばならぬ結果を生んだもので、一人の中園のみにその責を負はしむべきではない

被告二人のプロフィルを語り事案の考察に移る

檢察官の求刑により「死刑」といふ極刑を科された被告中園に對してはその意外の重刑に流石の辯護人側も唖然とした形であるが人間中園のために起つて烈々の辯護の役を背負つて出た長古三郎辯護士は檢察官の所謂謀殺論を

一蹴 傷害罪に對し無罪を上申、更に死體遺棄に關してはむしろ兒玉博士を思ふ純情一片の男氣を買つてやるなぞ胸のすくやうな辯論をなし傍聽の滿廷に多大な感動を與へた、長辯護士が法と義理にはさまれながらもお互に慕ひ合ふ肉親の情をつぶさに述べ「親心とはかうしたものだ」と南園の一隅から寄せた中園の父親の書面を朗讀する、この時裁きの廷の中園は頭を垂れ鳴咽して父親の變らぬ親心を想ひ

相寄る骨肉の情
あの頃の秀雄を語る父の文
傍聽席にすゝり泣き

傍聽 の婦人のうちにもすゝり泣きの聲が聞えた、即ち父から長辯護士へ與へた手紙の內容は次ぎの如きものである

拜啓愚息秀雄殺人事件に關し貴臺には官選辯護人として辯護の任に御當り下され感謝に堪へぬ刑務所へ本人をお訪れ下さつた

御仁慈は感銘の外はない、親心とは云へ事件發生以來社會の表面に現はるゝ面目なく只隱遁致してゐます、左に本人の人となりを親の口から申上げます、小學校時代家貧にして人並に教育出來なかつたが性質は武士的で小學卒業後出郷、船員となり僅かの給料を

辛抱 して送金をなし親兄弟の困難を救ひ稅金等も滯納せしめない樣になし兩親は無論一家中の心を慰め親孝行者として十年前までは敬愛してゐた、兄弟中今まで不心得者なく柔順に親につかへ又は他所で働き得るは隆に秀雄が無言の指導の然らしむる賜かと思はれる、子供時代から善良な愛兒だけに事件發生の際は千々に心が挫けました、人知れず泣き明しました、然るに破廉恥の事で社會に出ず面目なく只謹愼する外道なく今でも引こもつてゐます、私はあれだけの孝行した子が大なる

罪を 犯したことに就いて不審に堪へません……世の同情を得て命でも助かつたら又世に出し一働らきさせたいと思ひます母は泣き明してゐるやうです、しかし人樣の前には泣かぬ振りをして我慢してゐますけれど親子ですから知らず〳〵に目に淚が浮ぶやうです【寫眞は中園秀雄の父から來た手紙】

公判風景

いよ〳〵大詰に向つて追ひ込まれた中園、勝美の公判、十五日、高井檢察官の理攻めの論告は流石の中園にとつては痛いところだらけ◆この日の中園、サッパリ散髮でもして誰が差入れたか朱子足袋を履き「まんざらでもないわれ」なんてはしたない傍聽婦人達の囁きを浴びながら登場◆勝美は昨夜來發熱して上氣した双頰が美しい「老母來る」の知らせが窗園の身にとつてこれだけ強く響いたか泣いて〳〵泣き明したと看守の打明け話◆檢察官の嚴粛な論告はその冒頭に「國家非常時、人心とかく安定を缺く今日……」と時代の反映を強く强調すれば法廷內にサッと緊張した空氣が漲る、そして勝美に對して「女の最も大切なものは貞操だ」と女性の道德を諄々と說けば勝美、流石に頭を低く下げて恐縮する◆犯罪に對する罪の刑量が檢察官から求められる日だけにとかく重苦しい空氣が流れ、裁かれる不死鳥はおのゝき勝ちだ、滿廷を埋める傍聽者も午前二時より詰めかけ、熱心な點では變りなく充滿した傍聽者の中に交つて、靑柳眞の弟克己君が、ジッと論告に耳を傾ける、論旨が亡き兄の事に觸れる每に「たまらない」と云ふやうに目を閉ぢて默考してゐる◆高井檢察官の論告が進められて兒玉博士邸、あのゾーッとする殺し場のところまでくると論告の調子が耳の故か兒玉博士の辯論に聞えて仕方がない、口の惡い傍聽者「高井辯護士」これは少し云ひ過ぎだらしい、しかし微に入り細を穿つて餘すところない論告ぶりは聞くに足るものがあつた

反目が爆發し春宵血の喧嘩
酒氣を帶ぶ鮮支船員

日頃の鮮支船員の反目が遂に爆發して北大山通海岸で血なまぐさい大喧嘩、十四日午後六時半頃、西森ドック橫の道路上で酒氣を帶びた鮮人と支人が血みどろになつて喧嘩してゐるのを水上署員が發見關係者一同を本署に引致目下取調中だが、加害者と認められる鮮人側は慶南生れ金殷杜(三)平北生れ李鳳道(三)被害者は支人山東生れ范本良(三)原因は平素雙租の鮮支人間がとかく不和で、この解決に腐心した船主側では遂に十四日下船させたところ船を下り際惡口をいつたのを根に持ち鮮人船員は共謀の上范の歸途を待ち伏せ大亂鬪を演じたもので范は石塊で前額部並に後頭部をザクロの如く割られ本署に引致されると共にその場に昏倒、最寄の醫師にかつぎ込まれた目下原因取調中

大連海務協會 廿五周年記念

大連海務協會では來る四月十日を以て創立二十五周年に相當するので當日は旅大の官民知名士約一千名を招待し盛大なる記念祝賀會を擧行することゝなつた、なほ記念事業として同會刊行の海事雜誌「海友」の增大記念號を發行すると共に郵船、商船の後援にて「海に關するポスター展」を當日より約五日間の豫定で開催し海事思想を普及せんと目下種々準備中であると

田中文書科長

現滿洲國國務院總務廳文書科長もと滿鐵地方部調査係主任田中僎氏は過般來より盲腸炎にて新京滿鐵醫院に入院手術靜養中のところ十五日午後一時二十分病革まり死去した、同氏葬儀は追つて新京において施行の筈

文壇噂話

牧逸馬氏の小說『大いなる朝』(キング四月號發表)は作者へもキング編輯局へも盛んに投書が舞込む、一篇の小說でこれ程の大反響を呼んだのは珍らしいと噂とり〳〵

多數により

これが審査は關東軍の委囑によつて元東大教授工學博士伊東忠太氏、大連南滿工業專門學校教授村田治郎博士の兩權威者、關東軍司令部岡村參謀副長、同上野大佐、同原田大佐、植木技師など及び關係者の手で嚴選中であつたが最近漸くその審査を終り十五日左の通り當籤者が發表された

一等(賞金二千圓)横濱市神奈川區代町五九雪野元吉
二等一席(賞金一千圓)關東軍司令官々邸建築場、高橋芳雄
同二席 千葉縣千葉市千葉寺一一九七喜多田權太郞方後藤金之助
三等一席 東京市日本橋通三丁目八ノ四齋藤ビル內志村太七
同二席 新京常盤町陸軍官舍二三號谷口榮次
同三席 靜岡市淺間町一ノ四一福島方足立博士
選外佳作 東京市深川區三好町三ノ六喜多村政良
同 東京市品川區大井金子町六三八三相澤珠壷
なほ右當籤者中高橋、谷口の兩氏は新京關東軍司令部勤務の靑年雇員である

懸賞圖案の審査發表
忠靈塔建設

【新京特電十五日發】豫て關東軍司令部で懸賞募集の忠靈塔建設圖案は應募者八百名を超え締切後に到着せるものを加ふれば一千餘の

賊團と遭遇戰
延吉縣下で三時間にわたる
倉本部隊果敢に擊破

【間島特電十四日發】倉本〇隊は十二日延吉縣明月溝管內で賊團約百名と遭遇戰三時間に及びこれを擊破したが、我が軍にも戰死上等兵は胸部に三宅上等兵は腹部に敵彈を受け壯烈なる戰死をとげた

旅順高女卒業者
十五日卒業式擧行

十五日擧行された旅順高等女學校第二十三回卒業式に際し卒業證書を授與されたる者左の如し

補習科甲部
靑野俊子、伊藤ちよ子、柿本美枝子、北山睦子、設樂和惠、田中美惠子、布施貞子、渡邊フミ子、伊藤千說、大塚千代、神田嘉榮、黑田美佐枝、竹森眞理子、田中文子、山本軍喜

補習科乙部
柿本ヤス子、近藤華子、鍋渡武子、中根京子、原田千佐子、村上エミ、若松喜久江、御坊前靜子、佐々木富子、土屋トシ、野間口重子、前林房、毛利妙子

第五學年
伊勢榮子、大山昭子、野田松代、土方久子

第四學年
靑木智穀子、飯塚茂江、井出口フミ、今泉久子、岩田英子、上野よし、枝元テル、岡喜美子、岡野律子、大津明子、鐘ケ江治子、川熊あや、菅野綾子、後藤春江、後藤美枝子、小梨信、阪本キミ子、佐々木滿津江、佐藤日那子、島崎しづゑ、淺田敬子、糸山カツ、井上美登利、今枝富美子、岩瀨佐和、上村芳子、小熊鞠子、岡田瑞穗子、大木富美子、笠原雅子、梶田光榮、川島靜子、菊地喜美子、後藤美枝子、後藤光子、坂田鸞、酒元久代、佐藤喜美子、柴田勝子、下寺智惠子、白土文子、高木ひさ子、高崎ヨシエ、高田定子、高橋雅子、武田綾子、外池晴子、種田滿洲子、筒井御和子、宮浦小枝、長倉その、行方光江、西綾、野中靜滿、長谷川安佐子、濱田ノブ子、原富士子、春口繁子、日向照子、堀岡滿洲子、松田百合子、松本稻子、關和子、高木フサ、高瀨千代子、高野好枝、宅島雅子、谷本幸惠、土屋百合子、寺岡澄子、東畑昌子、中戶川靜子、長門滿子、南場節子、西村ハツ子、乃美秀子、原田茂子、濱崎靜子、早瀨晴子、原田八榮子、東克子、細田田鶴子、堀之內利子、松井綠、前田貞子、三澤綾子、宮崎春枝、宮原定子、森重一枝、安永靜子、山田八榮子、吉富恭子、若林鋼、峰松タカヨ、宮野光子、村上光惠、茨木葉子、山口龍子、吉田サキ、吉野政子、渡部智枝子

强盗團の一味を逮捕

【奉天特電十五日發】十四日夜北市場滿人遊廓興喜堂方に登樓遊興中の擧動不審の一滿人があるので臨檢中であつた瀋陽警察署員が發見取調べたところこの男は瀋陽縣生れ白生姑屯居住の李鳳山こと裴臣九(三)で强盗團の一味であることが判明、同署では直に共犯逮捕に大活動を開始し同夜白姑屯で同地居住の前科二犯呂德義(三)と鄒文濱(三)の兩名を逮捕した同人等は去る三月一日の御大典大赦令の恩惠に浴し奉天第一監守處を出獄後も間なく一味六名の强盗團を組織して二日午前一時頃十間房雜貨商を襲擊し拳銃を突きつけて家人を脅迫國幣三百元を强奪逃走した外餘罪多數あり未逮捕者中三名には前科七犯を有する者あり同署では引續き極力犯人嚴探中である

匪賊隱匿の銃器發見
三角地帶情勢

【奉天特電十五日發】討伐隊の眼を逃れ山間を彷徨ひ安全地帶に逃亡を企てゝゐる三角地帶の匪賊は逃亡の際所有銃器は何れも一定の場所に隱匿してゐるので同地には隱匿銃器が夥しい數に達する見込で日滿兩軍では討伐の傍ら隱匿銃器の發見に努めてゐる

出動中の奉天省警備軍第三旅では十三日海城南方八里の地點で小銃百十挺、槍三十本、更に來田〇隊は岫巖西南方で銃五十挺を發見、何れも押收したが唯一の武器を奪はれて同地の匪團も愈々再起不能に陷りつゝあり

商埠地の土地貸下

【奉天特電十五日發】商埠地の土地貸付最後的審議も十四日終了いよ〳〵發表するまでになつたが申込者八百餘件の中決定したものは店舖向二十九件住宅向百五十六の百八十五件である

神佛兩式で海軍葬
告別式執行

【佐世保十四日發國通】收容した十七名の殉職者の死體は軍服を脫がせ淸淨に洗ひ帷子に着更へられ遺族の悲しみの告別式を行つた後午前九時より十時迄の間に茶毘に附した尙全部の死體收容の後時日を決定神佛兩式により合同海軍葬を行ふことゝなつた

佐世保鎭守府發表

【佐世保十四日發國通】佐世保鎭守府發表

ドックに收容中の遭難艇友鶴の艇內捜査の結果その後吉村中尉の死體を自室に發見、その他下士官兵の死體二十三を發見收容(生存者發見せず)都合四十三體を發見した譯で、結局只今迄のところ五十二名の行方不明者があるが艇內には尙多數の殉職者殘存の見込みで生存者は最早遺憾乍ら無きものと見極める外なし、仍つて十四日中には艇內に殘存せる死體を全部收容し得る見込みである

內地へ旅行
南滿中學堂生

【奉天特電十四日發】奉天南滿中學堂四年生三十九名は岡山、谷山兩教諭に引率され櫻咲く日本に旅行することになり三月二十八日午後二時四十分發安奉線列車で出發の筈である、見學個所は釜山、下關その他日本主要地で四月十四日神戶からばいかる丸に便乘十七日着連、同夜十時二十五分歸奉の豫定である

滿洲國將校日本視察
觀兵式を陪觀

【新京十五日發國通】軍政部では滿人將校をして日本文化、軍事を視察せしめ滿洲國軍の健全な發達を促進し併せて四月二十九日東京で行はれる天長節の觀兵式陪觀のため滿人中堅將校三十名を四月三日より約一月の豫定で渡日せしめることゝなつた

一行は四月三日菱刈軍司令官、張軍政部大臣に挨拶後午後四時三十分發列車で南下四日大連出發の船で渡日六日下ノ關上陸神戶、大阪、京都を見學十七日入京し陸軍省參謀本部を訪問し衛戍病院に滿洲事變のため傷ついた將兵を慰問し二十九日觀兵式陪觀、五月一日橫須賀鎭守府見學の後西下朝鮮經由五月六日歸京する豫定である

僞造紙幣犯捕る

【奉天特電十五日發】奉天商埠地憲兵分隊では最近市に大洋一元及び一角紙幣の僞造が流通したるを探知し犯人捜査中、瀋陽縣第一區工業區居住の藥行商羅福臣(三六)が城北居住の劉鳳華外一外と兵謀して昨年十一月末頃より僞造行使を爲しつゝあるを探知し二、三日前隱れ家に踏み込んで一味を逮捕すると共に僞造一元券五十枚その他證據物件を押收し嚴重取調の上十五日瀋陽警察廳に引渡した

南滿商科學院

南滿商科學院では新學期より入學すべき第七期生徒七十五名を募集中である入學資格は中等學校卒業又は同等の學力を有する者入學希望者は規則書を敷島町の同學院事務所宛請求されたし

西村忠雄氏結婚

滿洲國民政部總務司事務官西村忠雄氏は高橋判官、岩井大連者保安主任兩氏の媒妁により戶次千代子孃との婚約整ひ十八日大連神社で結婚式を擧げ、同日午後五時から連鎖街扶桑仙館で披露宴を催す、新郞は關東廳警部より滿洲國に轉じた人、新婦は兵庫縣高女出身の才媛である

防空獻金

市內西崗街一八九番地貸樂業松木キヨさんは十五日小崗子署へ防空獻金として五圓寄附した

日本だけしか友達を持たなかつた滿洲國も帝政實施を機會に世界各國がお友達氣分を出し始め實質的な交渉があちらからもこちらからも……これもその一つ。

英國の大汽船會社キューナードラインは滿洲國が歐洲へ留學生を九名派遣するさかの報を何處から得たものか、留學生の日程やコースを又出來るならば同會社の船でと問合せ旁々運動方を當市某代理店へ依賴して來た。

勿論營利會社のこと、歐洲へ日本から親子三人連れて一等なら約四千圓、靑島—大連間の客力が甲板船客なら一人一圓位(規定は四圓だが)つまり四千人さ釣合ふ、この際滿洲國の留學生が八名も同ラインを利用したら宣傳にはなるし儲かるしさいふ肚ではあらう。

だが何れにしても育ち行く滿洲帝國の側面史を物語る縱かなニュースではなからうか。

南蠻彩船（72）

鈴木氏亨作　布施長春畫

女郎花（八）

「五月野、五月野」

五月野は、聞き覺のある聲にはつとして、顔を上げた。そして涙を見せまいとして、袖でぐつと拭つた。

懷しい父親であつた。

「お父上！ようこそお歸り遊ばしませ。姉上のゐるところがおわかりになりましたか？」

「いゝや、わからぬ」

父は、想ひ惱んでゐるやうに頭を振つた。

「でも、お待ちして居りました。御無事で歸られて結構でござんした」

五月野は、嬉しさうであつた。

「直ぐ、旅の仕度をお取りなすつて、おくつろぎなさいませ」

老いたる父は、わが娘のいつも變らぬ親身の愛に、いそいそとして旅の仕度を取ると、爐の火に手をかざした。

「五月野、お前どうかしたのう！」

父の彌陀王は、訝かしげに訊ねた。

五月野は、出來るならば、今宵の出來事を、父に知らしたくはなかつたが、さう訊ねられてみると經師屋庄右衛門が訪れて來たことの一切を、話さねばならなかつた。

「庄右衛門の奴、私が零落れてゐると思つて、醜いことをする。奴そのまゝにして置けるか……私の手一つでなりと、楓を探し出して早う、みんなで安心したいと、家を留守にして、大和路や河内路をあつちへうろつき、こつちへうろつき、何處そこに楓に似た女がゐたと、風の音信に聞けば、飛んで行つて、訪れ廻つてゐたのだ。それにもかゝはらず、何と云ふ怪しからぬ所業をしかける奴だ。覺えてゐろ！この恨みは屹度晴らしてやるぞ」

老武士は、齒ぎしりしてくやしがつた。

「それにしても、遠里小野樣とやらは、そちの恩人ぢや。して、その方は、助左衛門殿の船の、宰領をして居られると云ふのか？」

「左樣でございます」

「でも……」

彌陀王は、凝と考へこんだ。

こんどの悲劇の因も、もとはと云へば、助左衛門から起つたことである。自分は、足利家の恩顧を受けた譜代の臣として、御世が變つてからと云ふもの、新らしい主人には仕へまいと、石のやうな固い決心をもつて、寄る年波にも、二人の娘を力とも杖とも賴み、その日その日を過ごしてゐる、譬へば病葉のやうな身の上である。

楓が、わづかの金のために遊女として、高須の里に賣られて行つてから、助左衛門の眼にかなつて身請されたのが運命の軌道のそれだしたはじめ、それからは老の身の上で、悲劇の中の一人となつたのであつた。

しかも、いままでは、老の感懷の走るまゝに、敵のやうに思つてゐる助左衛門である。その敵の部下に、五月野が危急を救ひ出されたとは、また、何と云ふ皮肉な運命であらう――

――あゝ、世の中には、どうしてかう恩やら恨みやら、憎しみや愛が、めぐりめぐつてゐるのだらう――

彌陀王は、いま更ながらこの世の神秘に、打たれるのだつた。

――それにしても楓は何處へ行つたらう。どうしても探して、庄右衛門に恨みを晴してやらねばならない。明日は一つ濃花の町でも探すとしやうか――

彌陀王は、今宵の不思議な出來事と、いろいろな不可解な想ひを遮つた後ち、かう決心した。

そして、二人は違つた想ひを抱いて、冷たい寢所に入つたのであつた。

麻生路郎氏句會

來三月二十二日午後六時半より山縣通り大連亭にて開催來會歡迎

◇宿題（十九日締切）

「心」　麻生路郎氏選

「萌」　高橋月南氏選

「熱愛」　大島濤明氏選

◇市内西公園町一四九大島宛投句

滿日柳壇

友情　大連　伊東山坊　編輯局選

友情を疏し過ぎたる結果を見

船の友上陸までの［illegible］あり

病室へ友の眞心咲いて居り　周水子　田中一蛙

舊友のルンペン無作法に上り込み

投げられたテープ感謝の笑が持ち　周水子　藤枝幸子

一着はテープを切つて友の肩　鞍山　上原時男

戰跡のかばれに友の捧げ銃　大連　星野美名都

失業へ郷里の友からシャツが來る

友達の情で發てた終列車

小爲替の友の返事に泣される　普蘭店　河本登志緒

友なれば訊れて呉れる入院費

鐵拳の痛さに友の頼みつめ　鞍山　西原橘子

友情に初めて醒めたパアの酒

がんばれとレターの端へいつもあり　大連　山口露眼

制裁を受けろと泣いてなぐる友

友情を賣り喰ひに勸誘員　遼陽　中沼久萬仁

友情で片附けられぬ戀心　大連　江本羊羹

下宿屋で苦樂をかたる一つ鍋

枯枝を上げて戰地の友の墓　旅順　ただを

失戀の俺れへ友も泣いてくれ　新京　上倉泥柳

借金のつい友情にいひそびれ

御顧ひ端書で返す程の友

都會化してからの友情鼻につき　大連　元坊

友情は御都合主義で今日の地位

友なればこそと意見の苦い顔

打明けし友の懺悔に泣される　撫順　齋藤十念坊

友情を裏切るかげに窃む戀

友情にかられて思はず脱線し　本溪湖　郡司島里柳

友情の果ては同性愛で死に

友情を種に喰入る色魔狂　昌圖　山口食士

友情の就職へ今日も汗をかき

友情を減茶苦茶にする借と貸　同　山口華江

友情の厚さ滿洲國生れ

支那服を着て友情の變りやう　同　浦上安也

友情へ十圓までは投げてやり　同　浦上風流

新刊紹介

新青年（四月號）本文劈頭四〇頁に亘る探偵的興味豐かな黑死館殺人事件（小栗虫太郎）と還羅兄弟の秘密（エラリ・クヰーン）の内外二大傑作並びに九篇の創作を掲げ探偵小説ファンに見える外早耳くらべ集、四大學新聞班コンクール縮刷圖書館等がある（六〇錢東京日本橋本町三ノ九博文館）

新小切手法（伊澤孝平著）本年から實施された新小切手法の逐條註釋書で、第一段に於ては新舊兩法を比較對照することによつて新小切手法の内容を闡明するに努め、第二段に於ては小切手法と密接不離の關係にある手形法との關連を説き、第三段では本法と其主義を異にする英米法の解説を試みてゐる。蓋し我國と最も取引關係の深い英米は本法が基く小切手に關する國際條約に加盟してゐないので其紹介並に之との比較研究は實に本法の理解を助けるに効果あるのみならず又實務上の參考に資するところも多大なりと信ずる（四六判二〇一頁八〇錢、東京神田一橋通岩波書店）

拳鬪（三月號）平澤雪村氏が主宰する專門雜誌で既に同巻三號を重ねてゐるが逐號内容の充實して來るのが目立つ、卷頭のファンの氣焔は畑明大講師、石山ダイヤモンド社長、出井銀座料理店主人、大山淺草富士館支配人などの變つた顔觸れを揃へ、思ひ思ひの拳鬪禮讃は編輯者が狙ふ拳鬪大衆化の的に中つてゐる、本號から連載の拳鬪圖解講座は寫眞入りの諸上コーチでアマチュア拳鬪講座（柳田亨）と共に讀者の歡迎する所であらう、試合戰評は口繪其他の挿入寫眞と相俟つて毎度ながら光つてゐる、拳鬪選手及ファンの見逃がしてならぬ雜誌（三〇錢、東京芝南佐久間町一ノ二七拳道社）

ソウエート聯邦事情（三月號）露西亞諸民族の遠心運動（島野三郎）ソ聯中央執行委員會第六期第四次會議、本年度のソ聯鐵道運輸建設計畫、一九三三年度ソ聯國民經濟の實績（高橋克己）等、因に本誌は本月を以て月刊を打切り今後は年四回の發行とし本年度第一回半期號は五月初旬に發行の豫定であると（四〇錢、大連滿鐵經濟調査會）